

- 早川堯夫：生物由来製品
第41回JAPIC講演会(2003.7)
- 早川堯夫,水口裕之：創薬研究に役立つ新規アデノウイルスベクター
創薬薬理フォーラム第11回シンポジウム(2003.9)
- 早川堯夫：バイオロジクスのトランスレーショナルリサーチにおける基本的要素
創薬薬理フォーラム第11回シンポジウム(2003.9)
- Takao Hayakawa: **New Challenging Areas of Biologicals and Related Issues**
The 6th International Conference on Harmonization of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Use (2003.11)
- 早川堯夫：米国における新薬開発の動向
第3回創薬基盤技術の開発に関するシンポジウム(2003.11)
- 早川堯夫：バイオロジクスのウイルス安全性
第18回ヒューマンサイエンス総合研究セミナー(2004.1)
- 早川堯夫：バイオロジクスの進展に向けて
バイオロジクスフォーラム第1回学術シンポジウム(2004.2)
- 早川堯夫：国際化時代におけるバイオ創薬の推進とレギュラトリーサイエンス
日本薬学会第124年会(2004.3)
- 早川堯夫：バイオロジクスの将来展望と課題
04-1 ポリマーフロンティア21,高分子学会(2004.4)
- Takao Hayakawa: **Bio-safety of Medicinal Products Derived from Urine -Current Situation in Japan-**
Conference on the Bio-safety of Urinary Derived Medicinal Products (2004.4)
- 早川堯夫：疾患関連タンパク質プロジェクトの現状と今後の展望
第11回HAB研究機構学術年会(2004.5)
- 伊豆津健一,青柳伸男,小嶋茂雄：タンパク質と二糖類の凍結溶液における混合性と凍結乾燥時の安定化作用
日本薬剤学会18年会(2003.4)
- 伊豆津健一,青柳伸男,小嶋茂雄：ポリオール-ホウ素錯体凍結水溶液の物性と凍結乾燥時のタンパク質安定化作用
低温生物工学会第49年会(2003.5)
- Izutsu, K., Aoyagi, N., Kojima, S., Randolph, T.W.*, Carpenter, J.F.*: **Mixing of protein and disaccharide in frozen solutions required for protein stabilization during freeze-drying**
Colorado Protein Stability Conference (2003.7)
- * University of Colorado
- 青柳伸男：経口製剤の製法変更の生物学的同等性試験ガイドライン(JPAC-IR)Q&A
製剤機械技術研究会第12回講演会(2003.8)
- Aoyagi, N.: Assurance of bioequivalence from clinical lot to commercial products
Symposium of Korean Food and Drug Administration (2003.8)
- 青柳伸男：製剤の品質保証,試験法の諸問題
東西合同技術研究常任委員会(2003.8)
- Aoyagi, N.: **Assessment of bioequivalence of oral dosage forms of generic drugs**
International Symposium at Catholic University of Daegu (2003.10)
- 青柳伸男：局所皮膚適用製剤の後発医薬品のための生物学的同等性試験ガイドラインについて
公定書協会第17回新薬部門審査説明会(2003.10)
- 香取典子,吉谷隆志,祖山晃子,福島(上坂)浩美,児矢野 聡,井戸田昌也,黒瀬光一,鹿庭なほ子,斎藤嘉朗,小澤正吾,青柳伸男,小嶋茂雄,山本 昇^{*1},南 博信^{*1},田村友秀^{*1},西條長宏^{*1},澤田純一：パクリタキセル及び代謝物の体内動態に対するMDR1の遺伝子多型の影響
第18回日本薬物動態学会年会(2003.10)
^{*1} 国立ガンセンター
- 中島由起子,鹿庭なほ子,斎藤嘉朗,始関紀彰,渡辺秀実,福島(上坂)浩実,長谷川隆一,小嶋茂雄,小澤正吾,澤田純一,南成祐^{*1},加藤昌明^{*1},須貝研司^{*1},木村英雄^{*1},後藤雄一^{*1}：てんかん患者におけるカルバマゼピン動態 薬物代謝酵素の遺伝子多型の影響
第18回日本薬物動態学会年会(2003.10)
^{*1} 国立精神・神経センター
- 青柳伸男：品質再評価からの課題
第40回全国衛生化学技術協議会(2003.11)
- 青柳伸男：医薬品の品質保証について
第1回医薬品・化粧品品質管理研修会(2003.11)
- 伊豆津健一：糖類の物性と生体高分子・細胞の凍結乾燥による安定化
日本低温医学会第30年会(2003.11)
- 青柳伸男：医薬品再評価で浮かび上がった課題
医薬品品質フォーラム第1回シンポジウム(2004.1)
- 伊豆津健一,Shemaine O. Ocheda*,青柳伸男,小嶋茂雄：ホウ素錯体形成による凍結溶液中マンニトールの結晶性制御とタンパク質安定化

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

フィリピン食品医薬品庁

青柳伸男：日本薬局方製剤総則の改正について
大阪医薬品協会 (2004.3)

香取典子, 吉谷隆志, 中島由起子, 井戸田昌也, 黒瀬光一, 鹿庭なほ子, 斎藤嘉朗, 小澤正吾, 青柳伸男, 小嶋茂雄, 山本 昇^{*1}, 南 博信^{*1}, 田村友秀^{*1}, 西條長宏^{*1}, 澤田純一: パクリタキセル及び代謝物の体内動態に対する MDR1 の遺伝子多型の影響

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*1} 国立ガンセンター

Aoyagi, N.: **Recent trend of pharmaceutical regulations in Japan 2004 ROC-Japan Joint Symposium on Particle Design, Nanotechnology and Drug Delivery** (2004.5)

吉岡澄江：医薬品の安定性に影響する分子運動
CBI 学会第 234 回研究講演会 (2003.8)

Yoshioka, S., Aso, Y., C Kojima, S.: **Temperature dependence of bimolecular reaction rates in lyophilized formulations described Adam-Gibbs-Vogel equation**
American Association of Pharmaceutical Sciences, (2003.10)

Miyazaki, T., Yoshioka, S., Aso, Y., Kojima, S.: **Effect of polymer excipients on physical stability of amorphous acetaminophen**
American Association of Pharmaceutical Sciences (2003.10)

吉岡澄江, 阿曾幸男, 小嶋茂雄: ¹³C の T₁ および T₂ に反映される凍結乾燥製剤の分子運動の実態は何か
第 42 回 NMR 討論会 (2003.11)

阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄: ¹H および ¹³C-NMR スピン-格子緩和時間に基づく非晶質医薬品に対する PVP の安定化機構の解析
第 42 回 NMR 討論会 (2003.11)

Yoshioka, S.: **Evaluation for Stability Data (Q1E)**
The sixth International Conference on Harmonisation of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Use (2003.11)

阿曾幸男：たん白質医薬製剤の放出性制御と安定性
創剤フォーラム, 若手研究会 (2003.11)

吉岡澄江：非晶質の特異性を活かしたバイテク薬物および超難溶性薬物の製剤化とその評価
創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業第 2 期研究成果発表会 (2004.3)

吉岡澄江, 阿曾幸男, 小嶋茂雄: イソマルトオリゴ糖を含有する凍結乾燥製剤の分子運動の誘電緩和による測定
日本薬学会 124 年会 (2004.3)

阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄: カチオン性リポソームを含有するショ糖凍結乾燥製剤の動的粘弾性の解析
日本薬学会 124 年会 (2004.3)

宮崎玉樹, 吉岡澄江, 阿曾幸男, 小嶋茂雄: 非晶質アセトアミノフェンの結晶化に及ぼす高分子添加剤と湿度の影響
日本薬学会 124 年会 (2004.3)

Santiago, Ma.L.C.^{*1}, dela Cruz, R.M.^{*1}, Ishibashi, M.^{*2}, Sakamoto, T. Urciada, L.M.^{*1}, Gonzales, T.I.^{*1}, Sarau, J.K.^{*1}, Santero, E.C.M.^{*1}: **Development of a Dissolution Method for Mefenamic Acid Suspension**
FIP 2003, World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences (2003.9)

^{*1} Bureau of Food and Drugs (Philippines)

^{*2} JICA 長期専門家

坂本知昭：クロマトグラフ分析におけるデータ評価と品質保証 - 分析のばらつきが試験判定に与える影響 -
第 14 回クロマトグラフィー科学会議 (2003.11)

坂本知昭, 檜山行雄, 小嶋茂雄: クロマトグラフ分析における品質保証システム構築の 1 例
第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

坂本知昭, 檜山行雄, 小嶋茂雄: 品質試験の技術移管に関する保証システムの考察例 - 標準操作手順書 (SOP) と教育訓練の役割 -
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

Katayama, H.^{*}, Koyama, Y.^{*}, Tokunaga, Y.^{*}, Hiyama, Y., Morikawa, K.: **Evaluating the Aseptic Room by Three Dimensional Airflow Pattern and Particulate Count**
PDA Annual Meeting, (2003.11)

^{*} Fujisawa Pharmaceutical

檜山行雄：薬事法改正と GMP
日本薬剤学会第 28 回製剤セミナー (2003.7)

檜山行雄：薬事法改正と GMP について
薬事関係技術高度化研修会 (2003.10)

檜山行雄：医薬品の品質管理システムのあり方及び有効的・効率的手法
日本 PDA 第 11 回年会 (2003.10)

檜山行雄：日本の GMP の課題
日本製薬工業協会 GMP 事例研究会 (2003.11)

Hiyama, Y.: **Pharmaceutical Affair Law Change and Quality Systems/Regulations in Japan**
QUALITY SYSTEMS AND REGULATORY INNOVATION FOR THE 21ST CENTURY, FIP symposium (2003.11)

檜山行雄：医薬品の GMP と品質保証

富山県薬事研究会 (2004.3)

Hiyama, Y.: **Pharmaceutical Affair Law Change and Quality Systems/Regulations in Japan**

Arden House Eighth Annual European Conference (2004.3)

犬飼和良^{*}, 金澤あずさ^{*}, 宮寺彰彦^{*}, 檜山行雄^{*}, 森川 馨:
マイクロバランス法による原薬吸脱湿性把握と含量測定法改良
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*}第一製薬

本田昌徳^{*}, 日高由雄^{*}, 森田広正^{*}, 播磨武^{*}, Broad, N.^{*},
Simon, M.^{*}, 檜山行雄^{*}, 森川馨: 近赤外(NIR)分光法を用い
る分析法のバリデーション

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*}ファイザー

高橋宏次^{*}, 田原務^{*}, Hawley, M.^{*}, Amidon, G.^{*}, Price, J.^{*},
Ciolkowski, E.^{*}, Martino, A.^{*}, Wu, S.J.^{*}, 檜山行雄^{*}, 森川 馨:
結晶多形の評価とその開発に関する影響および製剤化に適
した結晶の粒子径についての研究

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*}ファイザー

石橋信康^{*}, 及川栄輝^{*}, 向井浩二^{*}, 池和夫^{*}, 下条芳敬^{*}, 百永
真士^{*}, 川上良一^{*}, 加加良耕二^{*}, 檜山行雄^{*}, 森川 馨: 原薬
粒子径制御に及ぼす晶析操作因子の設定と種晶の影響

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*}藤沢薬品

石井(渡部)明子, 川崎ナナ, 川西 徹, 早川堯夫, Chang,
E.^{*}, Cooke, J. P.^{*}: ヒト微小血管内皮細胞に対する nicotine の
効果

第 4 回 Pharmacology-Hematology シンポジウム (2003.6)

^{*}スタンフォード大学

Ishii-Watabe, A., Uchida, E., Iwata, A.^{*1}, Nagata, R., Satoh, K.^{*1},
Fan, K.^{*2}, Murata, M.^{*2}, Mizuguchi, M., Kawasaki, N., Kawanishi,
T., Yamaguchi, T., Hayakawa, T.: **Detection of replication-com-
petent adenoviruses spiked into recombinant adenovirus vec-
tor products by infectivity-PCR Combined with Glass Beads-
Based DNA Extraction**

第 9 回日本遺伝子治療学会 (2003.7)

^{*1} 埼玉県赤十字血液センター

^{*2} JSR-KK 筑波研究所

川崎ナナ, 早川堯夫: LC/MS を用いた糖鎖のプロファイリ
ングと構造解析

第 53 回電気泳動学会シンポジウム (2003.7)

川崎ナナ, 伊藤さつき, 蜂須賀暁子, 橋井則貴, 澤田純一,
川西 徹, 早川堯夫: 2 次元電気泳動及び LC/MS を用いた
グライコム解析

科学研究費補助金特定領域研究「糖鎖によるタンパク質と
分子複合体の機能調節」第一回夏期シンポジウム (2003.8)

川崎ナナ: 糖タンパク質の質量分析

横浜バイオテクノロジー懇談会平成 15 年度第 1 回リカレント
講座「マススペクトロメトリーとプロテオミクス - 蛋白質
研究の最前線」(2003.8)

Nana Kawasaki, Noritaka Hashii, Jin Yuan, Satsuki Itoh, Akira
Harazono, Akiko Ishii, Toru Kawanishi, Takao Hayakawa: **Iso-
tope tag method for quantitative oligosaccharide analyses by
LC/MS**

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

Noritaka Hashii, Nana Kawasaki, Satsuki Itoh, Masashi Hyuga,
Toru Mawanishi, Takao Hayakawa: **Oligosaccharide profiling
of cell membrane by LC/MS**

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

Satsuki Itoh, Nana Kawasaki, Akiko Hachisuka, Reiko Teshima,
Jun-ichi Sawada, Toru Kawanishi, Takao Hayakawa: **Analysis of
IgLON family protein in rat brain by gel electrophoresis and
capillary LC/MS**

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

Ishii-Watabe, A., Chang, E.^{*}, Kawasaki, N., Kawanishi, T.,
Hayakawa, T., Cooke, J. P.^{*}: **Transcriptional profiling in nico-
tine-treated human microvascular endothelial cells**

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

^{*}スタンフォード大学

川崎ナナ: 糖鎖関連医薬品の現状と課題

第 3 回糖鎖科学名古屋拠点研究会(2004.2)

川崎ナナ: 糖タンパク質性医薬品の質量分析

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

橋井則貴, 川崎ナナ, 伊藤さつき, 日向昌司, 川西 徹, 早
川堯夫: 糖鎖プロファイリングを用いた差異解析に基づく
グライコム解析

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

伊藤さつき, 川崎ナナ, 橋井則貴, 蜂須賀暁子, 手島玲子,
澤田純一, 川西 徹, 早川堯夫: 2 次元電気泳動と LC/MS
を用いたラット脳内 GPI アンカー型タンパク質の解析

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

原園 景, 川崎ナナ, 川西 徹, 早川堯夫: LC/MS/MS によ
る apolipoprotein B100 の部位特異的糖鎖構造解析

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

石井明子, 内田恵理子, 岩田明子^{*1}, 永田龍二, 佐藤功栄^{*1},
范 可君^{*2}, 村田充弘^{*2}, 水口裕之, 川崎ナナ, 川西 徹, 山口
照英, 早川堯夫: アデノウイルスベクターに混入する増殖性
アデノウイルスの迅速高感度検出法の開発

日本薬学会 124 年会 (2004.3)

^{*1} 埼玉県赤十字血液センター

^{*2} JSR-KK 筑波研究所

原園 景, 江馬 眞: ラット妊娠初期に投与した塩化トリブチルスズの着床阻害作用
第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

日向須美子*¹, 熊谷由紀絵*¹, 日向昌司, 山形貞子*², 山形達也*², 花輪壽彦*¹: 癌細胞の運動能に対する漢方薬の効果
第20回和漢医薬学会大会 (2003.8)

*¹ 北里研究所東洋医学総合研究所

*² 瀋陽薬科大学薬学部

日向須美子*¹, 日向昌司, 山形貞子*², 山形達也*², 花輪壽彦*¹: 高転移性 FBJ-LL 細胞の運動能に対する漢方薬の作用
第62回日本癌学会総会 (2003.9)

*¹ 北里研究所東洋医学総合研究所

*² 瀋陽薬科大学薬学部

後藤洋子*¹, 新見伸吾, 早川堯夫, 宮下徳治*²: ラクトース修飾絹フィブロインのラット肝細胞の接着形態
第52回高分子学会年次大会 (2003.5)

*¹ 生物資源研

*² 東北大多元研

Niimi, S., Oshizawa, T., Yamaguchi, T., Harashima, M.*, Seki, T.*, Ariga, T.*, Kawanishi, T., and Hayakawa, T.: **Specific expression of annexin in rat small hepatocytes**

第76回 日本生化学会大会 (2003.10)

* 日本大学生物資源科学部

Harashima, M.*, Nagaoka Y.*, Niimi, S., Seki, T.*, Ariga, T.*, Kawanishi, T., and Hayakawa, T.: **The mechanism of inhibition of dexamethasone-dependent induction of tyrosine aminotransferase activity by lactacystin, a proteasome specific inhibitor**

第76回 日本生化学会大会 (2003.7)

* 日本大学生物資源科学部

新見伸吾, 押澤 正, 山口照英, 原島 瑞*, 関泰一郎*, 有賀豊彦*, 川西 徹, 早川堯夫: ラット肝細胞におけるアネキシン の特異的な発現
第10回 肝細胞研究会 (2003.7)

* 日本大学生物資源科学部

原島 瑞*, 新見伸吾, 長岡陽子*, 関泰一郎*, 有賀豊彦*, 川西 徹, 早川堯夫: 初代培養ラット肝細胞においてプロテアソーム特異的阻害剤であるラクタシスチンはグルコシルチコイド依存的なチロシナーミノトランスフェラーゼの誘導を阻害する
第10回 肝細胞研究会 (2003.7)

* 日本大学生物資源科学部

河合 洋, 川西 徹: 解析プローブ開発
公開シンポジウム「ナノとバイオの融合学理構築と産業基盤形成」(2003.9)

川西 徹, 河合 洋, 鈴木琢雄, 小林 哲, 早川堯夫,

中村 竜, 桜井晴奈*, 大幡久之*, 百瀬和享*: 細胞障害のメカニズムをイメージングするための蛍光プローブの開発と利用
第12回日本バイオイメージング学会学術集会シンポジウム (2003.10)

* 昭和大学薬学部

河合 洋, 鈴木琢雄, 小林 哲, 桜井晴奈*¹, 早川堯夫, 川西 徹: ミトコンドリア膜電位及びカスパーゼ活性の同時イメージングによる細胞死の解析
第12回日本バイオイメージング学会学術集会 (2003.10)

*¹ 昭和大学薬学部

Toru KAWANISHI: **The key Role of Characterization and Analytical Results in Comparability**

The Sixth International Conference on Harmonisation of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Use (2003.12)

川西 徹: 細胞障害機構を解析するためのイメージングプローブ

公開シンポジウム「ナノとバイオイメージングの融合と医用への展開 安全な医薬・治療法へのアプローチ」(2004.1)

川西 徹: ICH国際調和ステップ2ガイドライン 背景および内容について

バイオリジクスフォーラム第一回学術集会 (2004.2)

川西 徹, 河合 洋: はじめに: 細胞障害機構を視る, 測る, 解析する創薬等総合研究推進事業研究成果発表会「細胞機能を視る, 測る, 解析する技術 - 蛍光プローブの創薬への応用」(2004.3)

河合 洋, 行方衣由紀*¹, 田中 光*¹, 中村 竜*², 桜井晴奈*³, 鈴木琢雄, 小林 哲, 重信弘毅*¹, 大幡久之*³, 百瀬和享*³, 早川堯夫, 川西 徹: 上流/下流カスパーゼ活性化及びミトコンドリア膜電位変化の時間関係
第77回日本薬理学会年会 (2004.3)

*¹ 東邦大学薬学部

*² カールツァイス

*³ 昭和大学薬学部

桜井晴奈*¹, 河合 洋, 土屋亜由美*¹, 柴山理恵, 鈴木琢雄, 川西 徹, 早川堯夫, 大幡久之*¹, 百瀬和享*¹: FIAsHを利用した分泌タンパク質蛍光標識の試み
日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 昭和大学薬学部

河合 洋, 行方衣由紀*¹, 田中 光*¹, 中村 竜*², 桜井晴奈*³, 鈴木琢雄, 小林 哲, 重信弘毅*¹, 大幡久之*³, 百瀬和享*³, 早川堯夫, 川西 徹: 種々の蛍光タンパク質を用いたFRET応用カスパーゼプローブの解析
日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 東邦大学薬学部

*² カールツァイス

³ 昭和大学薬学部

小林 哲, 河合 洋, 鈴木琢雄, 川西 徹, 早川堯夫:
MALDI-TOF MS におけるタンパク質のシグナル増強
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

鈴木琢雄, 河合 洋, 小林 哲, 桜井晴奈¹, 佐藤陽治,
最上(西巻)知子, 浅川義範², 井上和秀, 川西 徹, 首
藤紘一³, 早川堯夫: 蛍光タンパク質を用いた核内受容体
リガンド候補化合物のスクリーニングおよび候補化合物の
解析
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

¹ 昭和大学

² 徳島文理大学

³ 乙卯研究所

合田幸広: 一般用漢方処方に関する最近の話題
第 54 回日本東洋医学会学術総会 (2003.5)

合田幸広: 薬用資源の栽培と資源保護に関する最近の話題
第 20 回和漢医薬学会大会 (2003.8)

合田幸広: 食薬区分の考え方
千葉県高機能性食品開発事業化研究会第一回セミナー
(2003.9)

代田 修, 菊池 裕, 合田幸広: 幻覚性キノコ(いわゆるマジックマッシュルーム)の高感度検知法の開発(1) - サイロシンハプテンの合成と免疫, 抗体作製 -
日本生薬学会第 50 回年会 (2003.9)

田中理恵, 六鹿元雄, 合田幸広, 坂野勇一¹, 渋谷雅明¹, 海
老塚豊¹, 永津明人²: 糖脂質のヒト由来ラノステロール合
成酵素阻害活性について
日本生薬学会第 50 回年会 (2003.9)

¹ 東京大学大学院薬学系研究科

² 名古屋市立大学薬学部

永津明人¹, 水上元¹, 伊藤静恵², 荻原幸夫², 田中理恵, 合
田幸広, 渋谷雅明³, 海老塚豊³: セイヨウノコギリソウ花蕾
に含有されるフラボノイドの検索
日本生薬学会第 50 回年会 (2003.9)

¹ 名古屋市立大学薬学部

² 名城大学薬学部

³ 東京大学大学院薬学系研究科

酒井英二¹, 田中俊弘¹, 佐竹元吉², 合田幸広, 関田節子:
FHH 各国薬局方みる生薬の形態記載
日本生薬学会第 50 回年会 (2003.9)

¹ 岐阜薬科大学

² お茶の水女子大学生生活環境研究センター

合田幸広: 生薬に関する最近の話題
大阪生薬協会研修会 (2003.9)

合田幸広: 生薬に関する最近の話題

奈良県製薬薬剤師会研修会 (2003.9)

合田幸広: 食薬区分と和漢薬及び日本薬局方の方向性
平成 15 年度富山医科薬科大学和漢薬研究所特別セミナー
(2003.10)

合田幸広: 健康食品に関わる健康障害事例と原因物質の同
定
第 39 回日本環境化学会 (2003.10)

合田幸広: 生薬・漢方製剤に関する最近の話題
第 15 回生薬漢方製剤の微生物および異物汚染対策ならびに
品質管理に関するシンポジウム (2003.12)

Yukihiro GODA: **Borderline of herbal medicine (pharmaceu-
ticals) to foods (not pharmaceuticals) in Japan**
the 2nd. Meeting of International Advisory Board on Hong Kong
Chinese Materia Medica Standards (2004.2)

斉藤君枝¹, 福島健¹, 加藤 大¹, 豊岡利正², 代田修, 合田幸
広: HPLC-FL および HPLC-MS による蛍光標識化 psilocy-
bin, psilocin の測定
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)
¹ 静岡県立大学薬学部

下村裕子, 合田幸広, 徳本廣子, 関田節子, 佐竹元吉¹, 徳
川斉正², 徳川真木²: 徳川家康の薬「烏犀圓」VIII
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

¹ お茶女大生活環境研究センター

² 水府明徳会彰考館徳川博物館

合田幸広: 生薬分野の国際調和 (FHH)
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

田中理恵, 清水 賢, 渋谷雅明, 海老塚豊, 合田幸広: ロー
レル (*Laurus nobilis*) のヒト由来ラノステロール合成酵素
阻害活性について
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

川原信夫, 井上真由美, 細江智夫¹, 河合賢一¹, 関田節子,
佐竹元吉², 合田幸広: オータムセージの成分研究(2).
日本生薬学会第 50 回年会 (2003.9)

¹ 星薬科大学

² お茶の水女子大

尾崎晴子¹, 求野麻里子¹, 袴塚高志¹, 川原信夫, 関田節子,
佐竹元吉²: Cucurbitacin, B 処理により発現変動する骨代謝
遺伝子の探索.
日本生薬学会第 50 回年会 (2003.9)

¹ 東京理科大学薬学部

² お茶の水女子大

黒柳正典¹, 池田周正¹, 黒飛知香¹, 川原信夫, 中根孝久, 佐
野俊和²: シロモジの抗発ガンプロモーター物質.
日本生薬学会第 50 回年会 (2003.9)

¹ 広島県立大学生物資源学部

² 広島県林業技術センター

酒井信夫, 川原信夫, 合田幸広, 川口基一郎: セイヨウサンザシ (*Crataegus oxyacantha* L.) 葉の成分研究 .

第 86 回日本食品衛生学会, (2003.10)

^{*} 北里大学薬学部

酒井信夫, 川原信夫, 合田幸広, 佐藤恭子, 棚元憲一: 既存添加物「アルカネット色素」の成分に関する研究 .

第 86 回日本食品衛生学会, (2003.10)

川原信夫, 酒井英二^{*1}, 佐竹元吉^{*2}, 合田幸広: FHH 各国局方における生薬の試験法と規格値 .

日本薬学会第 124 年会, (2004.3)

^{*1} 岐阜薬科大学

^{*2} お茶の水女子大

大槻 崇^{*1}, 小谷野喬^{*2}, Kowithayakorn T.^{*3}, 酒井信夫, 川原信夫, 合田幸広, 山口直人^{*1}, 石橋正己^{*1}: *Agave fourcroydes* の細胞毒性成分 . 日本薬学会第 124 年会, (2004.3)

^{*1} 千葉大学薬学部

^{*2} テムコ

^{*3} コンケン大農

叶 英樹^{*}, 八百屋さやか^{*}, 黒柳正典^{*}, 川原信夫, 中根孝久: アサガオ毛状根によるフェノール性化合物の配糖化 - その 3 - . 日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*} 広島県立大学生物資源学部

池田竜也^{*}, 黒柳正典^{*}, 大滝恵介^{*}, 武藤徳夫^{*}, 川原信夫, 中根孝久: ヒノキの神経突起誘導活性物質 . 日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*} 広島県立大学生物資源学部

花尻 (木倉) 瑠理, 最所 和宏, 合田 幸広: 平成 14 年度無承認無許可医薬品の買い上げ調査について いわゆる脱法ドラッグを中心に

第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

Kikura-Hanajiri, R.: **Profiling technique and ATS precursors** International Forum on Control of Precursors for ATS (2004.2)

花尻 (木倉) 瑠理, 最所和宏, 宮坂一善^{*}, 牧野由紀子^{*}, 合田幸広: 新規麻薬指定 3 薬物 (BZP, TFMPP 及びアミネブチン) の分析法について

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*} 関東信越麻薬取締部

最所和宏, 花尻 (木倉) 瑠理, 合田幸広: 健康食品中の勃起不全治療薬 (シルденаフィル, バルデナフィル及びタダラフィル) の LC/MS による分析法について

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

下村 裕子: 徳川家康の薬, 烏犀圓

平成 15 年度 第 5 回 「一般用医薬品・植物製剤の現状と将来」研究会 (2004.1)

江崎勝司, 佐竹元吉, 合田幸広: 宮内庁より移管を受けた生薬標本について (2) 日本薬局方第一局との整合性について

日本生薬学会第 50 年会 (2003.9)

鎌倉浩之, 代田 修, 川原信夫, 合田幸広: 平成 14 年度無承認無許可医薬品の買い上げ調査について - 健康食品について -

第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

丸山卓郎, 川原信夫, 合田幸広, 横山和正^{*1}, 牧野由紀子^{*2}: TaqMan PCR 法を用いた幻覚性キノコの鑑定 (2)

食品衛生学会第 86 回学術講演会 (2003.10)

^{*1} 滋賀大学教育学部

^{*2} 関東信越厚生局麻薬取締部

山口照英: ウイルス検出に関する NAT ガイドライン 第 3 回日本医薬品等ウイルス安全性研究会シンポジウム (2003.12)

Yamaguchi, T.: **Update of gene therapy in Japan.**

The 6th International Conference on Harmonization of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Use (2003.11)

Yamaguchi, T.: **Adenovirus Reference Material - Detectuion of RCA and AdV by Infectivity PCR.**

The 6th International Conference on Harmonization of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Use(2003.11)

内田恵理子: 遺伝子治療薬に混入する可能性のある増殖性ウイルスの迅速・高感度検出法の開発

第 3 回日本医薬品等ウイルス安全性研究会シンポジウム (2003.12)

Shimazawa, R., Nagata, R., Okuda, H. and Toyoshima, S.: **Issues related to quality evaluation of new drug substances and drug products**

2003 Fifth AFMC International Medicinal Chemistry Symposium (2003.10)

宮澤 宏, 山口照英: P19 細胞神経分化誘導時のタンパク質プロファイルの解析

第 26 回日本分子生物学会年会 (2003.12)

Minamisawa, S.^{*1}, Sato, Y., Uemura, N.^{*2}, Yokoyama, U.^{*1}, Mochizuki, S.^{*2}, Ishikawa, Y.^{*1}: **Retinoid and thyroid pathways play an important role in the transcriptional regulation of sarcolipin**

第 68 回日本循環器学会総会 (2004.3)

^{*1} 横浜市立大学大学院・医学研究科

^{*2} 東京慈恵会医科大学

Sato, Y., Mori, S., Nakamura R., Ishida, S., Sawada, J., Miyazawa,

H., Yamaguchi, T., Inoue, K., Ohno, Y. **Microarray analysis of coronary artery smooth muscle cells stimulated by PPAR alpha and gamma ligands**

第 77 回日本薬理学会年会 (2004.3)

T. Suzuki, P. Rajaguru, J. Kanno, H. Sakamoto, M. Hayashi, T. Yamaguchi, and M. Honma: **GeneChip analysis on transcriptional changes induced in human lymphoblastoid (TK6) cells by six genotoxic chemicals.**

33rd Annual Meeting of the European Environmental Mutagen Society (2003.8)

鈴木孝昌, 小原有弘, 山田勉也, 佐伯憲一, 本間正充, 山口照英, 林 真: ニトロソアミン類がマウスに誘発する突然変異の多様性

第 62 回日本癌学会総会 (2003.9)

* 名古屋市立大学大学院薬学研究科

山田勉也¹, 鈴木孝昌, 羽倉昌志², 佐伯憲一¹: 10 位窒素置換ベンズピレンのヒト肝 **microsome** を用いた Ames 試験での変異原性評価

第 62 回日本癌学会総会 (2003.9)

¹ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

² エーザイ(株)

鈴木孝昌: 環境化学物質のリスク評価のためには現行遺伝毒性試験に何が欠けているか

日本環境変異原学会微生物変異原性試験研究会第 31 回定例会 (2003.11)

JEMS/MMS マイクロアレイ共同研究グループ(世話人代表: 鈴木孝昌): **DNA マイクロアレイの変異原性試験への応用に関する共同研究**

日本環境変異原学会第 32 回大会 (2003.11)

パラニサミー・ラジャグル, 鈴木孝昌, 坂本浩子, 菅野 純, 林 真, 本間正充: ヒトリンパ腫由来 **TK6** 細胞における遺伝子傷害性物質による遺伝子発現変化の解析

日本環境変異原学会第 32 回大会 (2003.11)

Suzuki, T.: **Toxicogenomics in the genetic toxicology.**

Annual Meeting of the Chinese Environmental Mutagen Society (2003.11)

戸部香織^{1,2}, 仲地豊³, 近藤恭光³, 中嶋圓⁴, 浜田修一⁵, 鈴木孝昌, 兵庫淳志⁶, 田代 英夫³, 榎 佳之², 降旗 千恵^{1,2}: マウス肝発癌初期過程における遺伝子発現解析に用いる **Oligonucleotide Microarray** の開発

日本分子生物学会 (2003.12)

¹ 青山学院大・院・理工

² 東大・医科研・ヒトゲノム解析セ

³ 理研・工学基盤

⁴ 安評センター

⁵ エスエス製薬(株)

⁶ 三共(株)

山田勉也¹, 羽倉昌志², 鈴木孝昌, 加藤隆明¹, 竹本育世¹, 水谷隆治¹, 佐伯憲一¹: 一連の含窒素芳香族化合物の代謝活性化に関わるヒト **CYP** 分子種

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

¹ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

² エーザイ(株)

小原有弘¹, 鈴木孝昌, 鈴木孝禎², 宮田直樹², 二宮真一¹, 須藤哲司¹: **GeneChip** を用いた薬剤曝露時の遺伝子発現解析 (**Toxicogenomics** への応用を目指して)

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

¹ 第一化学薬品(株)

² 名古屋市立大学大学院薬学研究科

小原有弘¹, 鈴木孝昌, 小貫慶昭², 佐藤陽美², 板井昭子², 鈴木孝禎³, 宮田直樹³, 二宮真一¹, 須藤哲司¹: チアゾリジンジオン誘導体曝露ヒトプライマリー肝細胞の **GeneChip** 遺伝子発現解析 (**KeyMolnet** を用いた分子ネットワーク解析への展開)

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

¹ 第一化学薬品(株)

² (株)医薬分子設計研究所

³ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

鈴木孝昌: トキシコゲノミクス研究から見た大集積アレイの有用性と臨床診断用の次世代カスタムアレイに求められるもの

文部科学省科学技術振興調整費ゲノムフロンティア開拓研究シンポジウム - 次世代のマイクロアレイ - カスタムアレイの展開 - (2004.3)

鴻野貴司¹, 鈴木孝昌, 田代朋子¹, 榎佳之², 降旗千恵¹: 大集積 **DNA** マイクロアレイを用いた老化促進モデルマウス (**Senescence Accelerated Mouse: SAM**) の原因遺伝子の研究

文部科学省科学技術振興調整費ゲノムフロンティア開拓研究シンポジウム - 次世代のマイクロアレイ - カスタムアレイの展開 - (2004.3)

¹ 青山学院大学・理工学部

² 東京大学・医科研

Kanayasu-Toyoda, T., Oshizawa, T., Suzuki, T., Uchida, E., Hayakawa, T. and Yamaguchi, T.: **Role of PKC on G-CSF signaling pathway in differentiating HL-60 cells into neutrophils.**

The 6th World Congress on Inflammation. (2003. 8.)

Kanayasu-Toyoda, T., Oshizawa, T., Suzuki, T., Uchida, E., Hayakawa, T. and Yamaguchi, T.: **Role of PKC on G-CSF signaling pathway in differentiating HL-60 cells into neutrophils.**

第 76 回日本生化学大会. (2003. 10)

有川稔多加^{*}, 豊田淑江, 山口照英, 小村健^{*}, 早川堯夫, 森田育男^{*}: 血管内皮細胞化に伴う各種コネクシンの発現変化

第 24 回日本炎症・再生医学会. (2003.11)

* : 東京医科歯科大学・歯学部

配島由二, 樋口多恵^{*1}, 井之上浩一^{*1}, 長谷川千恵, 矢上 健, 土屋利江, 中橋敬輔^{*2}, 中澤裕之^{*1}: PVC 製医療用具からの可塑剤溶出量を予測する簡易評価系の開発
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*1} 星薬大

^{*2} テルモ

配島由二, 長谷川千恵, 矢上 健, 土屋利江: キチン類に混在するエンドトキシンの回収と不活化
第 25 回日本バイオマテリアル学会大会 (2003.12)

矢上 健, 配島由二, 土屋利江, 富高晶子, 加野尚生, 松永佳世子: プロテオミクスの手法を用いたラテックスアレルギーの解析
第 8 回日本ラテックスアレルギー研究会 (2003.7)
* 藤田保健衛生大学医学部

富高晶子, 秋田浩孝, 鈴木加余子, 加野尚生, 加藤弥寿子, 赤松浩彦, 松永佳世子, 矢上 健: ラテックスアレルギーの対策 - 8 年間の活動報告 -
第 8 回日本ラテックスアレルギー研究会 (2003.7)
* 藤田保健衛生大学医学部

Matsunaga, K.*, Tomitaka, A.*, Kano, H.*, Yagami, T.: **Diagnosis and management of latex-fruit syndrome**
The 14th International Symposium on Contact Dermatitis (2003.9)
* Fujita Health University School of Medicine

Tomitaka, A.*, Akita, H.*, Suzuki, K.*, Kano, H.*, Kato, Y.*, Akamatsu, H.*, Matsunaga, K.*, Yagami, T.: **Follow up study of latex allergy for 8 years**
The 14th International Symposium on Contact Dermatitis (2003.9)
* Fujita Health University School of Medicine

Sugiura, M.^{*1}, Hayakawa, R.^{*1}, Sugiura, K.^{*2}, Kato, Y.^{*1}, Shamoto, M.^{*2}, Shinzato, M.^{*2}, Osada, A.^{*2}, Yagami, T.: **Hevein is an allergen of delayed-type latex allergy**
The 14th International Symposium on Contact Dermatitis (2003.9)
^{*1} Nagoya University School of Medicine
^{*2} Institute for Comprehensive Medical Science, Fujita Health University

矢上 健, 配島由二, 土屋利江, 富高晶子, 加野尚生, 松永佳世子: ラテックスアレルギーとしての **isoflavone reductase**
第 53 回日本アレルギー学会総会 (2003.10)
* 藤田保健衛生大学医学部

富高晶子, 秋田浩孝, 鈴木加余子, 加野尚生, 加藤弥寿子, 赤松浩彦, 松永佳世子, 矢上 健: ラテックスアレルギーへの治療・対策と臨床経過
第 53 回日本アレルギー学会総会 (2003.10)
* 藤田保健衛生大学医学部

矢上晶子, 鈴木加余子, 加野尚生, 赤松浩彦, 松永佳世子, 矢上 健: ラテックスアレルギーへの防御, 啓発活動の成果
第 28 回日本接触皮膚炎学会総会・学術大会 (2003.12)
* 藤田保健衛生大学医学部

Yagami, T., Haishima, Y., Tsuchiya, T., Tomitaka-Yagami, A.*, Kano, H.*, Matsunaga, K.*: **A new latex allergen classified into the plant defense-related reductase family**
60th Annual Meeting of The American Academy of Allergy, Asthma and Immunology (2004.3)
* Fujita Health University School of Medicine

矢上晶子, 加野尚生, 松永佳世子, 矢上 健: ヘベインのアレルゲン性は立体エピトープ由来かそれともリニアエピトープ由来か?
日本研究皮膚科学会第 29 回年次学術大会・総会 (2004.4)
* 藤田保健衛生大学医学部

矢上晶子, 加野尚生, 矢上 健, 配島由二, 土屋利江, 松永佳世子: 異なった症状を呈するラテックスアレルギー患者に対するアレルギー蛋白の差異
第 103 回日本皮膚科学会総会 (2004.4)
* 藤田保健衛生大学医学部

鹿庭正昭, 五十嵐良明: 市販製品における製品表示及び化学物質等安全データシート(MSDS)の実態調査 家庭用ゴム製品
第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

鹿庭正昭, 五十嵐良明: 市販製品における製品表示及び化学物質等安全データシート(MSDS)の実態調査 木材防腐剤クレオソート及びクレオソート処理品
第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

鹿庭正昭, 五十嵐良明: 健康被害の発生実態と製品情報の理解度に関する消費者アンケート調査 家庭用ゴム製品
第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

鹿庭正昭, 五十嵐良明: 健康被害の発生実態と製品情報の理解度に関する消費者アンケート調査 木材防腐剤クレオソート及びクレオソート処理品
第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

鹿庭正昭: ポリクロロブレン製品によるアレルギー性接触皮膚炎: チオウレア系加硫促進剤の役割
第 28 回日本接触皮膚炎学会学術大会・総会 (2003.12)

鹿庭正昭: 教育講演 家庭用品による皮膚障害の原因製品と原因化学物質 皮膚障害の発生実態と原因究明の実際
第 67 回日本皮膚科学会東京支部学術大会 (2004.2)

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 土屋利江: クレオソート油及びクレオソート油処理木材中の多環芳香族炭化水素の分析
第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 土屋利江: ホルムアルデヒド公定法

の改定に向けた検討について(2): 吸光度法のクロスチェックと HPLC 法

第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 土屋利江: 医用材料の即時型アレルギー性の検出: マウス IgE test と popliteal lymph node assay

第 25 回日本バイオマテリアル学会大会 (2003.12)

松岡厚子, 藪島由二, 長谷川千恵, 土屋利江: 医用材料関連物質による核内倍加の誘発

日本環境変異原学会第 32 回大会 (2003.11)

中村 哲^{*}, 高野智好^{*}, 松岡厚子, 加藤幸彦^{*}: In vitro 小核試験における数的異常誘発物質処理による異常細胞出現パターンの相違 - II

日本環境変異原学会第 32 回大会 (2003.11)

^{*} キヤノン株式会社

松岡厚子, 伊佐間和郎, 土屋利江: 医療機器の生物学的安全性試験の標準化に関する研究: モデル材料を用いた細胞毒性試験および染色体異常試験の検討

第 25 回日本バイオマテリアル学会大会 (2003.12)

澤田留美, 土屋利江, 伊藤友実, 松田良枝, 松岡厚子: ヒト幹細胞を用いた細胞組織医療機器の安全性評価に関する研究(1)

第 3 回日本再生医療学会総会 (2004.3)

川手尚江¹, 佐川利恵¹, 牛山育子¹, 澤田留美, 脊山洋右¹, 河島洋², 小野佳子², 堀川千賀², 木曾良信², 藤原葉子¹: 生体内脂質代謝に及ぼすジホモ - リノレン酸(DGLA, 20:3 n-6)の影響

日本農芸化学会 2004 年度大会 (2004.3)

¹ お茶の水女子大学

² サントリー

佐川利恵¹, 伊藤友実¹, 澤田留美, 脊山洋右¹, 河島洋², 小野佳子², 堀川千賀², 木曾良信², 藤原葉子¹: 食餌性ジホモ - リノレン酸が生体内脂質代謝に及ぼす影響について (第 2 報)

第 58 回日本栄養・食糧学会大会 (2004.5)

¹ お茶の水女子大学

² サントリー

堀川千賀¹, 立石政友¹, 出雲貴幸¹, 小野佳子¹, 河島洋¹, 澤田留美, 藤原葉子², 木曾良信¹: モルモットにおける食餌性ジホモ - リノレン酸の生体内脂質代謝について (第 3 報)

第 58 回日本栄養・食糧学会大会 (2004.5)

¹ サントリー

² お茶の水女子大学

佐藤道夫, 土屋利江: 整形外科インプラントの不具合報告について

第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

佐藤道夫: シンポジウム「標準化とバイオマテリアル」インプラント・データシステムの活動

第 25 回日本バイオマテリアル学会大会 (2003.12)

佐藤道夫, 土屋利江: パネルディスカッション「整形外科インプラント不具合発生の現状とその対策」インプラントの安全性のための評価の現状と展望

第 77 回日本整形外科学会学術総会 (2004.5)

伊佐間和郎, 藪島由二, 土屋利江: ガンマ線照射コラーゲンの骨芽細胞に及ぼす影響

第 25 回日本バイオマテリアル学会大会 (2003.12)

伊佐間和郎, 藪島由二, 長谷川千恵, 佐々木和夫^{*}, 土屋利江: ガンマ線照射コラーゲンスポンジの骨芽細胞に及ぼす影響評価

第 3 回日本再生医療学会総会 (2004.3)

^{*} 日本ハム(株)中央研究所

新谷英晴: 培地の違いに拠る浮遊菌の生育性能の相違と浮遊菌除去

日本防菌防黴学会環境殺菌事例研究会 (2003.12)

新谷英晴: ビスフェノール A を用いない耐放射線性ポリサルフォン

日本防菌防黴学会第 31 回大会 (2004.5)

Ahmed, S., Tsuchiya, T.: **The different effects of PLLA plates on the surrounded tissues between two strains of mice**

第 25 回日本バイオマテリアル学会大会 (2003.12)

Banu, N., Tsuchiya, T., Tsutsumi, S.^{*}: **Different action on the chondrogenesis of human articular chondrocytes with two types of hyaluronic acid**

第 25 回日本バイオマテリアル学会大会 (2003.12)

^{*} 京都大学再生医科学研究所

柳楽 勤, 長幡 操, 土屋利江, 阿部康次^{*}: 陰イオン修飾ヒアルロン酸による正常ヒト表皮角化細胞の分化促進及び細胞間連絡機構亢進効果

第 25 回日本バイオマテリアル学会大会 (2003.12)

^{*} 信州大学

長幡 操, 土屋利江, 伊佐間和郎, 阿部康次^{*}: 陰イオン修飾ヒアルロン酸による正常ヒト骨芽細胞の分化促進効果

第 25 回日本バイオマテリアル学会大会 (2003.12)

^{*} 信州大学

土屋利江, 伊佐間和郎, 松岡哲也¹, 大庭耕輔², 林 達也³, 中田和彦³: 医療用具の生物学的試験の標準化に関する研究: 医療材料の感作性試験(その 3)

第 25 回日本バイオマテリアル学会大会 (2003.12)

¹ ポゾリサーチセンター

² 安評センター

³ メニコン(株)

土屋利江：医療機器，細胞組織医療機器の製品化のための規制環境の整備について
東京大学医科学研究所 講演 (2004.4)

土屋利江：医療機器及び細胞組織医療製品の安全性・有効性の基本的な考え方
2nd BMC-NIMS シンポジウム (2004.3)

山越葉子^{*}，土屋利江：生物活性を指向した機能性 C₆₀ 誘導体の合成
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)
^{*} カルフォルニア大学サンタバーバラ校

土屋利江：再生医療実用化への課題
第 3 回再生医療学会総会公開シンポジウム「再生医療フォーラム」(2004.3)

Banu, N., Tsuchiya, T.: **Effect of the catalyst used in the biodegradable polymers on chondrogenesis of human articular cartilage**
第 3 回日本再生医療学会総会 (2004.3)

柳楽 勤，土屋利江，阿部康次^{*}，長幡操：陰イオン修飾ヒアルロン酸による正常ヒト表皮角化細胞及びヒト間葉系幹細胞の分化促進効果
第 3 回日本再生医療学会総会 (2004.3)
^{*} 信州大学

Ahmed, S., Tsuchiya, T.: **Studies on the different tumorigenic activities of PLLA between two strains of mice**
第 3 回日本再生医療学会総会 (2004.3)

Yang, J., Tsuchiya, T.: **Enhancement of E-cadherin expression and liver functions of HepG2 in alginate gel**
第 3 回日本再生医療学会総会 (2004.3)

土屋利江：パネルディスカッション 医療機器，細胞組織医療機器の製品化のための規制環境の整備について
第 3 回日本再生医療学会総会 (2004.3)

土屋利江：細胞間結合機能の評価
第 3 回日本再生医療学会 NEDO サテライトシンポジウム (2004.3)

土屋利江：再生医療のための細胞の評価と標準化
第 4 回分子・細胞医療における ME 研究会 (2004.2)

Tsuchiya, T.: **Standards and guidelines for the sound development of the medical devices and tissue engineered products**
High-level workshop on international standards for medical technologies, WHO (2004.2)

土屋利江：医療機器，細胞組織医療機器の製品化のための規制環境の整備について
日中シンポジウム (2004.2)

鈴木寿子^{*}，土屋利江，吉原なみ子^{*}：カラーゲンスポンジを用いたバイオヒト皮膚モデルにおける HIV-1 検出法の検討
第 17 回日本エイズ学会 (2003.11)
^{*} 国立感染症研究所エイズ研究センター

Tsutsumi, S.^{*}, Tsuchiya, T.: **Recent Japanese regulations for tissue engineered medical products and trials for evaluation of their mechanical properties**
2nd Japanese-Swiss Workshop on Biomaterials (2003.11)
^{*} 京都大学再生医科学研究所

土屋利江：医療機器に関連した薬事法改正と有効性・安全性・品質確保の考え方について
第 133 回日本金属学会 2003 年秋季大会 (2003.10)

土屋利江：生物学的指標 “ギャップジャンクション” および組織工学製品と組織工学材料の国際標準化
医療機器フォーラム設立記念シンポジウム (2003.10)

土屋利江：医療機器・材料の安全性
日本バイオマテリアル学会産業委員会主催シンポジウム (2003.9)

土屋利江：組織工学材料と細胞組織医療機器の標準化：国際的な動向とわが国の現在・近未来について
第 3 回日本バイオマテリアル学会シンポジウム (2003.9)

今安正樹^{*1}，島田昌一^{*2}，土屋利江：ラット眼を用いたコンタクトレンズの安全性評価
第 23 回比較眼科学会年次大会発表 (2003.7)
^{*1} (株)メニコン
^{*2} 名古屋市立大学

バヌー・ナスリン，土屋利江：起源の異なるヒアルロン酸のヒト軟骨細胞の増殖と分化に及ぼす相反する効果
第 6 回日本組織工学会大会 (2003.6)

柳楽 勤，スーザン マチュー，山越葉子，土屋利江：正常ヒト皮膚繊維芽細胞のギャップ結合細胞間連絡機能に及ぼす温度応答性ポリ-N-イソプロピルアクリルアミドの促進効果
第 6 回日本組織工学会大会 (2003.6)

柳楽 勤，土屋利江，阿部康次^{*}，長幡 操：陰イオン修飾ヒアルロン酸による正常ヒト表皮角化細胞の分化促進効果
第 6 回日本組織工学会大会 (2003.6)
^{*} 信州大学

土屋利江：**医療用具の安全性**
東京女子医科大学 (2003.6)

Tsuchiya, T., Banu, N., Tsutsumi, S.^{*} : **Different action on the chondrogenesis of human articular chondrocytes with hyaluronic acid and collagen matrix**
7th World Biomaterial Congress (2004.5)
^{*} 京都大学再生医科学研究所

Tsuchiya, T.: **Recent Activities of Standards of Medical Devices and Tissue Engineered Products in Japan**

International Conference on Biomaterials and Tissue Engineering 2004 (2004.5)

Tsuchiya, T.: **Overview on Biological and Clinical Evaluation**

International Conference on Biomaterials and Tissue Engineering 2004 (2004.5)

綾野絵理, 金澤秀子*, 西村哲治, 安藤正典: ウレア系農薬 8 種の水試料からの分離定量法の検討

第 12 回環境化学討論会 (2003.6)

* 共立薬科大学

内山茂久, 安藤正典, 青柳象平*: アルデヒド - 2,4-ジニトロフェニルヒドラゾン誘導体の異性化反応と高速液体クロマトグラフィー分析

日本分析化学会第 52 年会 (2003.9)

* 千葉大学工学部

浅井佳祐*, 内山茂久, 青柳象平*, 安藤正典: 室内空气中揮発性有機化合物の分析方法 3 層吸着管 (ORBO-91T) 捕集 / 溶媒抽出法の検討

日本分析化学会第 52 年会 (2003.9)

* 千葉大学工学部

長宗寧¹, 牧原大², 皆川直人¹, 高玲華, 内山茂久, 安藤正典: 室内空气中揮発性有機化合物の分析方法 固体吸着法における加熱脱着と溶媒抽出の比較

日本分析化学会第 52 年会 (2003.9)

¹ グリーンブルー株式会社

² オーエスラボ株式会社

高玲華, 内山茂久*, 安藤正典: 経気道暴露化学物質における大気および室内からの非発ガン性物質の寄与率とリスク評価に関する研究

大気環境学会第 44 年会 (2003.9)

* 千葉大学工学部

高玲華, 内山茂久, 安藤正典: 大気中発ガン性化学物質の暴露によるリスク評価に関する研究

大気環境学会第 44 年会 (2003.9)

高玲華, 内山茂久, 安藤正典: アルデヒド類の経気道暴露によるリスク及び健康影響評価に関する研究

大気環境学会第 44 年会 (2003.9)

奥平純子*, 内山茂久, 青柳象平*, 安藤正典: 室内空間における二酸化窒素の特性

大気環境学会第 44 年会 (2003.9)

* 千葉大学工学部

松島江里香, 内山茂久, 大野彰子, 埴岡伸光, 安藤正典: 室内空間におけるアルデヒド類・ケトン類の特性

大気環境学会第 44 年会 (2003.9)

三浦香寿子*, 内山茂久, 松島江里香, 工藤一郎*, 安藤正典: 室内の閉鎖空間におけるアルデヒド類・ケトン類の特性

大気環境学会第 44 年会 (2003.9)

* 昭和大学薬学部

北尾奈穂子*, 田中恒雄*, 青柳象平*, 内山茂久, 安藤正典: ピーナッツ殻によるホルムアルデヒド吸収能

大気環境学会第 44 年会 (2003.9)

* 千葉大学工学部

牧原大¹, 長宗寧², 皆川直人², 高玲華, 内山茂久, 安藤正典: 室内空气中揮発性有機化合物 (VOC) の測定方法の開発に関する研究

大気環境学会第 44 年会 (2003.9)

¹ オーエスラボ株式会社

² グリーンブルー株式会社

牧原大¹, 長宗寧², 皆川直人², 高玲華, 内山茂久, 安藤正典: 室内空气中化学物質の測定方法としての加熱脱離法と溶媒抽出法の比較

大気環境学会第 44 年会 (2003.9)

¹ オーエスラボ株式会社

² グリーンブルー株式会社

長宗寧¹, 皆川直人¹, 牧原大², 安藤正典: 室内外の揮発性有機化合物 (VOCs) の実態調査 (2)

大気環境学会第 44 年会 (2003.9)

¹ グリーンブルー株式会社

² オーエスラボ株式会社

長宗寧¹, 皆川直人¹, 牧原大², 安藤正典: 総揮発性有機化合物 (TVOC) の実態調査 (2)

大気環境学会第 44 年会 (2003.9)

¹ グリーンブルー株式会社

² オーエスラボ株式会社

綾野絵理, 岡田裕司¹, 坂本千賀子¹, 金澤秀子¹, 菊池明彦², 岡野光夫², 西村哲治, 安藤正典: 温度応答性クロマトグラフィーによるスルフォニルウレア系農薬の分析

日本分析化学会第 52 年会 (2003.9)

¹ 共立薬科大学

² 東京女子医科大学

西村哲治, 安藤正典, 西川淳一¹, 西原力¹, 橋本安弘²: 核内受容体リガンドアッセイによる内分泌攪乱化学物質の評価

第 6 回日本環境学会シンポジウム (2003.9)

¹ 大阪大学大学院薬学研究科

² マイクロシステムズ

安藤正典, 高玲華: 室内空气中化学物質の経気道暴露によるリスクアセスメントに関する研究

日本公衆衛生学会第 62 年会 (2003.10)

高玲華, 長宗寧¹, 牧原大², 皆川直人¹, 安藤正典: 室内空气中総揮発性有機化合物 (TVOC) の測定方法とその実態に

関する研究

日本公衆衛生学会第 62 年会 (2003.10)

¹ グリーンブルー株式会社

² オーエスラボ株式会社

松島江里香, 高玲華, 安藤正典: 全国の室内・外空气中化学物質の存在状況に関する研究

日本公衆衛生学会第 62 年会 (2003.10)

長宗寧¹, 牧原大², 皆川直人¹, 高玲華, 安藤正典: 室内空气中揮発性有機化合物の加熱脱離及び溶媒抽出法による測定方法に関する研究

日本公衆衛生学会第 62 年会 (2003.10)

¹ グリーンブルー株式会社

² オーエスラボ株式会社

牧原大¹, 長宗寧², 皆川直人², 高玲華, 安藤正典: 室内空气中の VOC および TVOC の測定対象物質に関する研究

日本公衆衛生学会第 62 年会 (2003.10)

¹ オーエスラボ株式会社

² グリーンブルー株式会社

香川(田中)聡子, 神野透人, 石田誠一, 埴岡伸光*, 斎藤嘉朗, 小澤正吾, 西村哲治, 成松鎮雄*, 澤田純一, 安藤正典: ヒト肝臓における薬物代謝酵素関連遺伝子発現量の個体差に関する研究

フォーラム 2003 (2003.10)

* 岡山大学薬学部

綾野絵理, 岡田裕司¹, 坂本千賀子¹, 金澤秀子¹, 菊池明彦², 岡野光夫², 西村哲治, 安藤正典: 温度応答性クロマトグラフィを用いた環境水試料からの農薬の分離定量法の検討

フォーラム 2003 (2003.10)

¹ 共立薬科大学

² 東京女子医科大学

神野透人, 佐伯真弓, 斎藤嘉朗, 香川(田中)聡子, 埴岡伸光, 佐井君江, 鹿庭なほ子, 安藤正典, 白尾国昭*, 南博信*, 大津敦*, 吉田輝彦*, 西條長宏*, 小澤正吾, 澤田純一: イリノテカン投与患者で見出された UDP-グルクロン酸転移酵素 (UGT) 1A9 の一塩基多型

第 18 回日本薬物動態学会年会 (2003.10)

* 国立がんセンター

徳永裕司, Roychowdhury T., 内野 正, 安藤正典: インド共和国西ベンガル州におけるヒ素暴露評価に関する研究

第 11 回ヒ素シンポジウム (2003.10)

内野 正, Tarit Roy Chowdhury, 徳永裕司, 安藤正典: インド共和国西ベンガル州におけるヒ素暴露評価に関する研究

井戸水, 食物及びヒト毛髪中のヒ素濃度

第 11 回ヒ素シンポジウム (2003.10)

徳永裕司, 竹内織恵, 内野 正, 安藤正典: 薄層クロマトグラフィ法による口紅中のタール色素の分析法に関する研究

第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

西村哲治, 綾野絵理, 安藤正典: LC/MS 法および GC/MS 法による農薬の一斉分析

第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

徳永裕司, 平野貴子, 高崎祥子, 竹内織恵, 内野 正, 安藤正典: 高速液体クロマトグラフィ法による化粧水及び口紅中のタール色素の分析に関する研究

第 53 回化粧品技術者会研究討論会 (2003.11)

神野透人, 香川(田中)聡子, 石田誠一, 佐伯真弓, 祖山晃子, 井戸田昌也, 西村哲治, 斎藤嘉朗, 小澤正吾, 安藤正典, 澤田純一: ヒト核内レセプター CAR のスプライス変異体に関する研究

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

内野 正, 竹内織恵, 徳永裕司, 安藤正典: より生体に近い 3 次元培養ヒト皮膚モデルの構築及びその *in vitro* 評価法に関する研究 (その 2) 免疫機能への影響

日本薬学会第 124 回年会 (2004.3)

徳永裕司, 森 謙一郎¹, 野坂富雄², 土井佳代³, 坂口 洋⁴, 藤井まき子⁵, 高野勝弘⁶, 林 正人⁷, 吉沢賢一⁸, 島村公雄⁹, 佐藤信夫¹⁰: 化粧品に配合が禁止されている成分の分析法に関する研究: 安息香酸ナトリウム, クロルクレゾール

日本薬学会第 124 回年会 (2004.3)

¹ 都衛研国立がんセンター

² 埼玉衛研

³ 神奈川衛研

⁴ 北里大理学部

⁵ 昭和薬大

⁶ 粧工連

⁷ 資生堂

⁸ ポーラ

⁹ カネボウ

¹⁰ コーセー

綾野絵理, 岡田裕司¹, 坂本千賀子¹, 金澤秀子¹, 菊池明彦², 岡野光夫², 西村哲治, 安藤正典: 温度応答性クロマトグラフィ/質量分析法を用いた親水性農薬およびその塩素処理生成物の検討

日本薬学会第 124 回年会 (2004.3)

¹ 共立薬科大学

² 東京女子医科大学

西村哲治, 福島実¹, 大橋則雄², 小林規矩夫³, 菅谷なえ子⁴, 鈴木俊也², 中室克彦⁵, 永瀬久光⁶, 深澤喜延³, 森田久男⁷: 環境試験法・水質試験法 エストラジオール類

日本薬学会第 124 回年会 (2004.3)

¹ 大阪市環境研究所

² 東京都健康安全研究センター

³ 山梨県衛生公害研究所

⁴ 横浜市衛生研究所

⁵ 摂南大学薬学部

⁶ 岐阜薬科大学

⁷ 埼玉県衛生研究所

保坂三継^{*1}, 西村哲治, 大橋則雄^{*1}, 小林規矩夫^{*2}, 菅谷なえ子^{*3}, 鈴木俊也^{*1}, 永瀬久光^{*4}, 中室克彦^{*5}, 深澤喜延^{*2}, 福島実^{*6}, 森田久男^{*7}: 環境試験法・水質試験法 飲料水のクリプトスポリジウム及びジアルジア試験

日本薬学会第 124 回年会 (2004.3)

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} 山梨県衛生公害研究所

^{*3} 横浜市衛生研究所

^{*4} 岐阜薬科大学

^{*5} 摂南大学薬学部

^{*6} 大阪市環境研究所

^{*7} 埼玉県衛生研究所

鎌田素之^{*1}, 島崎大^{*1}, 西村哲治, 相澤貴子^{*2}: 監視農薬ブライオリティリストを用いた水道における農薬の管理の試み 第 38 回日本水環境学会年会 (2004.3)

^{*1} 国立保健医療科学院

^{*2} 横浜市水道局

Tokunaga H.: Cosmeceuticals: **Melanin synthesis inhibitors and in vitro Evaluation for Whitening Cosmetics**

53rd Annual Convention of Pharmaceutical Society of Korea (2004. 4)

米谷民雄: 食品安全に向けた試験研究機関の最近の業務 第 1 回食品安全フォーラム「食品安全に向けたレギュラトリーサイエンス」(2003.9)

米谷民雄: 食品からの化学物質の暴露評価 フォーラム 2003「生活環境からの化学物質による曝露影響評価」(2003.10)

米谷民雄: 残留化学物質の分析法の構築にむけて 第 39 回日本環境化学会講演会「食品と化学物質」(2003.11)

米谷民雄: 食品中のカドミウムとメチル水銀をめぐる国際的動向 日本薬学会第 124 年会ミニシンポジウム「国際化時代における食に関わる化学物質と安全性」(2004.3)

根本 了, 山口 拓, 佐々木久美子, 米谷民雄: 畜水産物中の残留農薬分析に対する超臨界流体抽出の適用 - 肉, 魚試料について - 日本食品衛生学会第 86 回学術講演会 (2003.10)

堀伸二郎^{*1}, 外海泰秀, 岡 尚男^{*2}, 佐々木久美子, 田中敏嗣^{*3}, 中村好志^{*4}, 永山敏廣^{*5}, 前川吉明^{*6}, 松木宏晃^{*7}, 村上りつ子^{*8}: GC/MS(SIM)による食品中のフタル酸エステル及びアジピン酸エステルの同時分析 日本薬学会第 124 年回 (2004.3)

^{*1} 大阪府公衛研

^{*2} 愛知県衛研

^{*3} 神戸市環保研

^{*4} 檀山女学園大

^{*5} 東京都健安研センター

^{*6} 日本食品分析センター

^{*7} サントリー分析化学センター

^{*8} 茨城県衛研

天倉吉章, 堤 智昭, 佐々木久美子, 米谷民雄: 野菜試料中のダイオキシン類分析における前処理法の検討 日本食品化学学会第 9 回総会・学術大会 (2003.6)

堤 智昭, 天倉吉章, 佐々木久美子, 米谷民雄: 魚介類の摂食部位別におけるダイオキシン類の汚染実態 第 12 回環境化学討論会 (2003.6)

Tsutsumi, T., Amakura, Y., Yanagi, T.^{*1}, Nakamura, M.^{*1}, Kono, Y.^{*1}, Uchibe, H.^{*1}, Iida, T.^{*2}, Toyoda, M.^{*3}, Sasaki, K. and Maitani, T.: **Levels of PCDDs, PCDFs and dioxin-like PCBs in retail fish and shellfish in Japan**

23rd International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants & POPs (2003.8)

^{*1} Japan Food Research Laboratories

^{*2} Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences

^{*3} Jissen Woman's University

奥山 亮^{*1}, 水上春樹^{*1}, 谷岡洋平^{*2}, 上田和恵^{*2}, 坂田一登^{*2}, 堤 智昭, 天倉吉章, 佐々木久美子, 森田昌敏^{*3}, 米谷民雄: ELISAによる市販魚中のコプラナーPCB簡易測定法の開発 第 6 回環境ホルモロン学会 (2003.12)

^{*1} (株) エンバイオテック・ラボラトリーズ

^{*2} (株) 第一ファインケミカル

^{*3} 国立環境研究所

堤 智昭, 天倉吉章, 奥山 亮^{*1}, 水上春樹^{*1}, 谷岡洋平^{*2}, 上田和恵^{*2}, 坂田一登^{*2}, 佐々木久美子, 米谷民雄: ELISAによる市販魚中のコプラナーPCBsおよび総PCBsのスクリーニング 日本薬学会第 124 回年会 (2004.3)

^{*1} (株) エンバイオテック・ラボラトリーズ

^{*2} (株) 第一ファインケミカル

宮原 誠: 照射食品の安全性に関する歴史 放射線利用促進協議会 (2003.6)

宮原 誠, 上村智美^{*1}, 斎藤顕子^{*1}, 小林泰彦^{*2}, 米谷民雄: DNA法による照射食品の検知 基礎的検討 日本食品衛生学会 第 84 回学術講演会 (2003.5)

^{*1} 北里大学医療衛生学部

^{*2} 日本原子力研究所高崎研究所

宮原 誠, 増水草季^{*1}, 小林泰彦^{*2}, 米谷民雄: ESR法による照射食品の検知 その2 糖成分を含む食品に関する基礎的検討 第 40 回理工学における同位元素・放射線研究発表会 (2003.7)

^{*1} 日本電子応用研究所

^{*2} 日本原子力研究所高崎研究所

Makoto Miyahara, Yasuo Kobayasi^{*1}, Toshiki Mashimuzu^{*2}, Tamio Maitani: **ESR Method for detection of irradiated**

unborned-meats and seafood 5

XIIIth International Meeting on Radiation Processing 2003, (2003.9)

^{*1} Japan Atomic Energy Research Institute, Takasaki Establishment

^{*2} Japan Electro Optics Laboratory

Makoto Miyahara, Tamio Maitani, Masaru Nakamura^{*1}, Yoshiyuki Tanizaki^{*1}, Yasuo Kobayashi^{*2}: **A New Photon Activation Reaction Method for Detection of Irradiated Foods Which Treated with High Energy Electron Beam. A Fundamental Approach.** The 117th Annual AOAC International Meeting and Exposition (2003.9)

^{*1} Tokyo Metropolitan Industrial and Technological Institute

^{*2} Japan Atomic Energy Research Institute, Takasaki Establishment;

宮原 誠, 増水章季^{*1}, 小林泰彦^{*2}, 米谷民雄: **ESR 法による照射食品の検知 その 4 糖分を含む食品について**

日本食品衛生学会第 84 回学術講演会 (2003.10)

^{*1} 日本電子応用研究所

^{*2} 日本原子力研究所高崎研究所

宮原 誠: **照射食品の検知法について**

日本放射線照射工業連合会 2003 年会 (2003.10)

宮原 誠, 増水章季^{*1}, 小林泰彦^{*2}, 米谷民雄: **ESR 法による照射食品の検知 その 6 照射骨付き食品等について**

第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

^{*1} 日本電子応用研究所

^{*2} 日本原子力研究所高崎研究所

宮原 誠, 増水章季^{*1}, 小林泰彦^{*2}, 米谷民雄: **ESR 法による照射食品の検知 その 7**

日本食品照射研究協議会 第 39 回大会 (2003.12)

^{*1} 日本電子応用研究所

^{*2} 日本原子力研究所高崎研究所

近藤一成, 阿部郁朗*, 田中秀弥*, 長岡(浜野)恵, 穠山 浩, 米谷民雄: **LC/MS を用いたアガリクス中 agaritine の分析**

日本食品衛生学会, 第 86 回学術講演会 (2003.10)

* 静岡県立大学

近藤一成, 内田理一郎*, 徳武昌一*, 米谷民雄: **ブドウ種子プロアントシアニジンの肥満細胞からの脱顆粒抑制機構**

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

* キッコーマン

堀江正一^{*1}, 竹上晴美^{*1}, 長田淳子^{*1}, 戸谷和男^{*1}, 原田修一^{*2}, 村山三徳: **LC/MS による豚肉中のカルバドックス及びその代謝物モノオキシカルバドックス, デスオキシカルバドックス, キノキサリンカルボン酸の分析**

日本食品衛生学会第 86 回学術講演会 (2003.10)

^{*1} 埼玉県衛生研究所

^{*2} 林純薬工業

名取俊明^{*1}, 斎藤ひろみ^{*1}, 島田由美子^{*1}, 堀江正一^{*1}, 村山三徳: **HPLC による畜産食品中のダノフロキサシン, サラフロキサシンの定量**

日本食品衛生学会第 86 回学術講演会 (2003.10)

^{*1} 埼玉県衛生研究所

穠山 浩: **リアルタイム PCR 装置を用いた遺伝子組換え食品の検査**

酵素法による食品分析研究会講演会 (2003.12)

穠山 浩: **「組換え食品とは何か」と「最近の動向」: 食の安全性に関するシンポジウム (2003.12)**

穠山 浩, 渡邊敬浩, 笠間菊子*, 松木容彦*, 米谷民雄: **遺伝子組換えパパイアの定性検査法の外部精度管理について**

第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

* (財) 食品薬品安全センター - 秦野研究所

穠山 浩, 若林薫, 渡邊敬浩, 菊地博之, 米谷民雄, 中出晋介^{*1}, 安井修二^{*1}, 千葉良子^{*2}, 日野明寛^{*3}: **遺伝子組換えスタック品種トウモロコシの検知法について (第 1 報)**

日本食品衛生学会第 87 回学術講演会 (2004.5)

^{*1} 安井器械(株)

^{*2} 昭和薬大

^{*3} (独) 食総研

穠山 浩, 佐藤雄嗣, 菅沼大行*, 渡邊敬浩, 長岡(浜野)恵, 稲熊隆博*, 合田幸広, 米谷民雄: **- カロテン経口摂取による即時型アレルギー - 抑制作用**

第 124 年会日本薬学会 (2004.3)

* カゴメ総研

穠山 浩: **食物アレルギーの抗原解析およびその低減化に関する研究**

第 4 回食物アレルギー - 研究会 (2004.1)

和久井千世子, 渡邊敬浩, 穠山 浩, 米谷民雄, 吉村倫彰^{*1}, 紀雅美^{*2}, 富岡千鶴子^{*3}, 有田世乃^{*4}, 松岡 猛^{*5}, 栗原秀夫^{*6}, 日野明寛^{*6}, 酒井栄一^{*7}, 豊田安基江^{*8}, 小川真智子^{*9}, 布藤 聡^{*9}, 梶原淳睦^{*10}, 乙黒敬生^{*11}: **マイクロキャピラリー型リアルタイム PCR システムを用いた遺伝子組換え食品定量法のコラボレーションスタディ**

日本食品化学会第 9 回学術大会 (2003.6)

^{*1} アサヒビール(株)

^{*2} 大阪環境科学研究所

^{*3} 群馬県衛生環境研究所,

^{*4} 静岡県環境衛生科学研究所

^{*5} (独) 農林水産消費技術センター

^{*6} (独) 食品総合研究所

^{*7} (株) 日本遺伝子研究所

^{*8} 広島県保健環境センター

^{*9} (株) ファスマック

^{*10} 福岡県保健環境研究所

^{*11} (株) 三菱化学ビーシーエル

荒川史博¹, 小笠原健¹, 小関良宏², 高畑能久³, 森松文毅³, 穠山 浩, 米谷民雄: 食品中の特定原材料の分析について(1)

¹ 三栄源エフ・エフ・アイ(株)

² 東京農工大

³ 日本ハム(株)

穠山 浩: HPLC を用いた食品中のかび毒の分析法に関する研究

日本食品化学会第 9 回学術大会奨励賞受賞講演 (2003.6)

佐藤雄嗣, 穠山浩, 渡邊敬浩, 長岡(浜野)恵, 米谷民雄, 菅沼大行, 稲熊隆博: -カロテン経口摂取による I 型アレルギー - 抑制作用について

第 10 回日本免疫毒性学会学術大会 (2003.9)

¹ カゴメ総研

佐藤雄嗣, 穠山浩, 渡邊敬浩, 長岡(浜野)恵, 合田幸広, 米谷民雄, 庄司俊彦, 神田智正: リンゴプロシアニジン画分経口摂取のオポアルブミン経口感作に及ぼす影響

第 124 年会日本薬学会 (2004.3)

¹ アサヒビール

栗原秀夫¹, 松岡 猛¹, 吉村倫彰², 井上真以子³, 古井 聡⁴, 正野仁慈⁵, 布藤 聡⁶, 小川真智子⁶, 大島慎司⁷, 渡邊敬浩, 和久井千世子, 穠山 浩, 米谷民雄, 砂川美佐緒⁸, 日野明寛⁸, 一色賢司⁸: 遺伝子組換え食品定量分析法のコラボレーションスタディー I

第 85 回日本食品衛生学会学術講演会 (2003.5)

¹ (独) 農林水産消費技術センター

² アサヒビール(株)

³ 飼料作物研究所

⁴ (株) ニッポンジーン

⁵ ハウス食品(株)

⁶ (株) ファスマック

⁷ (財) 日本穀物検定協会

⁸ (独) 食品総合研究所

渡邊敬浩, 和久井千世子, 穠山浩, 米谷民雄, 栗原秀夫¹, 松岡猛¹, 太田順司², 青木信太郎², 渡井正俊², 澤田千尋³, 森曜子³, 重松万由⁴, 大峽太郎⁵, 梶野敏彦⁶, 砂川美佐緒⁷, 日野明寛⁷, 一色賢司⁷: 遺伝子組換え食品定量分析法のコラボレーションスタディー II

第 85 回日本食品衛生学会学術講演会(2003.5)

¹ (独) 農林水産消費技術センター

² (財) 日本食品分析センター

³ (財) 日本冷凍食品検査協会

⁴ (株) 日清製粉グループ本社

⁵ 海外貨物検査株式会社

⁶ 森永製菓株式会社

⁷ (独) 食品総合研究所

吉村倫彰¹, 栗原秀夫², 松岡猛^{2,8}, 児玉貴志², 布藤聡³, 小川真智子³, 渡辺聡⁴, 青木信太郎⁵, 飯塚太由⁶, 吉川礼次⁶, 渡邊敬浩, 和久井千世子, 穠山浩, 米谷民雄, 砂川美佐緒⁷, 日野明寛⁷, 一色賢司⁷: サイズ及びトウモロコ

シ加工食品中の遺伝子組換え体の定量

第 85 回日本食品衛生学会学術講演会 (2003.5)

¹ アサヒビール(株)

² (独) 農林水産消費技術センター

³ (株) ファスマック

⁴ ハウス食品(株)

⁵ (財) 日本食品分析センター

⁶ (財) 食品環境検査協会

⁷ (独) 食品総合研究所

Furui, S.¹, Kanayama, S.¹, Futo, S.², Ogawa, M.², Matsuoka, T.³, Kodama, T.³, Kuribara, H.³, Akiyama, H., Maitani, T., Hino, A.⁴, Isshiki, K.⁴: Collaborative Identification of Genetically Modified Maize by Multiplex PCR

The 117th AOAC INTERNATIONAL Annual Meeting & Exposition (2003.9.)

¹ NIPPONGENE Co., Ltd., Japan

² FASMAC Co., Ltd., Japan

³ Center for Food Quality, Labeling and Consumer Services, Japan House Foods Co., Japan

⁴ National Food Research Institute, Japan

Yoshimura, T.¹, Kuribara, H.², Matsuoka, T.², Kodama, T.², Futo, S.³, Ogawa, M.³, Watanabe, S.⁴, Aoki, N.⁵, Iizuka, T.⁶, Akiyama, H., Maitani, T., Sunagawa, M.⁷, Hino, A.⁷, Isshiki, K.⁷: Quantitative Analysis of Genetically Modified Organisms in Processed Foods from Soy and Maize by using Japanese Standard Method

The 117th AOAC INTERNATIONAL Annual Meeting & Exposition (2003.9.)

¹ Asahi Breweries Ltd., Japan

² Center for Food Quality, Labeling and Consumer Services,

³ FASMAC Co., Ltd., Japan

⁴ House Foods Co., Japan

⁵ Japan Food Research Laboratories, Japan

⁶ Japan Frozen Inspection Corporation, Japan

⁷ National Food Research Institute, Japan

Kuribara, H.¹, Matsuoka, T.¹, Watanabe, T., Wakui, C., Akiyama, H., Maitani, T., Yoshimura, T.², Futo, S.³, Shono, J.⁴, Aoki, N.⁵, Sawada, C.⁶, Sunagawa, M.⁷, Hino, A.⁷: Collaborative Studies of Construct-Specific Quantitation for Genetically Modified Maize and Soybean Using Four Real-Time PCR Equipments

The 117th AOAC INTERNATIONAL Annual Meeting & Exposition (2003.9.)

¹ Center for Food Quality, Labeling and Consumer Services, Japan

² Asahi Breweries Ltd., Japan

³ FASMAC Co., Ltd., Japan

⁴ House Foods Co., Japan

⁵ Japan Food Research Laboratories, Japan

⁶ Japan Frozen Inspection Corporation, Japan

⁷ National Food Research Institute, Japan

渡邊敬浩, 和久井千世子, 栗原秀夫¹, 久保操¹, 児玉貴志¹, 布藤 聡², 小川真智子², 笠間菊子³, 豊田安基江⁴,

藤井明美⁵, 高橋邦彦⁶, 日野明寛⁷, 穠山 浩, 米谷民雄: 遺伝子組換えジャガイモ定性検知法について
第 86 回日本食品衛生学会学術講演会 (2003.11)

¹ (独) 農林水産消費技術センター

² (株) ファスマック

³ (財) 食品薬品安全センター

⁴ 広島県保健環境センター

⁵ 横浜検疫所

⁶ 埼玉県衛生研究所

⁷ (独) 食品総合研究所

渡邊敬浩, 穠山 浩, 米谷民雄, 笠間菊子¹, 松木容彦¹, 児玉貴志², 栗原秀夫², 日野明寛³: 遺伝子組換え大豆定量検査法の外部精度管理について
第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

¹ 財団法人 食品薬品安全センター 秦野研究所

² (独) 農林水産消費技術センター

³ (独) 食品総合研究所

長岡 (浜野) 恵, 穠山 浩, 米谷民雄: 健康人血清中パナジウムのトランスフェリンへの結合状態の解析
第 13 回日本微量元素学会 (2003.7)

長岡 (浜野) 恵, 長岡寛明, 武田 健, 近藤一成, 穠山 浩, 米谷民雄: 蛍光誘導体化による食品中ヒドラジン類の分析法の検討
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

Nagaoka M.H., Akiyama H., and Maitani T.: **Vanadium Speciation in Healthy Human Serum: Binding Patterns of Vanadium to Transferrin Studied by HPLC/High-Resolution ICP-MS**
The Eighth International Symposium on Metal Ions in Biology and Medicine. (2004.5)

松田りえ子, 林 讓: 内標準法の不確かさ
第 169 回 HPLC 研究懇談会 (2003.7)

松田りえ子, 林 讓, 今井一洋¹, 西村和香², 伊藤克敏², 前田昌子²: 非競合法イムノアッセイにおける精度と検出限界
第 52 回分析化学会 (2003.9)

¹ 共立薬科大学

² 昭和大学薬学部

松田りえ子, 林 讓, 今井一洋¹, 西村和香², 伊藤克敏², 前田昌子²: 非競合法イムノアッセイにおける精度と検出限界
第 52 回分析化学会 (2003.9)

¹ 共立薬科大学

² 昭和大学薬学部

松田りえ子, 林 讓, 米谷民雄: HPLC 分析における調製, 測定, 検量の不確かさ
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

岡本貴行¹, 吉岡靖雄², 向 洋平³, 川村真紀⁴, 堤 康央⁵, 中川晋作⁶, 真弓忠範⁷: 抗 TNF- α 療法の最適化に向けて: TNF- α に対する 1 本鎖抗体の作成とその特性評価

日本薬学会第 123 年会 (2003.3)

大阪大学薬学部

向 洋平¹, 吉岡靖雄², 岡本貴行³, 川村真紀⁴, 堤 康央⁵, 中川晋作⁶, 真弓忠範⁷: Phage display system を利用した機能性 1 本鎖抗体の創出に関する基礎的検討
日本薬学会第 123 年会 (2003.3)

大阪大学薬学部

柴田寛子¹, 吉岡靖雄², 小林恭子³, 岡本貴行⁴, 堤 康央⁵, 中川晋作⁶, 真弓忠範⁷: フェージ表面提示法を駆使した部位特異的バイコンジュゲーションの最適化
日本薬学会第 123 年会 (2003.3)

大阪大学薬学部

棚元憲一: 局方微生物試験法 最近の国内及び国際的動向を中心として

日本防菌防黴学会主催「第 19 回 GMP とバリデーションをめぐる諸問題に関するシンポジウム」(2004.3)

細瀬和成¹, 棚元憲一: 照射および加熱の組合せ処理によるエンドトキシンの不活化

日本医科器械学会第 79 回年次大会 (2004.5)

東京都立産業技術研究所

四方田千佳子, 大西 (阿部) 有希子, 棚元憲一, 相澤 博¹, 大澤テイ子², 宮崎奉之³, 毛利孝明⁴, 大和康博⁵, 玉那覇康二⁶: 平成 14 年度マーケットバスケット方式による 8 種甘味料の摂取量調査

日本食品化学学会第 9 回学術大会 (2003.6)

¹ 札幌市衛生研究所

² 仙台市衛生研究所

³ 東京都健康安全研究センター

⁴ 香川県環境保健研究センター

⁵ 北九州市環境科学研究所

⁶ 沖縄県衛生環境研究所

四方田千佳子, 久保田浩樹, 棚元憲一, 荻野周三¹, 渡部健二郎², 西村正美³, 森 曜子⁴, 石橋 亮⁵: 未指定添加物サイクラミン酸の改良分析法の共同検定

日本食品衛生学会第 86 回学術大会 (2003.10)

¹ 東京都健康安全研究センター

² 横浜市衛生研究所

³ 日本食品分析センター

⁴ 日本冷凍食品検査協会

⁵ 東京顕微鏡院

川崎洋子, 久保田浩樹, 四方田千佳子, 棚元憲一, 松下邦明¹, 大垣内誠², 三上博久³: セミマイクロボストカラム誘導体化 HPLC 法による食品中の臭素酸塩の分析

日本食品衛生学会第 86 回学術大会 (2003.10)

¹ (株) 島津製作所

久保田浩樹, 西山 聡, 四方田千佳子, 棚元憲一: 食品中のサイクラミン酸塩分析法の改良

日本食品衛生学会第 86 回学術大会 (2003.10)

久保田浩樹, 大西有希子, 四方田千佳子, 棚元憲一: 食塩中のフェロシアン化物分析法の検討
第 40 回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

大西(阿部)有希子, 杉本直樹, 久保田浩樹, 四方田千佳子, 棚元憲一: 小麦粉及び小麦製品中の過酸化ベンゾイルと安息香酸の分別定量
日本食品衛生学会第 85 回学術大会 (2003.5)

大西有希子, 戸田恭子, 四方田千佳子, 棚元憲一: 新規栄養強化剤 L-アスコルビン酸 2-グルコシドの分析法の検討
日本食品衛生学会第 86 回学術大会 (2003.10)

松本ひろ子^{*1}, 安田和雄^{*1}, 大石光男^{*1}, 川名清子^{*2}, 岸 弘子^{*3}, 杉本敏明^{*4}, 成田弘子^{*5}, 浜野 孝^{*6}, 山田真記子^{*7}, 渡部健二郎^{*8}, 四方田千佳子: 亜硫酸, 次亜硫酸およびこれらの塩類の通気蒸留-HPLC による定量法
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*1} 東京都安全健康研究センター

^{*2} 神奈川県衛生部

^{*3} 神奈川県衛生研究所

^{*4} 日本食品分析センター

^{*5} 日本大学短期大学部

^{*6} 神戸市環境保健研究所

^{*7} 三栄源エフエフアイ

^{*8} 横浜市衛生研究所

杉本直樹, 井上かおり, 山崎壮, 棚元憲一, 米谷民雄, 尹永淑*, 中島裕希*, 功刀彰*: 天然添加物の抗酸化活性の評価
日本食品化学学会第 9 回学術大会 (2003.6)

* 東京薬科大学生命科学部

秋山卓美, 神永靖久*, 杉本直樹, 永津明人*, 山崎 壮, 水上元*, 米谷民雄: 酵素反応を用いた水溶性クルクミン配糖体の合成
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

* 名古屋市立大学大学院薬学系研究科

磯朝枝*, 杉本直樹, 佐藤恭子, 山崎 壮, 石橋邦子*, 棚元憲一: 天然増粘安定剤キダチアロエ抽出物の成分分析
日本食品衛生学会第 86 回学術大会 (2003.10)

* 栃木県南健康福祉センター

小島一夫*, 永津明人*, 水上 元*, 杉本直樹, 佐藤恭子: 植物性食品添加物「コメヌカ油抽出物」の微量成分の検索
15 年度日本薬学会東海支部例会 (2003.12)

* 名古屋市立大学薬学部

Kawamura, Y.: Japanese Regulation for Food Packaging and Their Issues

2003 International Symposium on Food Packaging (2003.9)

河村葉子: 器具・容器包装の規格基準と試験法
日本食品衛生学会第 86 回学術大会 (2003.10)

河村葉子: 容器包装に関わる分析法について

第 39 回日本環境化学会講演会 (2003.11)

河村葉子, 六鹿元雄, 棚元憲一: レポータージーンアッセイによる水酸化ベンゾフェノン類のエストロゲン活性および抗アンドロゲン活性
環境ホルモン学会第 6 回研究発表会 (2003.12)

六鹿元雄, 戸島貴浩, 河村葉子, 棚元憲一: ポリエチレンテレフタレート製品中のホルムアルデヒド, アセトアルデヒド及びオリゴマー
日本食品衛生学会第 86 回学術大会 (2003.10)

六鹿元雄, 河村葉子, 小西良子, 高鳥浩介, 棚元憲一: ミネラルウォーター中のホルムアルデヒドおよびアセトアルデヒドに関する検討
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

大門由佳, 六鹿元雄, 河村葉子, 田村悦臣*, 棚元憲一: リサイクル PET 中の揮発性物質に関する研究
日本食品衛生学会第 87 回学術大会 (2004.5)

* 国立薬科大学

大野浩之^{*1}, 河村葉子, 伊藤 誠^{*2}, 金子令子^{*3}, 河野政美^{*4}, 辰濃 隆^{*5}, 中村好志^{*6}, 馬場二夫^{*7}, 平山クニ^{*8}, 藤枝秀嘉^{*9}, 堀江正一^{*10}, 渡辺悠二^{*11}: 生活用品試験法 器具・玩具試験法 塩化ビニルおよび塩化ビニリデン: ガスクロマトグラフィー/質量分析法による定性および定量
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*1} 名古屋市衛生研究所

^{*2} 東洋製罐(株)

^{*3} 東京都健康安全研究センター

^{*4} 昭和ゴム(株)

^{*5} (財)日本食品衛生協会

^{*6} 椋山学園大

^{*7} 武庫川女子大学

^{*8} 神奈川県衛生研究所

^{*9} (財)日本食品分析センター

^{*10} 埼玉県衛生研究所

^{*11} (財)化学技術戦略推進機構

大野浩之^{*1}, 河村葉子, 伊藤 誠^{*2}, 金子令子^{*3}, 河野政美^{*4}, 辰濃 隆^{*5}, 中村好志^{*6}, 馬場二夫^{*7}, 平山クニ^{*8}, 藤枝秀嘉^{*9}, 堀江正一^{*10}, 渡辺悠二^{*11}: 生活用品試験法 器具・玩具試験法 エピクロルヒドリン: ガスクロマトグラフィー/質量分析法による定性および定量
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*1} 名古屋市衛生研究所

^{*2} 東洋製罐(株)

^{*3} 東京都健康安全研究センター

^{*4} 昭和ゴム(株)

^{*5} (財)日本食品衛生協会

^{*6} 椋山学園大

^{*7} 武庫川女子大学

^{*8} 神奈川県衛生研究所

^{*9} (財)日本食品分析センター

^{*10} 埼玉県衛生研究所

*11(財) 化学技術戦略推進機構

大野浩之^{*}, 六鹿元雄^{*}, 河村葉子^{*}, 鈴木昌子^{*}, 青山大器^{*}: ポリ塩化ビニル及びポリ塩化ビニリデン製品中の塩化ビニル及び塩化ビニリデンの分析

日本食品衛生学会第 87 回学術大会 (2004.5)

^{*} 名古屋市衛生研究所

山本茂貴: 欧米・諸外国における HACCP 手法の構築と考え方
第 31 回防菌防黴学会学術総会 (2004.5)

五十君静信: 乳酸菌ワクチンの開発
日本酪農科学会 (2003.9)

五十君静信: シンポジウムプロバイオティクスの乳業における将来性
日本酪農科学会 (2003.9)

村上裕之^{*1}, 藤田康弘^{*1}, 五十君静信, 丸山 務^{*2}, 園部廣美^{*1}: *Listeria monocytogenes* の LAMP 法による検出法の検討
第 24 回日本食品衛生微生物学会総会 (2003.10)

^{*1} キリンビール

^{*2} 日本食品衛生協会

酒井史彦^{*1}, 青山顕司^{*1}, 篠澤映子^{*1}, 山縣尚^{*2}, 丸山 務^{*3}, 五十君静信, 柳平修一^{*1}: 各種ナチュラルチーズからのリステリア菌検出方法の検討
第 24 回日本食品衛生微生物学会総会 (2003.10)

^{*1} 雪印乳業

^{*2} 日本バイオメリユー

^{*3} 日本食品衛生協会

青山顕司^{*1}, 高橋千登勢^{*1}, 奥谷晶子, 丸山 務^{*2}, 山本茂貴, 五十君静信: 食品および臨床由来 *Listeria monocytogenes* のパルスフィールド電気泳動解析
第 24 回日本食品衛生微生物学会総会 (2003.10)

^{*1} 雪印乳業

^{*2} 日本食品衛生協会

奥谷晶子, 岡田由美子, 山本茂貴, 五十君静信: 国内における食品等のリステリア汚染状況の報告
第 24 回日本食品衛生微生物学会総会 (2003.10)

山崎 学, 天野富美夫^{*1}, 片山葉子^{*2}, 山本茂貴, 五十君静信: 好気ストレスによって coccoid 化した *Campylobacter jejuni* に関する研究
第 24 回日本食品衛生微生物学会総会 (2003.10)

^{*1} 大阪薬科大学

^{*2} 東京農工大学

岡田由美子, 廣田雅光^{*1}, 奥谷晶子, 山本茂貴, 五十君静信: 環境及び臨床由来リステリア菌株における病原因子関連遺伝子の保有状況について
第 24 回日本食品衛生微生物学会総会 (2003.10)

^{*1} (財) 冷凍食品検査協会

Amano, F.^{*1}, Karahashi, H.^{*1}, Terai, S.^{*1}, Okamoto, A.^{*1}, Ishii, Y.^{*1}, Igimi, S., Okutani, A., Yamasaki, M., Nakamura A.^{*1}: **Pathogenicity of Sep22, identical to *Salmonella* Dps, in BALB/c mice, and its relation to H₂O₂ resistance.**

日本生化学会 (2003.10)

^{*1} 大阪薬科大学

山崎 学, 天野富美夫^{*1}, 山本茂貴, 五十君静信: *Campylobacter jejuni* の 27kDa タンパク質の酸化ストレスに対する応答性及びその機能解析
第 86 回細菌学会関東支部会 (2003.10)

^{*1} 大阪薬科大学

酒井史彦^{*1}, 青山顕司^{*1}, 篠澤映子^{*1}, 山縣尚^{*2}, 丸山 務^{*3}, 五十君静信, 柳平修一^{*1}: 自動免疫蛍光測定装置を用いたリステリア菌検査法の評価
日本食品衛生学会第 86 回学術講演会 (2003.10)

^{*1} 雪印乳業

^{*2} 日本バイオメリユー

^{*3} 日本食品衛生協会

五十君静信: 食品のリステリア汚染について
平成 15 年度食肉衛生技術研修会 (2004.1)

奥谷晶子, 五十君静信, 山本茂貴: リステリア症診断のための ELISA 法の検討
第 77 回日本細菌学会総会 (2004.1)

山崎 学, 天野富美夫^{*1}, 山本茂貴, 五十君静信: *Campylobacter jejuni* の 27kDa タンパク質の好気ストレスに対する応答性
第 77 回日本細菌学会総会 (2004.1)

^{*1} 大阪薬科大学

岡田由美子, 牧野壮一^{*1}, 奥谷晶子, 山本茂貴, 五十君静信: *Listeria monocytogenes* の患者及び食品・環境由来株における病原因子関連遺伝子の保有状況
第 77 回日本細菌学会総会 (2004.4)

^{*1} 帯広畜産大学

五十君静信: 乳酸菌ベクターワクチンシンポジウム「ワクチン研究の新展開: 多様な手法が切り開く「ワクチン」の可能性」
第 137 回日本獣医学会学術集会 (2004.4)

朝倉 宏, 度会雅久^{*1}, 白幡敏一^{*1}, 牧野壮一^{*2}: マウス通過による *Salmonella* Oranienburg の食塩感受性変化に関する遺伝学的研究
第 77 回日本細菌学会学術総会 (2004.4)

^{*1} 帯広畜産大学応用獣医学講座

^{*2} 帯広畜産大学原虫病研究センター

朝倉 宏: 大腸菌 O157 の VNC について
第 6 回 VNC 研究会 (2004.2)

伊藤嘉典: 麦類中のデオキシニバレノールの分析方法および汚染実態

第 30 回カビ毒研究連絡会 (2003.8)

伊藤嘉典: DON の減衰と ELISA
第 30 回カビ毒研究連絡会 (2003.8)

伊藤嘉典, 熊谷進^{*1}: 小麦玄麦と小麦粉におけるデオキシニ
バレノール(DON)とニバレノール(NIV)の汚染実態
日本食品衛生学会第 86 回学術講演会 (2003.10)
^{*1} 東京大学院農生命

Nakajima, M.^{*1}, Tabata, S.^{*2}, Akiyama, H., Itoh, Y., Tanaka, T.^{*3},
Sunagawa, H.^{*4}, Tyonan, T.^{*4}, Yoshizawa, T.^{*5}, Kumagai, K.^{*6}:
Aflatoxin M1 in milk and its risk in Japan
International Symposium of Mycotoxicology in Kagawa 2003
(ISMYCO Kagawa "03) (2003.11)
^{*1} 名古屋市衛研
^{*2} 都安全研究セ
^{*3} 神戸市環保研
^{*4} 北海道衛研
^{*5} 香川大学
^{*6} 東京大学院農生命

Itoh, Y., Kumagai, S.^{*1}: **Contamination of deoxynivalenol and
nivalenol in wheat and its flour**
International Symposium of Mycotoxicology in Kagawa 2003
(ISMYCO Kagawa "03) (2003.11)
^{*1} 東京大学院農生命

李憲俊^{*}, 相原真紀, 高鳥浩介: シリコンシーラントでの
Cladosporium の発育
第 30 回日本防菌防黴学会 (2003.5)
^{*} 衛生微生物研究センター

荒勝俊^{*1}, 相原真紀, 小島みゆき^{*1}, 都島康彦^{*1}, 川合修次^{*1},
上田伸男^{*2}, 秋山一男^{*3}, 高鳥浩介: 家庭内生活環境 (寝室,
寝具) における真菌分布変化
第 30 回日本防菌防黴学会 (2003.5)
^{*1} 花王株式会社
^{*2} 宇都宮大学教育学部
^{*3} 国立相模原病院臨床研究センター

小島みゆき^{*1}, 都島康彦^{*1}, 荒勝俊^{*1}, 相原真紀, 小屋えな子^{*1},
上田伸男^{*2}, 秋山一男^{*3}, 高鳥浩介: 家庭における生活者の
カビ意識と真菌分布
第 30 回日本防菌防黴学会 (2003.5)
^{*1} 花王株式会社
^{*2} 宇都宮大学教育学部
^{*3} 国立相模原病院臨床研究センター

Ri N.^{*}, Aihara M. and Takatori K.: **Growth of *Cladosporium*
and *Phoma* in silicon**
International Biodeterioration and Biodegradation
Society/ International Biodeterioration Research Group
Joint Meeting Autumn 2003, Manchester (2003.9)
^{*} 衛生微生物研究センター

荒勝俊^{*1}, 相原真紀, 小島みゆき^{*1}, 都島康彦^{*1}, 川合修次^{*1},
上田伸男^{*2}, 秋山一男^{*3}, 高鳥浩介: 家庭内生活環境 (押し
入れ, クローゼット) における真菌分布変化
第 47 回日本医真菌学会総会 (2003.10)

^{*1} 花王株式会社
^{*2} 宇都宮大学教育学部
^{*3} 国立相模原病院臨床研究センター

高鳥浩介: 食品中のカビ毒 (マイコトキシン) 規格
第 86 回日本食品衛生学会シンポジウム (2003.10)

Takatori K., Sakai A., Hanazawa R., Nakahara Y., Sekiguchi S.,
Sugita-Konishi Y., Ichinoe M.^{*1}, Saito T.^{*2}, and Yoshizawa T.^{*3}:
**Mycological investigation in domestic unpolished rice and the
potential risk of mycotoxin contamination**
38th Toxic Microorganisms Joint Panel Meeting, UJNR,
Tokyo (2003.11)
^{*1} 東京家政大学家政学部
^{*2} 東京農業大学総合研究所
^{*3} 香川大学農学部

相原真紀, 李東熙, 朴奉柱^{*1}, 李憲俊^{*1}, 高鳥浩介: シリコー
ンに侵入した *Cladosporium* の生残性
第 31 回日本防菌防黴学会 (2004.5)
^{*1} 岐阜大学大学院連合獣医学研究科
^{*1} 衛生微生物研究センター

李東熙, 相原真紀, 朴奉柱^{*1}, 朴鍾喆^{*2}, 高鳥浩介: 抗菌剤の
継続暴露による抵抗性評価
第 31 回日本防菌防黴学会 (2004.5)
^{*1} 岐阜大学大学院連合獣医学研究科
^{*2} 延世大学医学部

藪根ちあき^{*1}, 田中辰明^{*1}, 荒勝俊^{*2}, 小島みゆき^{*2}, 相原真紀,
高鳥浩介: 寝室と寝具における真菌の動態
第 31 回日本防菌防黴学会 (2004.5)
^{*1} お茶の水女子大学
^{*2} 花王株式会社

小菅句子^{*}, 上杉清香^{*}, 芳賀猛^{*}, 後藤義孝^{*}, 相原真紀, 高鳥
浩介: ハウスダストにおける微生物の消長
第 31 回日本防菌防黴学会 (2004.5)
^{*} 宮崎大学農学部

韓東旭^{*1}, 朴鍾喆^{*1}, 李玖燮^{*1}, 鵜澤正和^{*2}, 姜奇完^{*3}, 金正洙^{*3},
李東熙, 朴奉柱^{*4}, 相原真紀, 高鳥浩介: 銀ナノ粒子を含有
するポリウレタンの抗菌性
第 31 回日本防菌防黴学会 (2004.5)
^{*1} 延世大学医学部
^{*2} 榊アプライドサイエンス
^{*3} Dongwon Medipia Co., Ltd.
^{*4} 岐阜大学大学院連合獣医学研究科

朴鍾喆^{*1}, 李玖燮^{*1}, 韓東旭^{*1}, 鵜澤正和^{*2}, 李東熙, 朴奉柱^{*3},
相原真紀, 高鳥浩介: 低電圧電流を利用した海水の殺菌
第 31 回日本防菌防黴学会 (2004.5)

¹ 延世大学医学部

² (株)アプライド サイエンス

³ 岐阜大学大学院連合獣医学

Muroi, M., Ohnishi, T., and Tanamoto, K.: **Signal sorting by CD14 to Toll-like receptors.**

第76回日本生化学会(2003.10).

志水美文, 室井正志, 棚元憲一: 内毒素によるマクロファージの一酸化窒素産生に対するアラクロールとカルバリルの抑制作用機序

第9回日本エンドトキシン研究会(2003.11).

畑尾史彦, 室井正志, 比企直樹*, 三村芳和*, 上西紀夫*, 棚元憲一: エンドトキシン活性に及ぼす Toll-like receptor 刺激薬による cross tolerance 効果

第9回日本エンドトキシン研究会(2003.11).

* 東京大学

志水美文, 室井正志, 棚元憲一: マクロファージ機能に及ぼす内分泌かく乱化学物質の影響

環境ホルモン学会第6回研究発表会(2003.12).

杉山圭一, 室井正志, 棚元憲一: ヒトとマウスの誘導型 NO 合成酵素遺伝子のエンドトキシン応答性の解析

第77回日本細菌学会総会(2004.4)

志水美文, 室井正志, 棚元憲一: 内毒素によるマクロファージの一酸化窒素産生を抑制する2種の外因性内分泌攪乱化学物質の作用機序

第77回日本細菌学会総会(2004.4)

室井正志, 棚元憲一: CD14 または CD14/TLR4/MD-2 複合体に対する lipopolysaccharide の結合様式

第77回日本細菌学会総会(2004.4)

大西貴弘, 室井正志, 棚元憲一: Toll-like receptor 4 の情報伝達における可溶性 MD-2 の性状解析

第77回日本細菌学会総会(2004.4)

畑尾史彦, 室井正志, 棚元憲一: Toll-like receptor 刺激による IRAK-1 および IRAK-4 の down regulation

第77回日本細菌学会総会(2004.4)

畑尾史彦, 比企直樹*, 小川利久*, 小島 淳一*, 三村芳和*, 上西紀夫*, 室井正志, 棚元憲一: Synthetic LPS receptor agonist:ER-803058 を用いた endotoxin tolerance 誘導の試み

第40回日本外科代謝栄養学会(2003.7)

* 東京大学

畑尾史彦, 比企直樹*, 小川利久*, 三村芳和*, 上西紀夫*, 室井正志, 棚元憲一: エンドトキシン活性に及ぼす Toll-like receptor 刺激薬による cross tolerance の効果

第104回日本外科学会定期学術集会(2004.4)

* 東京大学

宮原美知子: 食品からの赤痢菌の検査法
衛生微生物技術協議会第24回研究会(2003.7)

Michiko Miyahara, Shigeko Ueda^{*1}, Seiji Kaneko^{*2}, Tomohiko Fujisawa^{*3}: Detection for Bacterial Pathogens in Food The 117th AOAC International Annual Meeting and Eexposition (2003.9)

^{*1} Kagawa Nutrition University

^{*2} Metropolitan Research Laboratory of Public Health

^{*3} Nippon Veterinary and Animal Science University

宮原美知子, 小沼博隆*: 食品からの赤痢菌新検出法における *S.sonnei* と *S.flexneri* 検出比較

第24回日本食品微生物学会学術総会(2003.10)

* 東海大学海洋学部

宮原美知子: 食品からの特定病原性微生物検出一括培養法の検討ー腸炎ピブリオー

日本食品衛生学会第86回学術講演会(2003.10)

Michiko Miyahara and Hiroataka Konuma*: A new two-step enrichment method for detection of Shigella in food Toxic Microorganisms Panel, UJNR (2003.11)

* Tokai University

宮原美知子: 腸炎ピブリオの好気あるいは嫌気培養による増殖の検討

第77回日本細菌学会総会(2004.4)

宮原美知子: 四種食中毒細菌の食品からの一斉検出法
第31回日本防菌防黴学会年次総会(2004.5)

斉藤陽^{*1}, 阿部吉邦^{*1}, 宮原美知子, 小沼博隆^{*2}, 倉田浩^{*1}: 食品微生物検査におけるパルス式ホモジナイザー「パルスファイヤー」の性能評価

第31回日本防菌防黴学会年次総会(2004.5)

^{*1} GSI クレオス

^{*2} 東海大学海洋学部

松谷佐知子: RNA ポリメラーゼ III のプロモーター配列と転写因子 ArtA による大腸菌での転写の活性化

第26回日本分子生物学会年会(2003.12)

尾上洋一^{*1}, 古川一郎^{*1}, 小西典子^{*2}, 甲斐明美^{*2}, 工藤由起子, 高鳥浩介: Salmonella Enteritidis の生残性に及ぼす相対湿度の影響

第86回日本食品衛生学会(2003.10)

^{*1} 神奈川県衛生研究所

^{*2} 東京都健康安全研究センター

大友良光^{*1}, 阿部幸一^{*1}, 小田桐和枝^{*2}, 白戸明^{*3}, 工藤由起子, 高鳥浩介: 鶏卵及び採卵廃鶏におけるサルモネラ属菌汚染状況

第86回日本食品衛生学会(2003.10)

^{*1} 青森県環境保健センター

² 青森県健康福祉部薬務衛生課

³ 青森県農林総合研究センター

大田博昭¹, 豊田有樹子¹, 江川智哉¹, 工藤由起子, 小沼博隆², 水本直恵³, 山本覚⁴, 馬場栄一郎³: **S.Enteritidis** 鞭毛特異抗原 (Sep9) コーティング ELISA による市販パック卵の抗体保有調査成績の解析
第 23 回日本食品微生物学会 (2003.10)

¹(株)シーエーエフ ラボラトリーズ

² 東海大学

³ 大阪府立大学

⁴ 福山大学

古川一郎¹, 尾上洋一¹, 小西典子², 甲斐明美², 工藤由起子, 高鳥浩介: **Salmonella Enteritidis** の生残性に及ぼす相対湿度の影響

平成 15 年度地研全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会, 第 16 回総会・研究会(2004.2)

¹ 神奈川県衛生研究所

² 東京都健康安全研究センター

工藤由起子: 国内の海産物の調査研究と腸炎ビブリオ対策
第 24 回日本食品微生物学会 (2003.10)

工藤由起子, 仁科徳啓¹, 三輪憲永², 増田高志², 小沼博隆³, 長谷川順子¹, 熊谷進⁴: 鮮魚の洗浄による腸炎ビブリオ汚染菌数の減少

日本食品衛生学会第 86 回学術講演会 (2003.10)

¹ 東海大学短期大学部静岡校

² 静岡県環境衛生科学研究所

³ 東海大学

⁴ 東京大学院

工藤由起子: 食品微生物の検査法とその話題

平成 15 年度食品衛生検査協会微生物研修会 (2003.9)

工藤由起子: 腸炎ビブリオをめぐる最近の話題

国立保健医療科学院平成 15 年度特別過程食品衛生管理コース(2004.1)

工藤由起子, 山田加奈子¹, 松寄洋輔², 吉川邦衛², 林谷秀樹³, 熊谷進⁴: 腸炎ビブリオの挙動解析に有用な指標菌の検索

日本食品衛生学会第 87 回学術講演会 (2004.5)

¹ 玉川大学

² 東京農業大学

³ 東京農工大学

⁴ 東京大学院

酒井綾子, 川上久美子, 高鳥浩介, 齋藤行生¹: 苦情・事故食品からみた真菌による食品汚染

日本食品衛生学会第 86 回学術講演会 (2003.10)

¹ (社) 日本食品衛生協会 食品衛生研究所試験検査センター

酒井綾子, 花澤 良, 中原徳之, 関口将二, 小西良子, 吉川

邦衛¹, 一戸正勝², 芳澤宅實³, 高鳥浩介: 国産米の真菌汚染調査: 備蓄玄米 (平成 13 年産) と前年産玄米 (平成 14 年産) の平成 15 年初夏における比較

第 55 回マイコトキシン研究会学術講演会(2004.1)

¹ 東京農業大学

² 東京家政大学

³ 香川大学

酒井綾子, 菊池 裕, 高鳥浩介: BALB/3T3 細胞において非変異・がん原性物質が誘発する遺伝子発現変化の解析
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

大森清美¹, 梅田 誠², 高木弘毅³, 吉村 功⁴, 佐々木澄志², 浅田 晋², 田中憲穂², 酒井綾子, 中村好志⁵, 大石英俊⁶, 鷲塚昌隆⁷, 荒木春美¹, 鬼頭暢子⁸, 矢島 聡⁹, 佐々木聡⁹, 浅倉真澄¹⁰, 中村 哲¹¹, 嶋田佐和子¹², 宇野芳文¹³, 山村英二¹³, 山本康人¹⁴, 伏脇裕一¹, 浜田修一¹⁵, 土屋敏行¹⁶: 発癌プロモーター簡易検出法 Bhas assay の研究室間バリデーション・スタディー (その 2)

日本環境変異原学会第 32 回大会 (2003.11)

¹ 神奈川県衛生研究所

² (財) 食品薬品安全センター

³ アベンティスファーマ (株)

⁴ 東京理科大学

⁵ 静岡県立大学

⁶ 大日本製薬 (株)

⁷ ゼリア新薬工業 (株)

⁸ 富山化学工業 (株)

⁹ 高砂香料工業 (株)

¹⁰ 日本バイオアッセイセンター

¹¹ キヤノン (株)

¹² (財) 食品農薬薬品安全性評価センター

¹³ 三菱ウエルファーマ (株)

¹⁴ ライオン (株)

¹⁵ エスエス製薬 (株)

¹⁶ 萬有製薬 (株)

菊池裕, 掛谷知志, 酒井綾子, 高鳥浩介, 中村尚登¹, 松田治男¹, 山崎壮, 棚元憲一, 澤田純一: *In vitro* Propagation of A Sporadic CJD-like Form of PrP^{res} in Long-term Cultured Human Glioblastoma Cell Line T98G

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

¹ 広島大

塚崎 匡^{*}, 薩 秀夫^{*}, 小西 良子, 清水 誠^{*}: 腸管上皮細胞 Caco-2 におけるトリブチルスズ(TBT)に透過・吸収の食品成分による制御

日本農芸化学会 2003 年度大会 (2003.4)

^{*} 東京大学大学院農学生命科学研究科

中島耕平^{*}, 小西良子, 小林一夫, 好田 正^{*}, 高橋孝資^{*}, 服部 誠^{*}: 牛乳グリコマクロペプチドの腸管感染症予防効果
日本農芸化学会 2003 年度大会 (2003.4)

^{*} 東京農工大学農学部

小林一夫, 服部誠^{*}, 工藤由起子, 山本茂貴, 小西良子:

食中毒菌に対するオボムチン由来糖ペプチドの結合特性
日本農芸化学会 2003 年度大会 (2003.4)

* 東京農工大学農学部

Sugita-Konishi, Y., Takatori, K., Kushiro, M.^{*1}, Tanaka, T.^{*2},
Nakajima M.^{*3}, Chonan T.^{*4} and Kumagai, S.^{*5}: **Validation of analytical method for determination of DON in unpolished wheat and the retention of DON in wheat during milling, processing and cooking**

38th Toxic Microorganisms joint UJNR Panel Meeting,

*1 (独) 食品総合研究所

*2 神戸市環境保健研究所

*3 名古屋市衛生研究所

*4 北海道立衛生研究所

*5 東京大学大学院

中島正博^{*1}, 新山和人^{*2}, 青柳光敏^{*2}, 長南隆夫^{*2}, 会田紀雄^{*3},
田端節子^{*4}, 久城真代^{*5}, 田中健治^{*5}, 水野和俊^{*3}, 石黒瑛一^{*3},
金丸直樹^{*6}, 南沢正敏^{*6}, 濃野正典^{*7}, 田中敏嗣^{*8}, 中家陽子^{*9},
木船信行^{*10}, 小西良子, 熊谷 進^{*11}: 小麦中のデオキシニバレノール分析法の複数機関による評価研究 - HPLC 法および ELISA 法について -

日本食品衛生学会第 86 回学術講演会 (2003.10)

*1 名古屋市衛生研究所

*2 北海道立衛生研究所

*3 肥飼料検査所

*4 東京都健康安全研究センター

*5 (独) 食品総合研究所

*6 日本穀物検定協会

*7 横浜検疫所

*8 神戸市環境保健研究所

*9 神戸検疫所

*10 日本食品分析センター

*11 東京大学大学院

小西良子, 長南隆夫^{*1}, 田中敏嗣^{*2}, 吉川邦衛^{*3}, 高鳥浩介, 熊谷 進^{*4}: 製粉, 調理工程におけるデオキシニバレノールの減衰

日本食品衛生学会第 86 回学術講演会 (2003.11)

*1 北海道立衛生研究所

*2 神戸市環境保健研究所

*3 東京農業大学

*4 東京大学大学院

Poapolathep, A.^{*}, Sugita-Konishi, Y., Doi, K.^{*} and Kumagai, S.^{*}: **Toxicological characteristics of nivalenol trichothecene mycotoxin in mice.**

ASIATOX III, Thailand, (2004.2)

* 東京大学大学院

Tsunoda I, M.^{*}, Konno N.^{*} and Sugita-Konishi, Y.: **The effects of tributyltin (TBT) on neurotransmitters and NMDA receptors in the brains of ICR mouse offspring.**

43th Annual meeting Society of Toxicology (2004.3)

* 福島県立医科大学

Kobayashi, K., Watanabe, T., Sugita-Konishi, Y.: **Downregulation of MDR1B mRNA expression in the kidney of next generation exposed to tributyltin chloride.**

43th Annual meeting Society of Toxicology (2004.3)

小西 良子, 小林 一夫, 阪中 専二^{*1}, JUNEJA LEKH RAJ^{*2}, 天野 富美夫^{*3}: 鶏卵卵黄シアリル糖ペプチド-難消化性多糖複合体の食中毒菌感染予防効果

日本農芸化学会 2004 年度大会 (2004.3)

*1 広島県立大学

*2 太陽化学(株)基礎研究所

*3 大阪薬科大学

塚崎 匡^{*1}, 薩 秀夫^{*1}, 川上 浩^{*2}, 小西 良子, 清水 誠^{*1}: トリブチルスズの腸管上皮 Caco-2 細胞層透過を調節する乳由来成分の解析

日本農芸化学会 2004 年度大会 (2004.3)

*1 東京大学大学院

*2 雪印(株)基礎研究所

坂田隠行^{*}, 小西良子, 小林一夫, 好田 正^{*}, 高橋幸資^{*}, 服部 誠^{*}: 大豆タンパク質由来糖ペプチドの腸管感染症予防効果

日本農芸化学会 2004 年度大会 (2004.3)

* 東京農工大学農学部

奥田晴宏: コモン・テクニカル・ドキュメント(CTD) - CTD-Q を中心として -

第 9 回 ICH 即時報告会(2003.8)

Okuda H.: **Present situation of new chiral drug application on Japan**

15th International Symposium on Chirality (ISCD-15) (2003.10)

Shimazawa R., Nagata R., Okuda H., Toyoshima S.: **Issues related to quality evaluation of new drug substances and drug products**

Fifth AFMC International Medicinal Chemistry Symposium (2003.10)

嶋澤るみ子, 奥田晴宏, 永井尚美, 豊島聡: 新化学合成医薬品のキラリティーに関する検討事項について

日本薬学会第 124 年会(2004.3)

中西郁夫^{*1}, 福原 潔, 大久保 敬^{*2}, 稲見圭子^{*3}, 望月正隆^{*3}, 浦野四郎^{*4}, 松本茂信^{*5}, 小澤俊彦^{*1}, 伊東 忍^{*5}, 福住俊一^{*2}, 伊古田暢夫^{*1}: ビタミン E モデルラジカルの金属イオンによる安定化

第 13 回金属の関与する生体関連反応シンポジウム(2003,6)

*1 放射線医学総合研究所

*2 大阪大学大学院工学研究科

*3 共立薬科大学

*4 東京都老人総合研究所

*5 大阪市立大学大学院理学研究科

中西郁夫^{*1}, 福原 潔, 宮崎健太郎^{*2}, 大久保 敬^{*3}, 浦野四

郎², 奥田晴宏, 小澤俊彦¹, 福住俊一³, 伊古田暢夫¹: フラボノイド系抗酸化剤のラジカル消去反応における金属イオンの加速効果

第13回金属の関与する生体関連反応シンポジウム(2003.6)

¹ 放射線医学総合研究所

² 芝浦工業大学工学部応用化学科

³ 大阪大学大学院工学研究科

福原 潔, 中西郁夫¹, 袴田 航, 大久保 敬², 島田知一³, 宮崎健太郎³, 浦野四朗³, 宮田直樹⁴, 小澤俊彦¹, 福住俊一², 伊古田暢夫¹, 奥田晴宏: 平面型カテキン誘導体の合成と抗酸化作用

第25回日本フリーラジカル学会(2003.6)

¹ 放射線医学総合研究所

² 大阪大学大学院工学研究科

³ 芝浦工業大学工学部応用化学科

⁴ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫¹, 大久保 敬², 宮崎健太郎³, 袴田 航, 浦野四朗³, 奥田晴宏, 宮田直樹⁴, 上田順市¹, 小澤俊彦¹, 福住俊一², 福原 潔, 伊古田暢夫¹: フラボノイド系抗酸化剤のラジカル消去機構

第25回日本フリーラジカル学会(2003.6)

¹ 放射線医学総合研究所

² 大阪大学大学院工学研究科

³ 芝浦工業大学工学部応用化学科

⁴ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

福原 潔, 中西郁夫¹, 宮崎健太郎², 袴田 航, 大久保 敬³, 小澤俊彦¹, 浦野四朗², 福住俊一³, 伊古田暢夫¹, 奥田晴宏: 平面型カテキン誘導体の抗酸化機構の解析

第10回日本がん予防研究会(2003.6)

¹ 放射線医学総合研究所

² 芝浦工業大学工学部応用化学科

³ 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫¹, 福原 潔, 宮崎健太郎², 大久保 敬³, 浦野四朗², 奥田晴宏, 小澤俊彦¹, 福住俊一³, 伊古田暢夫¹: フラボノイド系抗酸化剤のラジカル消去反応における金属イオンの加速効果

第13回金属の関与する生体関連反応シンポジウム(2003.6)

¹ 放射線医学総合研究所

² 芝浦工業大学工学部応用化学科

³ 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫¹, 福原 潔, 大久保 敬², 稲見圭子³, 望月正隆³, 浦野四朗², 松本茂信⁴, 小澤俊彦¹, 伊東 忍⁵, 福住俊一², 伊古田暢夫¹: ビタミンEモデルラジカルの金属イオンによる安定化

第13回金属の関与する生体関連反応シンポジウム(2003.6)

¹ 放射線医学総合研究所

² 大阪大学大学院工学研究科

³ 芝浦工業大学工学部応用化学科

⁴ 東京都老人総合研究所

⁵ 大阪市立大学大学院理学研究科

福原 潔, 奥田晴宏: がん予防を目的とした新型カテキン誘導体の開発

第62回日本癌学会総会(2003.9)

中西郁夫¹, 宮崎健太郎², 大久保 敬³, 袴田 航, 浦野四朗², 奥田晴宏, 小澤俊彦¹, 福住俊一³, 伊古田暢夫¹, 福原 潔: フラボノイド系抗酸化剤アニオン種の酸化反応挙動

第36回酸化反応討論会(2003.10)

¹ 放射線医学総合研究所

² 芝浦工業大学工学部応用化学科

³ 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫¹, 清水健彦², 大久保 敬³, 袴田 航, 宮崎健太郎², 浦野四朗², 奥田晴宏, 小澤俊彦¹, 福住俊一³, 伊古田暢夫¹, 福原 潔: フラボノイド系抗酸化剤の酸化における溶媒効果

第36回酸化反応討論会(2003.10)

¹ 放射線医学総合研究所

² 芝浦工業大学工学部応用化学科

³ 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫¹, 西澤千穂¹, 大久保 敬², 竹下啓蔵¹, 鈴木和夫¹, 奥田晴宏, 小澤俊彦¹, 丹野雅幸, 末吉祥子, 福住俊一², 伊古田暢夫¹, 福原 潔: ピリジンN-オキシドの還元による活性酸素生成

第36回酸化反応討論会(2003.10)

¹ 放射線医学総合研究所

² 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫¹, 宮崎健太郎², 大久保 敬³, 浦野四朗², 上田順一¹, 奥田晴宏, 小澤俊彦¹, 福住俊一³, 福原 潔, 伊古田暢夫¹: フラボノイド類の酸化還元挙動

第18回生体機能関連化学部会・第7回バイオテクノロジー部会(2003.10)

¹ 放射線医学総合研究所

² 芝浦工業大学工学部応用化学科

³ 大阪大学大学院工学研究科

Fukuhara, K., Nakanishi, I.¹, Hakamata, W., Ohkubo, K.², Miyazaki, K.³, Urano, S.³, Miyata, N.⁴, Ozawa, T.¹, Fukuzumi, S.², Ikota, N.¹, Okuda, H.: **Planar Catechin Analogue as a New Type of Synthetic Antioxidant**

5th AFMC International Medicinal Chemistry Symposium (2003.10).

¹ 放射線医学総合研究所

² 大阪大学大学院工学研究科

³ 芝浦工業大学工学部応用化学科

⁴ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

Nakanishi, I.¹, Ohkubo, K.², Miyazaki, K.³, Urano, S.³, Okuda, H., Ozawa, T.¹, Fukuzumi, S.², Fukuhara, K., Ikota, N.¹: **Mechanism of Radical-Scavenging Reaction of Antioxidative Polyphenolic Flavones**

5th AFMC International Medicinal Chemistry Symposium, K (2003.10).

¹ 放射線医学総合研究所

² 大阪大学大学院工学研究科

³ 芝浦工業大学工学部応用化学科

福原 潔, 中西郁夫¹, 袴田 航, 中村友里子², 清水健彦³, 樋口 創³, 増田 雄⁴, 奥 忠武⁴, 浦野四朗³, 齋藤慎一², 小澤俊彦¹, 宮田直樹⁵, 伊古田暢夫¹, 奥田晴宏: 活性酸素毒性の予防を目的とした平面型カテキン誘導体の開発
日本環境変異原学会第32回大会 (2003.11)

¹ 放射線医学総合研究所

² 東京理科大学理学部化学科

³ 芝浦工業大学工学部応用化学科

⁴ 日本大学生物資源科学部農芸化学科

⁵ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

福原 潔, 袴田 航, 中西郁夫¹, 中村友里子², 清水健彦³, 樋口 創³, 増田 雄⁴, 奥 忠武⁴, 浦野四朗³, 齋藤慎一², 小澤俊彦¹, 伊古田暢夫¹, 奥田晴宏: 脂溶性平面型カテキン誘導体の合成とラジカル消去能の解析
第47回日本薬学会関東支部大会 (2003.11)

¹ 放射線医学総合研究所

² 東京理科大学理学部化学科

³ 芝浦工業大学工学部応用化学科

⁴ 日本大学生物資源科学部農芸化学科

Nakanishi, I.¹, Ohkubo, K.², Miyazaki, K.³, Hakamata, W., Urano, S.³, Ozawa, T.¹, Okuda, H., Fukuzusmi, S.², Ikota, N.¹, Fukuhara, K.: **A Planar Catechin Analogue Having a More Negative Oxidation Potential than (+)-Catechin as an Electron-Transfer Antioxidant against a Peroxyl Radical**
Biennial Meeting of the Society for Free Radical Research, Asia (2003.11)

¹ 放射線医学総合研究所

² 大阪大学大学院工学研究科

³ 芝浦工業大学工学部応用化学科

Nakanishi, I.¹, Miyazaki, K.², Ohkubo, K.³, Urano, S.², Ueda, J.¹, Hakamata, W., Okuda, H., Ozawa, T.¹, Fukuzusmi, S.³, Fukuhara, K., Ikota, N.*¹: **Oxidation Potentials of Antioxidative Flavonoids and the Radical-Scavenging Abilities**
10th Annual Meeting of the Society for Free Radical Biology and Medicine (2003.11)

¹ 放射線医学総合研究所

² 芝浦工業大学工学部応用化学科

³ 大阪大学大学院工学研究科

福原 潔, 袴田 航, 中西郁夫¹, 中村友里子², 清水健彦³, 樋口 創³, 増田 雄⁴, 奥 忠武⁴, 浦野四朗³, 齋藤慎一², 小澤俊彦¹, 伊古田暢夫¹, 奥田晴宏: 平面型カテキン誘導体の開発 - 生活習慣病の予防及び治療薬を目指して -
日本フリーラジカル学会関東支部会 (2003.12)

¹ 放射線医学総合研究所

² 東京理科大学理学部化学科

³ 芝浦工業大学工学部応用化学科

⁴ 日本大学生物資源科学部農芸化学科

福原 潔, 袴田 航, 中西郁夫¹, 小澤俊彦¹, 伊古田暢夫¹,

奥田晴宏: 天然抗酸化剤を利用した創薬化学: 平面型カテキンの合成と抗酸化能

第1回日本カテキン学会 (2004.1)

¹ 放射線医学総合研究所

福原 潔, 袴田 航, 中西郁夫¹, 中村友里子², 清水健彦³, 樋口 創³, 増田 雄⁴, 奥 忠武⁴, 浦野四朗³, 齋藤慎一², 小澤俊彦¹, 宮田直樹⁵, 伊古田暢夫¹, 奥田晴宏: 脂溶性平面型カテキン誘導体の合成と抗酸化活性

日本薬学会第124年会 (2004.3)

¹ 放射線医学総合研究所

² 東京理科大学理学部化学科

³ 芝浦工業大学工学部応用化学科

⁴ 日本大学生物資源科学部農芸化学科

⁵ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

中西郁夫¹, 内藤有紀, 佐藤由紀子, 宮田直樹, 奥田晴宏, 小澤俊彦¹, 伊古田暢夫¹, 福原 潔: キノンによる酸化的DNA損傷の化学的解析

日本薬学会第124年会 (2004.3)

¹ 放射線医学総合研究所

中西郁夫¹, 福原 潔, 大久保 敬², 西澤千穂¹, 竹下啓蔵¹, 鈴木和夫¹, 丹野雅幸, 末吉祥子, 奥田晴宏, 小澤俊彦¹, 福住俊一², 伊古田暢夫¹: ピリジン N- オキシド類の光還元によるヒドロキシルラジカル生成機構

日本薬学会第124年会 (2004.3)

¹ 放射線医学総合研究所

² 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫¹, 清水健彦², 大久保 敬³, 上田順市¹, 葉丸晴子¹, 浦野四郎², 奥田晴宏, 福住俊一³, 福原 潔, 伊古田暢夫¹, 小澤俊彦¹: 天然抗酸化剤のラジカル消去能および一電子酸化電位に対する溶媒効果

日本薬学会第124年会 (2004.3)

¹ 放射線医学総合研究所

² 芝浦工業大学工学部応用化学科

³ 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫¹, 上田順市¹, 松本茂信¹, 稲見圭子², 望月正隆², 福原 潔, 小澤俊彦¹, 伊古田暢夫¹: 重水素化ビタミンEモデルラジカル - マグネシウム錯体のキャラクタリゼーション

日本薬学会第124年会 (2004.3)

¹ 放射線医学総合研究所

² 共立薬科大学

中西郁夫¹, 福原 潔, 大久保 敬², 西澤千穂¹, 竹下啓蔵¹, 鈴木和夫¹, 丹野雅幸, 末吉祥子, 奥田晴宏, 小澤俊彦¹, 福住俊一², 伊古田暢夫¹: ピリジン N- オキシド誘導体による活性酸素生成

日本化学会第84春季年会 (2004.3)

¹ 放射線医学総合研究所

² 大阪大学大学院工学研究科

中西郁夫¹, 福原 潔, 大久保 敬², 清水健彦³, 浦野四郎³, 袴田 航, 奥田晴宏, 小澤俊彦¹, 福住俊一², 伊古田暢夫¹,

夫¹: フェノール性抗酸化剤のラジカル消去反応に対する溶媒効果

日本化学会第 84 春季年会 (2004.3)

¹ 放射線医学総合研究所

² 大阪大学大学院工学研究科

³ 芝浦工業大学工学部応用化学科

中西郁夫¹, 福原 潔, 大久保 敬², 薬丸晴子¹, 上田順市¹, 奥田晴宏, 小澤俊彦¹, 福住俊一², 伊古田暢夫¹: フラボノイド系抗酸化剤および対応するアニオン種の一電子酸化電位

日本化学会第 84 春季年会 (2004.3)

¹ 放射線医学総合研究所

² 大阪大学大学院工学研究科

袴田 航, 山本恵美子¹, 福原 潔, 望月正隆¹, 奥田晴宏: 酵素反応をトリガーとした活性酸素種発生化合物の開発

第 25 回日本フリーラジカル学会 (2003.6)

¹ 共立薬科大学

袴田 航, 室井 誠¹, 中村友里子², 斎藤慎一², 奥田晴宏, 福原 潔: カテキンのコンフォーメーション制御によるグルコシダーゼ阻害活性の増強

第 52 回日本応用糖質科学会 (2003.9)

¹ 理化学研究所

² 東京理科大学理学部化学科

袴田 航, 山本恵美子¹, 望月正隆¹, 奥田晴宏, 福原 潔: 小胞体ストレス応答を利用した新規抗ガン剤の開発

第 47 回日本薬学会関東支部大会 (2003.11)

¹ 共立薬科大学

袴田 航, 山本恵美子¹, 室井 誠², 望月正隆¹, 奥田晴宏: 小胞体ストレス誘起能と DNA 損傷能を有する化合物の開発

日本環境変異原学会第 32 回大会 (2003.11)

¹ 共立薬科大学

² 理化学研究所

袴田 航, 山本恵美子¹, 中村友里子², 室井 誠³, 斎藤慎一⁴, 望月正隆¹, 奥田晴宏, 福原 潔: 活性酸素および小胞体ストレスによるアポトーシス誘導薬の開発

日本フリーラジカル学会関東支部 (2003.12)

¹ 共立薬科大学

² 東京理科大学理学部化学科

³ 理化学研究所

増田 雄¹, 袴田 航, 中村 友里子², 斎藤慎一², 西尾俊幸¹, 奥 忠武¹, 奥田晴宏, 福原 潔: 新規カテキン誘導体の抗酸化活性とグルコシダーゼ阻害活性の増強

日本農芸化学会 2004 年度大会 (2004.3)

¹ 日本大学生物資源科学部

² 東京理科大学理学部

袴田 航, 山本恵美子¹, 望月正隆¹, 奥田晴宏, 福原 潔: グルコシダーゼ阻害と DNA 損傷によるアポトーシス誘起化合物の開発

日本農芸化学会 2004 年度大会 (2004.3)

¹ 共立薬科大学

星野 重樹¹, 末吉 祐介¹, 小川 真弘¹, 松石 紫¹, 近藤 亮宏¹, 袴田 航, 河内 隆¹, 西尾 俊幸¹, 奥 忠武¹: - グリコシダーゼの基質糖構造に対する認識能の多様性解析

日本農芸化学会 2004 年度大会 (2004.3)

¹ 日本大学生物資源科学部

袴田 航, 室井 誠¹, 増田 雄², 樋口 創³, 浦野 四郎³, 奥 忠武², 奥田 晴宏, 福原 潔: 簡便なタモキシフェンおよびそれら誘導体合成法の開発とそれらの生物活性

第 124 回日本薬学会 (2004.3)

¹ 理化学研究所抗生物質

² 日本大学生物資源科学部

³ 芝浦工業大学工学部

佐藤匡史¹, 糸賀章登¹, 磯貝泰弘¹, 栗原正明, 山田斉爾¹, 河内 隆¹, 荒平正緒美¹, 西尾俊幸¹, 深澤親房¹, 奥 忠武¹: c 型シクロクロムにおけるヘム軸配位子置換による構造安定性の向上

日本農芸化学会 2003 年大会 (2003.4)

¹ 日大生資料

本澤 忍¹, 橋高敦史¹, 山本康弘¹, 藤島利江¹, 齋藤 望¹, 須原義智¹, 平阪幸四郎¹, 栗原正明, 岸本成史¹, 杉浦隆之¹, 和久敬蔵¹, 高山浩明¹: 2 位置換活性型ビタミン D₃ 誘導体の一般的合成法と生物活性評価

日本ビタミン学会第 55 回大会 (2003.5)

¹ 帝京大薬

Fujishima, T.*; Kittaka, A.*; Kurihara, M.; Saito, N.*.; Honzawa, S.*; Kishimoto, S.*; Sugiura, T.*; Waku, K.*; Takayama, H.*: **2,2-Functionalized Analogues of 1,25-Dihydroxyvitamin D₃, The Potent Inducers of Cell Differentiation**

12th Workshop on Vitamin D (2003.7)

* Faculty of Pharmaceutical Sciences, Teikyo University

出水庸介¹, 田中正一¹, 土井光暢², 栗原正明, 末宗 洋¹: 環状, -ジ置換アミノ酸を用いたヘリカル構造の制御

第 40 回化学関連支部合同九州大会 (2003.7)

¹ 九州大薬

² 大阪薬大

大庭 誠¹, 田中正一¹, 末宗 洋¹, 佐藤由紀子, 栗原正明: N 末プロリンによる Aib ペプチドのヘリックス二次講堂の制御

第 40 回化学関連支部合同九州大会 (2003.7)

¹ 九州大薬

Honzawa, S.*; Suhara, Y.*; Saito, N.*; Kishimoto, S.*; Fujishima, T.*; Kurihara, M.; Sugiura, T.*; Waku, K.*; Takayama, H.*; A. Kittaka, A.*: **Syntheses and Biological Activities of 2,2-Substituted 20-epi-vitamin D₃ Derivatives**

The ASBMR 25th Annual Meeting (2003.9)

* Faculty of Pharmaceutical Sciences, Teikyo University

Honzawa, S.*; Suhara, Y.; Saito, N.*; Kishimoto, S.*; Fujishima, T.*; Kurihara, M.; Sugiura, T.*; Waku, K.*; Takayama, H.*; A. Kittaka, A.*: **Syntheses and Biological Activities of 2-Substituted 20-epi-vitamin D₃ Derivatives**

AIMECS 03 (2003.10)

* Faculty of Pharmaceutical Sciences, Teikyo University

Kurihara, M.; Sato, Y.*; Nomoto, S.*; Okuda, H.*; Honzawa, S.*; Saito, N.; Suhara, Y.*; Fujishima, T.*; Takayama, H.*; Kittaka, A.*: **Design and Synthesis of Ligands for Nuclear Receptors; VDR and RAR**

AIMECS 03 (2003.10)

* Faculty of Pharmaceutical Sciences, Teikyo University

大庭誠*, 田中正一*, 末宗 洋*, 佐藤由紀子, 栗原正明: N末プロリンによる Aib ペプチドの二次構造制御

第40回ペプチド討論会 (2003.10)

* 九大薬

田中正一¹, 出水庸介¹, 土井光暢², 栗原正明, 末宗 洋¹: キラルな環状, -ジ置換アミノ酸によるヘリックス 2次構造の制御

第40回ペプチド討論会 (2003.10)

¹ 九大薬

² 大阪薬大

栗原正明, 佐藤由紀子, 野本哲史, 奥田晴宏, 大庭 誠*, 出水庸介*, 田中正一*, 末宗 洋*: 不斉中心を有するアミノ酸を含むオリゴペプチドのヘリカル構造の予測

第40回ペプチド討論会 (2003.10)

* 九大薬

田中正一*, 出水庸介*, 土井光暢*, 栗原正明, 末宗 洋*: ペプチド側鎖上での不斉中心のみによるヘリックス 2次構造の制御

第29回反応と合成の進歩シンポジウム (2003.10)

* 九大薬

藤島利江*, 堤 龍司*, 齋藤 望*, 本沢 忍*, 高山浩明*, 橋高敦史*, 栗原正明, 岸本成史*, 杉浦隆之*, 和久敬蔵*: スピロ環構造を有する新規 2位修飾活性型ビタミン D 誘導体の合成, 及びビタミン D 受容体への結合様式解析

天然有機化合物討論会 (2003.10)

* 帝京大薬

藤島利江*, 堤 龍司*, 栗原正明, 高山浩明*, 橋高敦史*: 2位にスピロ環構造を有する活性型ビタミン D 誘導体の合成

第47回日本薬学会関東支部大会 (2003.10)

* 帝京大薬

Tanaka, M.*; Demizu, Y.*; Doi, M.*; Kurihara, M.; Suemune, H*.: **3₁₀-Helical Structure of Peptides Composed of Chiral Cyclic, -Disubstituted -Amino Acid**

IKCOC-9 (2003.11)

* Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University

栗原正明, 佐藤由紀子, 野本哲史, 藤島利江*, 齋藤 望*, 本澤 忍*, 高山浩明*, 橋高敦史*: ビタミン D 誘導体の VDR および VDR 変異体との結合モデル

日本薬学会第124年会 (2004.3)

* 帝京大薬

栗原正明, 野本哲史, 松崎亜香里, 佐藤由紀子, 奥田晴宏, 齋藤 望*, 本澤 忍*, 藤島利江*, 杉浦隆之*, 和久敬蔵*, 橋高敦史*: VDR の新規リガンドの設計と合成

日本薬学会第124年会 (2004.3)

* 帝京大薬

栗原正明, 佐藤由紀子, 野本哲史, 奥田晴宏, 田中正一*, 出水庸介*, 大庭 誠*, 末宗 洋*: キラルアミノ酸を含むオリゴペプチドのヘリカル構造の予測

日本薬学会第124年会 (2004.3)

* 九州大薬

藤島利江*, 堤 龍司*, 栗原正明, 高山浩明*, 橋高敦史*: 2位にシクロアルカンを有する活性型ビタミン D 誘導体の合成, 及びビタミン D 受容体への結合様式解析

日本薬学会第124年会 (2004.3)

* 帝京大薬

藤島利江*, 堤 龍司*, 栗原正明, 齋藤 望*, 本澤 忍*, 杉浦隆之*, 和久敬蔵*, 橋高敦史*: 2位にスピロ環構造を有する新規活性型ビタミン D 誘導体の合成と生物活性

日本薬学会第124年会 (2004.3)

* 帝京大薬

本澤 忍¹, 山本康弘¹, Sara Peleg², 平阪幸四郎¹, 藤島利江¹, 齋藤 望¹, 栗原正明, 岸本成史¹, 杉浦隆之¹, 和久敬蔵¹, 高山浩明¹, 橋高敦史¹: 2位に芳香環を有する活性型ビタミン D 誘導体のくる病 II 型関連変異 VDR への結合活性

日本薬学会第124年会 (2004.3)

¹ 帝京大薬

² テキサス大

本澤 忍¹, 山本康弘¹, 藤島利江¹, 齋藤 望¹, 栗原正明, 岸本成史¹, 杉浦隆之¹, 和久敬蔵¹, Sara Peleg², 橋高敦史¹: 1位に疎水性置換基を持つ活性型ビタミン D₃ 誘導体の合成

日本薬学会第124年会 (2004.3)

¹ 帝京大薬

² テキサス大

齋藤 望*, 本澤 忍*, 藤島利江*, 栗原正明, 須原義智*, 小園敏郎*, 松本雅彦*, 大森正幸*, 高山浩明*, 橋高敦史*: 2- (-ヒドロキシアルコキシ)-20-epi-1, 25-ジヒドロキシ

ビタミン D₃ の合成と細胞分化誘導能の評価

日本薬学会第124年会 (2004.3)

* 帝京大薬

高野由紀子*, 大庭 誠*, 栗原正明, 田中正一*, 末宗 洋*: 光学活性含窒素環状, -ジ置換アミノ酸とそのペプチドの合成

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*}九州大薬

出水庸介^{*1}, 田中正一^{*1}, 土井光暢^{*2}, 栗原正明, 末宗 洋^{*1}:
水溶性キラル環状, -ジ置換アミノ酸よりなるオリゴペ
プチドの二次構造

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*1}九州大薬

^{*2}大阪薬大

阿南浩輔^{*}, 出水庸介^{*}, 田中正一^{*}, 栗原正明, 末宗 洋^{*}: キ
ラル環状, -ジ置換アミノ酸誘導体とそのペプチドの合
成

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*}九州大薬

丹野雅幸, 末吉祥子, 栗原正明, 山越葉子, 奥田晴宏: フェ
ントン試薬を利用した一酸化窒素(NO)発生反応

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

山越葉子, 土屋利江: 生物活性を指向した C60 誘導体の合成
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

手島玲子: 3 歳児の食物並びに吸入アレルゲン特異的 IgE 抗
体価の実態調査

第 15 回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2003.5)

手島玲子: 食物アレルギーの実験モデルとアレルゲン性評価
第 10 回免疫毒性学会学術大会 (2003.9)

金澤由基子^{*}, 新藤智子^{*}, 斎藤義明^{*}, 白見憲司^{*}, 小島幸一^{*},
手島玲子: 経口感作および経口惹起によるマウスの食物
アレルギーモデル(1)

第 10 回免疫毒性学会学術大会 (2003.9)

^{*}食品薬品安全センター

新藤智子^{*}, 金澤由基子^{*}, 斎藤義明^{*}, 白見憲司^{*}, 小島幸一^{*},
手島玲子: 経口感作および経口惹起によるマウスの食物ア
レルギーモデル(2)

第 10 回免疫毒性学会学術大会 (2003.9)

^{*}食品薬品安全センター

澤田純一: 医薬品に関する免疫毒性試験ガイダンス(案)と
ICH

第 10 回免疫毒性学会学術大会 (2003.9)

手島玲子: 人工胃液によるタンパク質の消化性 ILSI-HESI
リングスタディーの結果

ILSI HESI/ILSI Japan タンパク質のアレルギー誘発性に関す
るワークショップ (2003.9)

中村亮介, 高木加代子, 佐藤義隆^{*1}, 佐々木伸雄^{*1}, 澤田純一,
木谷誠一^{*2}, 手島玲子: Dog mastocytoma CM-MC cells ex-
press functional high-affinity receptors for IgG

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

^{*1}東京大学

^{*2}東京水産大学

斎藤嘉朗, 佐伯真弓, 前川京子, 小澤正吾, 澤田純一: Protein-
adduct formation of mexiletine

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

斎藤嘉朗, 蜂須賀暁子, 佐伯真弓, 前川京子, 手島玲子, 澤
田純一: Assessing covalent binding activity of drugs with
MHC class II peptides

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

中島治, 蜂須賀暁子, 手島玲子, 澤田純一: Study on a method
for delivering recombinant scFv antibody into CNS

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

高木加代子, 手島玲子, 奥貫晴代, 伊藤さつき, 川崎ナナ,
川西徹, 早川堯夫, 澤田純一: Digestive stability and aller-
genic potential of chicken egg white ovomucoid and their pep-
sin-fragments

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

奥貫晴代, 手島玲子, 佐藤雄嗣, 穠山浩, 米谷民雄, 澤田純
一: Oral sensitization of W/W^v mice with ovalbumin and pos-
sible involvement of the decrease in TCR⁺ T cells

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

佐藤義隆^{*1}, 手島玲子, 中村亮介, 佐々木伸雄^{*1}, 澤田純一,
木谷誠一^{*2}: Mast cell activation via substance P

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

^{*1}東京大学

^{*2}東京水産大学

手島玲子, 奥貫晴代, 澤田純一: W/W^v マウスの OVA 経口
投与による ASA 誘導と T 細胞について

第 53 回日本アレルギー学会 (2003.10)

Sawada, J.: SNPs and haplotypes of genes encoding drug-me-
tabolizing enzymes and transporters in a Japanese popula-
tion

The International Symposium "Pharmacogenomics and Pharma-
cogenetics: Impact on Clinical Trial"(2003.11)

手島玲子: 遺伝子組換え食品とアレルギー
お茶の水女子大学生生活環境センター, 食の安全性に関するシ
ンポジウム part 1 (2003.12)

手島玲子: 組換え DNA 食品の安全性
日本食品衛生協会シンポジウムー食品の安全研究をめぐっ
て (2004.1)

手島玲子, 中村亮介, 中島治, 蜂須賀暁子, 澤田純一: 肥満
細胞の転写活性化への含窒素系農薬の影響

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

奥貫晴代, 手島玲子, 佐藤雄嗣, 澤田純一: W/W^v マウスに
おける CpG Oligodeoxynucleotides-OVA 経口感作による影響

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

高木加代子, 奥貫晴代, 手島玲子, 澤田純一: 組換え食品中の新規蛋白質と患者血清の反応性評価法に関する研究
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

斎藤嘉朗, 福島(上坂)浩美, 駒村和雄¹, 北風政史¹, 中島敏治², 斎藤博久², 後藤雄一³, 木村英雄³, 田村友秀⁴, 南博信⁴, 吉田輝彦⁴, 西條長宏⁴, 鎌谷直之⁵, 小澤正吾, 澤田純一: 日本人における CYP3A4 の遺伝子多型及びハプロタイプ解析と CYP3A5 ハプロタイプとの連鎖
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

¹ 国立循環器病センター

² 国立成育医療センター

³ 国立精神・神経センター

⁴ 国立がんセンター

⁵ 東京女子医科大学

佐伯真弓, 斎藤嘉朗, 神野透人, 頭金正博, 黒瀬光一, 鹿庭なほ子, 駒村和雄^{*}, 上野和行^{*}, 鎌倉史郎^{*}, 北風政史^{*}, 小澤正吾, 澤田純一: UGT1A1 遺伝子多型の pyrosequencing 法による迅速検出法の開発
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*} 国立循環器病センター

中村亮介, 奥貫晴代, 斎藤嘉朗, 手島玲子, 澤田純一: フタル酸エステル類のマスト細胞に及ぼす genetic および non-genetic な影響
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

前川京子, 斎藤嘉朗, 小澤正吾, 赤羽悟美¹, 川本学², 鎌谷直之², 駒村和雄³, 清水 涉³, 上野和行³, 鎌倉史郎³, 北風政史³, 澤田純一: 日本人におけるナトリウムチャンネル 5 型 サブユニット(SCN5A)の遺伝子多型の検出
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

¹ 東京大学

² 東京女子医科大学

³ 国立循環器病センター

古野忠秀¹, 森尚子¹, 鈴木亮¹, 手島玲子, John Bienenstock², 中西守¹: 免疫・神経クロストークの動的分子機構
日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

¹ 名古屋市立大学薬学部

² McMaster University

中村亮介, 佐藤義隆¹, 高木加代子, 佐々木伸雄¹, 澤田純一, 木谷誠一², 手島玲子: Canine mastocytoma CM-MC cells express two variants of high-affinity receptors for IgG
60th AAAAI Annual Meeting (2004.3)

¹ 東京大学

² 東京水産大学

Inoue, K.: **Chronic pain and microglia: the role of ATP receptor.** The 4th International symposium on receptor mechanisms, signal transduction and drug effects. (2003.5)

Tsuda, M.: **Role of ionotropic ATP receptors P2XRs in pain signaling.**

痛み可塑性シンポジウム (2003.5)

檜楨大介, 小泉修一, 溝腰朗人, 津田 誠, 重本-最上由香里, 井上和秀: P2Y2 受容体刺激により惹起されるアロディニア .

生理学研究所研究会 (2003.8)

藤下加代子, 小泉 修一, 井上かおり, 最上 - 重本由香里, 井上 和秀: ヒト表皮ケラチノサイトで惹起された Ca²⁺ wave は細胞外 ATP 及び P2Y2 受容体を介して知覚神経に伝達される .

生理学研究所研究会 (2003.8)

檜楨大介, 小泉修一, 井上和秀: G タンパク共役型 ATP 受容体 P2Y2 によるアロディニア岡崎 .

生理学研究所研究会「痛みの基礎と臨床」(2003.9)

Inoue, K., Tsuda, M. and Koizumi, S.: **A P2X receptor subtype in spinal cord causes tactile allodynia by peripheral nerve injury.** The symposium, "Medicinal chemistry and pharmacology of purinergic receptors". (2003.9)

Inoue, K., Tsuda, M. and Koizumi, S.: **Chronic pain and microglia: the role of ATP.**

Novartis Foundation Symposium 261: Pathological pain: from molecular to clinical aspects. (2003.9)

井上和秀, 津田 誠, 小泉修一: 脊髄内ミクログリアの活性化と神経因性疼痛: ATP 受容体 P2X4 の関与 .

第 8 回グリア研究会 (2003.10)

井上和秀: 神経因性疼痛発症と脊髄内ミクログリア: ATP 受容体の関与

第 8 回神経科学領域における分子モニタリングシンポジウム(2003.10)

Tsuda, M., Fam, S.R., Gallagher, C.J. and Salter, M.W.: **PKC phosphorylation site in the carboxyl tail of P2Y1R is required for agonist-dependent rapid negative feedback**

第 33 回北米神経科学学会 (2003.11)

井上和秀: 神経因性疼痛発症と脊髄内ミクログリア: ATP 受容体の関与 .

第 62 回千里神経懇話会(新適塾)(2004.1)

井上和秀, 津田 誠, 小泉修一: 行動薬理学によって初めてわかった ATP 受容体と痛みの関係 .

第 13 回神経行動薬理若手研究者の集い・招待講演 (2004.3)

井上和秀, 津田誠, 小泉修一: 痛覚系に関する ATP 受容体 . 第 77 回日本薬理学会年会・シンポジウム (2004.3)

檜楨大介, 小泉修一, 溝腰朗人, 津田 誠, 重本-最上由香里, 井上和秀: UTP により惹起される異痛症発現機序の解明 .

第 77 回日本薬理学会年会 (2004.3)

藤下加世子, 小泉修一, 重本 - 最上由香里, 津田誠, 井上和秀: ヒト表皮ケラチノサイトにおいてレチノイン酸により誘導される P2 受容体発現の変化の検討 .

第 77 回日本薬理学会年会 (2004.3)

井上かおり*, 傳田光洋*, 藤原重良, 戸崎秀俊, 藤下加世子, 小泉修一, 井上和秀: 皮膚における P2X 受容体機能の解析 .

第 77 回日本薬理学会年会 (2004.3)

* 資生堂ライフサイエンス研究センター

篠崎陽一, 石田誠一, 小泉修一, 井上和秀: ATP は P2Y1 受容体を介して酸化ストレスによる細胞障害からアストロサイトを保護する

第 77 回日本薬理学会年会 (2004.3)

戸崎秀俊, 小泉修一, 井上和秀: レチノイン酸による初代培養ミクログリアの P2X4 受容体発現増強

第 77 回日本薬理学会年会 (2004.3)

鈴木智久^{*1}, 松原明代^{*1}, 高坂新一^{*2}, 井上和秀, 秀和泉^{*1}, 仲田義啓^{*1}: P2X7 受容体活性化ミクログリアの神経保護作用

第 77 回日本薬理学会年会 (2004.3)

^{*1} 広島大学医歯薬総合研究科

^{*2} 国立精神神経センター神経研究所

井上和秀: ATP 受容体を介したミクログリアの機能調節: 痛み

第 43 回日本定位・機能神経外科学会 (2004.4)

Hirayama, A.^{*1}, Adachi, R., Mizuno, K.^{*2}, Kasahara, T.^{*1} and Suzuki, K.: **Cofilin/LIM-kinase modulates chemotaxis of phagocytes**

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

^{*1} 共立薬科大学

^{*2} 東北大学

Watanabe, H.^{*}, Adachi, R., Hirayama, A.^{*}, Kasahara, T.^{*} and Suzuki, K.: **Effects of endocrine disruptors on gene expression during differentiation of leukocytes**

第 33 回日本免疫学会総会・学術集会 (2003.12)

* 共立薬科大学

安達玲子, 鈴木和博, 武内恒成: マクロファージの反応性に対するコフィリンアンチセンスの効果

第 4 回 Pharmaco-Hematology シンポジウム (2003.6)

* 名古屋大学

Takeya, T., Fujino, T., Yokoyama, S.^{*}, Inoue, K. and Nishimaki-Mogami, T.: **ACAT inhibitor induces ABCA1 expression and enhances formation of HDL with endogenous apoA-I in rat hepatoma McA-RH7777 cells**

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

* 名古屋市立大学大学院医学研究科

Fujino, T., Sato, Y., Une, M.^{*}, Kanayasu-Toyoda, T., Yamaguchi,

T., Shudo, K., Inoue, K. and Nishimaki-Mogami, T.: **In vitro FXR ligand sensor assay using surface plasmon resonance and based on ligand-induced coactivator association**

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

* 広島大学大学院医歯薬総合研究科

Fujino, T., Une, M.^{*}, Sato, Y., Tohkin, M., Inoue, K., Nishimaki-Mogami, T.: **Identification of bile acid precursors as endogenous ligands for FXR that mediate the negative feedback regulation of bile acid synthesis**

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

* 広島大学大学院医歯薬総合研究科

Une, M.^{*1}, Fujino, T., Sato, Y., Inoue, K., Imanaka, T.^{*2} and Nishimaki-Mogami, T.: **Structure-activity relationship of bile acids and bile acid analogs in regard to FXR activation**

第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

^{*1} 広島大学大学院医歯薬総合研究科

^{*2} 富山医科薬科大学薬学部

Nishimaki-Mogami, T., Fujino, T., Une, M.^{*}, Sato, Y., Tohkin, M. and Inoue, K.: **Bile acid precursors are endogenous ligands for FXR and mediate the negative feedback regulation of bile acid synthesis**

XIIIth International Symposium on Atherosclerosis (2003.10)

* 広島大学大学院医歯薬総合研究科

宇根瑞穂^{*1}, 藤野智史, 佐藤陽治, 井上和秀, 最上(西巻)知子: 胆汁酸生合成中間体も FXR リガンドとして機能している?

第 25 回胆汁酸研究会 (2003.11)

^{*1} 広島大学大学院医歯薬総合研究科

最上(西巻)知子, 藤野智史, 佐藤陽治, 為広紀正, 影近弘之^{*1}, 堂前純子^{*2}, 横山信治^{*2}, 井上和秀: **RXR アゴニストによる ABCA1 発現と HDL 新生の促進**

日本レチノイド研究会第 14 回学術集会 (2003.11)

^{*1} 東京大学大学院薬学系研究科

^{*2} 名古屋市立大学大学院医学研究科

藤野智史, 宇根瑞穂^{*1}, 佐藤陽治, 首藤紘一, 井上和秀, 最上(西巻)知子: 胆汁酸生合成中間体は RXR 二量体型核内レセプター FXR の内因性リガンドである

日本レチノイド研究会第 14 回学術集会 (2003.11)

^{*1} 広島大学大学院医歯薬総合研究科

為広紀正, 佐藤陽治, 浅川義範^{*1}, 橋本敏博^{*1}, 横山信治^{*2}, 首藤紘一, 大野泰雄, 井上和秀, 最上(西巻)知子: **ABCA1 誘導と HDL 新生を促進する新規 LXR アゴニスト**

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*1} 徳島文理大学薬学部

^{*2} 名古屋市立大学大学院医学研究科

最上(西巻)知子, 藤野智史, 宇根瑞穂*, 佐藤陽治, 河原陽介, 首藤紘一, 井上和秀: 胆汁酸生合成中間体は核内レセプター FXR の内因性リガンドである

日本薬学会第124年会 (2004.3)

* 広島大学大学院医歯薬総合研究科

河原陽介², 宇根瑞穂¹, 為広紀正, 吉田武美², 井上和秀, 最上(西巻)知子: サメ肝油などに含まれる胆汁アルコールは FXR を活性化する

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 広島大学大学院医歯薬総合研究科*² 昭和大学薬学部

Nishimaki-Mogami, T., Fujino, T., Une, M.^{*}, Sato, Y., Shudo, K. and Inoue, K.: **Identification of intermediates of Bile acid synthetic pathway as ligands for FXR**

Keystone Symposia, Nuclear Receptors: Orphan Brothers (J7) (2004.3)

* 広島大学大学院医歯薬総合研究科

Sai, K., Kaniwa, N., Itoda, M., Saito, Y., Shirao, K.^{*}, Minami, H.^{*}, Ohtsu, A.^{*}, Ozawa, S. and Sawada, J.: **ABCB1/MDR1 haplotype - dependent renal clearance of irinotecan in a Japanese population**

12th North American ISSX Meeting (2003. 10)

* 国立がんセンター

山本美智子, 中野達也, 大塚文, 大屋幸江, 黒田伸子, 高橋薫, 竹村玲子¹, 田崎武信², 森川 馨: 海外規制機関による医薬品安全性情報の収集, 検討および提供 -COX2 阻害剤の安全性情報を中心に -

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 沖中記念成人病研究所*² 塩野義製薬解析センター

森川 馨, 竹村玲子¹, 田中知子, 大塚 文, 大屋幸江, 黒田伸子, 高橋 薫, 中野達也, 山本美智子, 田崎武信²: 2003年海外規制機関における精神神経薬の副作用に関する安全情報

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 沖中記念成人病研究所*² 塩野義製薬(株)解析センター

竹村玲子¹, 山本美智子, 森川 馨: ホルモン補充療法の副作用に関する米国大規模臨床試験と英国大規模コホート研究

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 沖中記念成人病研究所

中野達也, 大屋幸江, 高橋薫, 大塚文, 黒田伸子, 瀧明子, 辻澄子, 竹村玲子¹, 山本美智子, 森川馨: 海外規制機関情報を中心とした医薬品安全性情報収集システムの構築

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 沖中記念成人病研究所

高橋宏次¹, 田原 務¹, Micael Hawley^{*1}, Gregory Amidon^{*1}, Jeffery Price^{*1}, Edward Cilkowski^{*1}, Alice Martino^{*1}, Sy-Juen Wu^{*1}, 檜山行雄, 森川 馨: 結晶多形の評価とその開発に関する影響および製剤化に適した結晶の粒子径についての研究

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ ファルマシア(株)

竹川恵弘¹, 岩下茂樹¹, 岡田 亮¹, 中川隆義¹, 白岩雅文¹, 坂田純一¹, 森川 馨: 開発初期における不純物の制御に焦点を当てた原薬製造プロセスの設定

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 帝国臓器製薬(株)

森本 潤¹, 池田正広¹, 草井 章¹, 森川 馨: 変動因子を考慮した固定層吸着カラム精製の品質保証に関する研究

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 三共(株)

石橋信康¹, 及川栄輝¹, 向井浩二¹, 池 和夫¹, 下条芳敬¹, 百永眞士¹, 川上良一¹, 加々良耕二¹, 檜山行雄, 森川 馨: 原薬粒子径設計に及ぼす晶析操作因子の設定と種晶の影響

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 藤沢薬品工業(株)

中村晃敏¹, 増井義之¹, 樺木幹雄¹, 芥子直義¹, 尾張琢也¹, 鴻池敏郎¹, 森川 馨: 原薬の開発初期における結晶多形または疑似結晶多形のスクリーニングに関する研究

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 塩野義製薬(株)

瀧川梯二¹, 齋藤弘幸¹, 久武義彦¹, 左右田茂¹, 森川馨: 溶媒蒸気乾燥法による残留溶媒除去

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ エーザイ(株)

犬飼和良¹, 金澤あずさ¹, 宮寺彰彦¹, 檜山行雄, 森川 馨: マイクロバランス法による原薬吸脱湿性把握と含量測定法改良

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 第一製薬(株)

田野倉武己¹, 小山嘉一郎¹, 田村邦雄¹, 森川 馨: 原薬製造設備における洗浄性決定因子の特定と洗浄方法設定

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 中外製薬(株)

橋本霞人¹, 平田 淳¹, 前川宗則¹, 森川 馨: 還流による反応釜の洗浄と原薬設備における留意点

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 千代田化工建設(株)

原田恒樹¹, 河野 剛¹, 石川 聡¹, 渡辺恵市郎¹, 森川 馨: 原薬構造設備における移送配管内の残液に影響する要素の特定と残液量の予測

日本薬学会第124年会 (2004.3)

*¹ 日揮(株)

福井栄司¹, 泉本真一¹, 池田一史¹, 林 公明¹, 沼波憲一¹, 森川 馨: 原薬に及ぼす包装材料添加剤の影響

日本薬学会第124年会 (2004.3)

^{*1} 田辺製薬(株)

本田昌徳^{*1}, 日高由雄^{*1}, 森田広正^{*1}, 播磨 武^{*1}, Nveille Broad^{*1}, Maris Simon^{*1}, 檜山行雄, 森川 馨: 近赤外(NIR)分光法を用いる分析法のバリデーション
日本薬学会第124年会(2004.3)

^{*1} ファイザー製薬(株)

春日文子: 微生物学的リスクマネジメントにおけるリスクアセスメントの利用 - *Food Safety Objective* の導入について
第13回獣疫学会学術集会一般講演会(2003.4)

宇佐神美孝^{*1}, 藤井香予子^{*1}, 西島基弘^{*1}, 新井麻奈未^{*2}, 中川 弘^{*2}, 伊藤 武^{*2}, 広田雅光, 伊藤嘉典, 春日文子: 調理過程における *Vibrio parahaemolyticus* の動的動態について
食品衛生学会第85回学術講演会(2003.5)

^{*1} 実践女子大学^{*2} 財団法人東京顕微鏡院

岸本 満^{*1}, 日置祐一^{*2}, 岡野哲也^{*2}, 春日文子, 小沼博隆^{*3}, 高見澤一裕^{*4}: 調理施設より分離された *Staphylococcus aureus* のリポタイピングと伝播実態
防菌防黴学会第30回年次大会 2003年5月27日

^{*1} 名古屋栄養専門学校^{*2} 花王株式会社^{*3} 東海大学^{*4} 岐阜大学

Ogden, I.D.^{*1}, Kasuga, F., Doyle, M.P.^{*2}, Pennington, T.H.^{*1} and Strachan, N.J.C.^{*1}: **Dose response modelling of *E. coli* O157 as a tool in outbreak epidemiology** VTEC 2003 (5th International Symposium on 'Shiga Toxin (Verocytotoxin) - Producing *Escherichia coli* Infections'), (2003.6)

^{*1} University of Aberdeen^{*2} University of Georgia

Kasuga, F., Yamamoto, A.^{*1}, Iwahori, J.^{*2}, Vuddhakul, V.^{*3}, Jaroenjiratrakul, W.^{*3}, Kalnawakul, S.^{*3}, Chowdhury, A.^{*4}, Shigematsu, M.^{*5}, Osaka, K.^{*5}, Toyofuku, H.^{*6}, Yamamoto, S., Nishibuchi, M.^{*4}: **Quantitative risk assessment of *Vibrio parahaemolyticus* in bloody clams in Southern Thailand**
International Association for Food Protection 90th Annual Meeting (2003.8)

^{*1} 兵庫県立健康環境科学研究センター^{*2} 高知医科大学^{*3} Prince of Songkla University^{*4} 京都大学^{*5} 国立感染症研究所^{*6} WHO

藤井香予子^{*1}, 宇佐神美孝^{*1}, 西島基弘^{*1}, 新井麻奈未^{*2}, 中川弘^{*2}, 伊藤武^{*2}, 広田雅光, 伊藤嘉典, 春日文子: *Salmonella Enteritidis* のスポンジを介した調理器具への移動動態
食品衛生学会第86回学術講演会(2003.10)

^{*1} 実践女子大学^{*2} 財団法人東京顕微鏡院

窪田邦宏, 春日文子, Vose, D.^{*1}, 森川馨: 微生物学的リスクアセスメントにおける調理中の二次汚染の確率論的解析
日本薬学会第124年会, 大阪市 2004年3月29日

^{*1} Vose Consulting Ltd

登田美桜, 畝山智香子, 山本 都, 森川 馨: 食品の安全に関する情報収集のあり方について - いわゆる健康食品による健康被害事例 -
日本薬学会第124年会(2004.3)

奈女良 昭^{*1}, 屋敷幹雄^{*1}, 山本貴司^{*2}, 徳永雅彦^{*2}, 山本 都, 森川 馨: 薬毒物迅速検査法の集約およびWebシステムの構築
日本薬学会第124年会(2004.3)

^{*1} 広島大学大学院^{*2} (株) アドイン研究所

山本 都: ミニシンポ「国際化時代における食に関わる化学物質と安全性」: 国際的食品安全情報の収集と発信
日本薬学会第124年会(2004.3)

森田 健, 横手規子, 石光 進, 森川 馨: 子供に対する化学物質の安全性評価に関する国際的取組み
日本薬学会第124年会(2004.3)

森田 健: ハイスルーブット遺伝毒性試験
第41回JEMS・MMS(日本環境変異原学会哺乳動物試験研究会)定例研究会(2003.6)

森田 健: ハイスルーブット細菌遺伝毒性試験
JEMS・BMS(日本環境変異原学会微生物試験)研究会(2003.7)

須井 哉^{*}, 原 巧^{*}, 川上久美子^{*1}, 大山徳子^{*}, 森田 健: ハイ・スルーブット微生物遺伝毒性試験法の検討2
日本環境変異原学会第32回大会(2003.11)

^{*1} 食品薬品安全センター

愛澤昌宏^{*1}, 小野寺賢司^{*1}, 張軍衛^{*1}, 甘利真司^{*1}, 岩澤義郎^{*2}, 中野達也, 中田琴子: KiBank: タンパク質 - 化学物質相互作用解析支援データベース
日本薬学会第124回年会(2004.3)

^{*1} 東京大学生産技術研究所^{*2} アドバンスソフト(株)

Nakata, K., Momose, H.^{*1}, Tanaka, Y.^{*1}, Tanaka, H.^{*2} and Kaminuma, T.^{*3}: **Extension of Receptor Database and Drug Targets.**

Biophysical Society 48th Annual Meeting (2004.2)

^{*1} 東京医科歯科大学大学院^{*2} 東京医科歯科大学難治疾患研究所^{*3} 広島大学

Zhang, J.^{*1}, Aizawa, M.^{*1}, Onodera K.^{*1}, Amari S.^{*1}, Iwasawa Y.^{*2}, Nakata K.: **KiBank: A Database for Molecular Interac-**

tion Analysis between Proteins and Chemicals.

CBI学会第4回年会(2003.9)

¹ 東京大学生産技術研究所² アドバンスソフト(株)Nakata, K., Tokunaga, M. ^{*1}, Komiyama, N. ^{*2} and Kaminuma, T. ^{*3}:**From Drug Target to Pathways.**

New Horizons in Molecular Sciences and Systems: An Integrated Approach. (2003.10)

¹ アドイン研究所² CBI学会³ 広島大学百瀬大樹^{*1}, 神沼二真^{*2}, 田中義智^{*1}, 中田琴子, 田中博^{*3}: 核内受容体 PPAR の標的遺伝子の探索

CBI学会第4回年会(2003.9)

¹ 東京医科歯科大学大学院² 広島大学³ 東京医科歯科大学難治疾患研究所田中義智^{*1}, 神沼二真^{*2}, 百瀬大樹^{*1}, 中田琴子, 田中博^{*3}: 医薬品の相互作用に関連した核内受容体の標的遺伝子の探索

CBI学会第4回年会(2003.9)

¹ 東京医科歯科大学大学院² 広島大学³ 東京医科歯科大学難治疾患研究所Nakata, K., Saithoh, R. ^{*1}, Tokunaga, M. ^{*2}: **A Transporter Database as a Drug Target Database.**

The 4th International Symposium on Receptor Mechanisms, Signal Transduction and Drug Effects. (2003.5)

¹ 早稲田大学理工学部² アドイン研究所小谷明^{*1}, 岩上猛^{*2}, 植田泰輔^{*2}, 木村良夫^{*2}, 林 讓, 松田りえ子, 楠文代^{*1}: 電位規制ボルタンメトリー用測定システムの FUMI 理論を利用したノイズ評価

第64回分析化学討論会(2003.5)

¹ 東京薬科大学² 林純薬工業林 讓, 松田りえ子, 今井一洋^{*1}, 西村和香^{*2}, 伊藤克敏^{*2}, 前田昌子^{*2}: ELISA の精度と検出限界 1. 精度の推定

免疫化学測定法研究会第8回学術集会(2003.6)

¹ 武蔵野大学薬学研究所² 昭和大学薬学部林 讓, 松田りえ子, 今井一洋^{*1}, 西村和香^{*2}, 伊藤克敏^{*2}, 前田昌子^{*2}: ELISA の精度と検出限界 2. 検出限界の定義と求め方

免疫化学測定法研究会第8回学術集会(2003.6)

¹ 武蔵野大学薬学研究所² 昭和大学薬学部林 讓, 松田りえ子: 定量分析の不確かさの推定
第169回液体クロマトグラフィー研究懇談会(2003.7)林 讓, 松田りえ子, 今井一洋^{*1}, 西村和香^{*2}, 伊藤克敏^{*2}, 前田昌子^{*2}: イムノアッセイにおける検出限界の求め方の提案
第16回バイオメディカル分析科学シンポジウム(2003.8)¹ 武蔵野大学薬学研究所² 昭和大学薬学部林 讓, 松田りえ子, 伊藤克敏^{*1}, 前田昌子^{*1}: 競合法イムノアッセイの検出限界について

第9回日本環境毒性学会・バイオアッセイ研究会(2003.8)

¹ 昭和大学薬学部林 讓, 松田りえ子, 今井一洋^{*1}, 西村和香^{*2}, 伊藤克敏^{*2}, 前田昌子^{*2}: 競合法イムノアッセイにおける検出限界を B/B0 曲線から求める方法

日本分析化学会第52年会(2003.9)

¹ 武蔵野大学薬学研究所² 昭和大学薬学部小谷明^{*1}, 林 讓, 松田りえ子, 楠文代^{*1}: FUMI 理論を利用したセミマイクロ HPLC 用のアンペロメトリック型フローセルの最適化

第9回 LC テクノプラザ(2004.2)

¹ 東京薬科大学小谷明^{*1}, 林 讓, 松田りえ子, 楠文代^{*1}: 電気化学検出 HPLC システムの FUMI 理論を用いた最適化

フィジカルファーマフォーラム2004(2004.3)

¹ 東京薬科大学小谷明^{*1}, 林 讓, 松田りえ子, 楠文代^{*1}: 電気化学検出 HPLC によるカテキン類の高感度定量のための電解セル

日本薬学会第124年会(2004.3)

¹ 東京薬科大学中野達也, 福澤 薫^{*1}, 原田隆範^{*2}, 阿部行伸^{*3}, 山口貴史^{*3}, 加藤昭史^{*1}, 佐藤智之^{*1}, 谷森奏一郎^{*3}, 雨宮克樹^{*3}, 北浦和夫^{*4}: 非経験的フラグメント分子軌道法による巨大分子系の電子状態計算

第8回計算工学会講演会(2003.5)

¹ (株)富士総合研究所² 立教大学³ アドバンスソフト(株)⁴ 産業技術総合研究所原田隆範^{*1}, 中野達也, 常磐広明^{*1}: 亜鉛原子を含むタンパク質へのフラグメント分子軌道法の適用

第4回 CBI学会大会(2003.9)

¹ 立教大学甘利真司^{*1}, 竹田 - 志鷹真由子^{*2}, 岩館満雄^{*2}, 山本典生^{*3}, 藤井信孝^{*4}, 山本直樹^{*3}, 梅山秀明^{*2}, 中野達也: SARS ウイルスプロテアーゼと阻害剤のフラグメント分子軌道法による相互作用解析

第4回 CBI学会大会(2003.9)

¹ 東京大学生産技術研究所

² 北里大学薬学部

³ 東京医科歯科大学医学部

⁴ 京都大学大学院薬学研究所

佐藤智之¹, 大河内郁雄¹, 福澤薫¹, 青木孝造², 小谷野和郎³, 甘利真司², 雨宮克樹³, 中野達也: **In silico** リガンド探索システム **BioStation Dock** の開発

第4回 CBI 学会大会 (2003.9)

¹ (株) 富士総合研究所

² 東京大学生産技術研究所

³ アドバンスソフト(株)

福澤薫¹, 古明地勇人², 仙石康雄³, 尾曲克己⁴, 高野光則⁴, 陶山明⁴, 田中成典⁵, 中野達也: フラグメント分子軌道法を用いた **cAMP** 受容タンパク質と **DNA** との相互作用解析

第4回 CBI 学会大会 (2003.9)

¹ (株) 富士総合研究所

² 産業技術総合研究所

³ 豊橋技術科学大学

⁴ 東京大学

⁵ (株) 東芝

原田隆範¹, 中野達也, 常磐広明¹: フラグメント分子軌道法による亜鉛原子を含むタンパク質の計算分子構造総合討論会 2003 (2003.9)

¹ 立教大学

福澤薫¹, 古明地勇人², 仙石康雄³, 田中成典⁴, 中野達也: フラグメント分子軌道法を用いた **cAMP** 受容タンパク質と **DNA** との相互作用の理論的研究

分子構造総合討論会 2003 (2003.9)

¹ (株) 富士総合研究所

² 産業技術総合研究所

³ 豊橋技術科学大学

⁴ (株) 東芝

古明地勇人¹, 中野達也, Fedorov, D. ¹, 稲富雄一¹, 北浦和夫¹: **FMO-MD** 法: タンパク質・核酸に適用可能な量子分子動力学法

分子構造総合討論会 2003 (2003.9)

¹ 産業技術総合研究所

本田久美子^{*}, 緒方英博^{*}, 古川浩美^{*}, 和泉宏幸^{*}, 小泉睦子^{*}, 鎌田栄一^{*}, 江馬 眞^{*}, 長谷川隆一: 2-クロロフェノールの新生児および若齢ラットにおける発現毒性と無毒性量の比較検討

第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

^{*} (株) パナファームラボラトリーズ

西村信雄^{*}, 池谷政道^{*}, 石田 茂^{*}, 小泉睦子^{*}, 鎌田栄一^{*}, 江馬 眞^{*}, 長谷川隆一: 3-エチルフェノールの新生児反復投与毒性および若齢動物毒性試験結果との比較

第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

^{*} (株) ポゾリサーチセンター

Nahoko Kaniwa, Kimie Sai, Yoshiro Saito, Ryuichi Hasegawa,

Kuniaki Shirao^{*}, Hironobu Minami^{*}, Atsushi Ohtsu^{*}, Teruhiko Yoshida^{*}, Nagahiro Saijo^{*}, Shogo Ozawa, and Jun-ichi Sawada: **Pharmacokinetics of irinotecan and its metabolites in Japanese cancer patients**

12th North American ISSX (International Society for the Study of Xenobiotics) Meeting (2003.10)

^{*} National Cancer Center

吉谷隆志, 香取典子, 鹿庭なほ子, 斎藤嘉朗, 小澤正吾, 小嶋茂雄, 長谷川隆一, 澤田純一, 大江裕一郎^{*}, 国頭英夫^{*}, 軒原浩^{*}, 山本 昇^{*}, 南 博信^{*}, 田村友秀^{*}, 西條長宏^{*}: パクリタキセル体内動態に及ぼす患者背景因子の検討

第18回日本薬物動態学会年会 (2003.10)

^{*} 国立がんセンター

池田仁子, 黒瀬光一, 小澤正吾, 斎藤嘉朗, 澤田純一, 田村友秀¹, 白尾国昭¹, 西條長宏¹, 南博信¹, 後藤雄一², 南成祐², 中島敏治², 斎藤博久², 駒村和雄⁴, 北風政史⁴: 薬物動態関連遺伝子の発現制御に関わる転写因子 **CAR** の遺伝子多型

第18回日本薬物動態学会年会 (2003.10)

¹ 国立がんセンター

² 国立精神神経センター

³ 国立成育医療センター

⁴ 国立循環器病センター

Nahoko Kaniwa: **Japanese perspective on pharmacokinetics, bioavailability and bioequivalence**

33rd Annual Meeting of the Korean Society of Pharmaceutics (KSP) (2003.11)

岡宏宏¹, 足立直樹², 新海正³, 佐久間慶子¹, 西村哲治, 黒瀬光一: ビスフェノール A で誘導されるアフリカツメガエル初期胚における発生異常と中枢神経組織のアポトーシス

日本内分泌攪乱化学物質学会第6回研究発表会 (2003.12)

¹ 女子栄養大学

² 北里大学

³ 東京都老人総合研究所

平田睦子, 松本真理子, 齋藤充生, 浦野勉, 長谷川隆一: 医薬品とグレープフルーツジュースの相互作用に関する添付文書中の記載状況についての調査研究

日本薬学会 第124回年会 (2004.3)

長谷川隆一, 平田睦子, 齋藤充生, 浦野 勉: スタチン系薬剤と他剤との臨床薬物動態相互作用の非臨床データからの予測性について

日本薬学会 第124回年会 (2004.3)

浦野 勉, 平田睦子, 齋藤充生, 長谷川隆一: 薬物代謝酵素チトクローム **P-450** の医薬品添付文書中における記載状況

日本薬学会 第124回年会 (2004.3)

鹿庭なほ子, 佐井君江, 斎藤嘉朗, 長谷川隆一, 白尾国昭^{*}, 南博信^{*}, 大津敦^{*}, 吉田輝彦^{*}, 西條長宏^{*}, 小澤正吾, 澤田純一: 日本人癌患者における塩酸イリノテカン及びその代謝物の母集団薬物動態

日本薬学会第124年会(2004.3)

* 国立がんセンター

杉山永見子, 金秀良, 花尻瑠理, 斎藤嘉朗, 石田誠一, 長谷川隆一, 米盛勸*, 上野秀樹*, 奥坂拓志*, 古瀬純司*, 石井浩*, 西條長宏*, 小澤正吾, 鹿庭なほ子, 澤田純一: ゲムシタピン薬物動態に及ぼす CDA 遺伝子一塩基多型 (SNP) の影響

日本薬学会第124年会(2004.3)

* 国立がんセンター

黒瀬光一, 頭金正博, 長谷川隆一, 佐伯真弓, 斎藤嘉朗, 越前宏俊¹, 家入一郎², 千葉寛³, 鹿庭なほ子: UGT1A1 遺伝子多型の人種差

日本薬学会第124年会(2004.3)¹ 明治薬科大学² 鳥取大学³ 千葉大学

井上 達: 化学物質リスク研究(評価)の将来課題.
平成15年度厚生労働科学研究(化学物質リスク研究発表会)シンポジウム ダイオキシンと健康影響(2004.2.2004.3)

Inoue, T.: **Breakout Group 1 Predictive Models for Identifying Potential Human Health Hazards.**

IPCS Workshop on toxicogenomics and the risk assessment of chemicals for the protection of Human health (2003.11)

Inoue, T.: **Mechanisms of benzene-induced hematotoxicity and leukemogenicity: cDNA microarray analyses using mouse bone marrow tissue.**

Chemical Safety Assessment: Contribution of Toxicological Pathology and Mechanistic Investigations (2003.10)

Inoue, T.: **The Next Step of the TOXICIGENOMICS - From forward to reverse, a predicting genomics -.**

Toxicogenomics International Forum, Korea (2003.10)

菅野 純: 分子標的と全遺伝子トキシコゲノミクス
がん分子標的治療研究会 (2003.9)

菅野 純: プロテオミクスとトキシコゲノミクスの現状と問題点 トキシコゲノミクスの現状
第30回日本トキシコロジー学会学術年会ワークショップ (2003.7)

吉田陽子¹, 山崎佳波¹, 旦慎吾¹, 中村知巳², 関万里子¹, 福井泰久³, 菅野純, 矢守隆夫¹, 中津則之: ヒト癌細胞パネルによる化合物の分子薬理・分子毒性の評価および抗癌剤感受性関連

第62回日本癌学会総会(2003.9)¹ 癌研究会癌化学療法センター² 東海大学医学部³ 東京大学農学生命科学研究科

菅野 純: トキシコゲノミクスの新展開

第26回日本学会議トキシコロジー研究連絡委員会シンポジウム (2003.12)

菅野純: IGS ラットを用いたトキシコゲノミクス
CD(SD)IGS 研究会 / 研究集会(2003.12)

Kanno, J.: Focusing on Toxicogenomics Research
The 3rd International Congress of Asian Society of Toxicology(ASIATOX III) (2004.3)

Kanno, J. Aisaki, K., Ono, A. and Igarashi, K.: Toxicogenomics using "percellome" and "mille-feuille" data system
The Joint International Meeting of The Japanese Society of Toxicologic Pathology (JSTP) and The International Federation of Societies of Toxicologic Pathology (IFSTP) including The International Academy of Toxicologic Pathology (IATP) (2004.2)

菅野 純: **Toxicogenomics の進捗**
第240回CBI学会研究講演会(2004.3)

Igarashi, K. and Kanno, J.: **Inappropriate activation of estrogen receptor in utero affects neural stem cell differentiation**
Keystone Symposia conference on Nuclear Receptors Steroid Sisters (2004.2)

小川幸男, 関田清司, 北嶋 聡, 斎藤 実, 内田雄幸, 松島裕子, 川崎 靖, 井上 達, 菅野 純: ガルシニア抽出物の安全性に関する研究 - ガルシニア抽出物のラットによる52週間投与毒性試験 -
第30回日本トキシコロジー学会学術年会(2003.7)

関田清司, 小川幸男, 北嶋 聡, 斎藤義明*, 永田伴子*, 井上達, 菅野 純: ガルシニア抽出物の安全性に関する研究 - 主成分ヒドロキシクエン酸のラットにおける精巢毒性の検討 -
第30回日本トキシコロジー学会学術年会(2003.7)
*(財)食品薬品安全センター秦野研究所

小川幸男, 斎藤 実, 菅野 純: N-ニトロソフェンフルラミンの毒性試験について
第40回全国衛生化学技術協議会年会 (2003.11)

高橋芳樹: 薬物代謝酵素の誘導と分子機構
第25回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (2003.11)

山本雅也, 松島裕子, 五十嵐勝秀, 井上達, 菅野純: 子宮におけるエストロゲン反応遺伝子の発現変化の継時的解析
日本薬学会第124年会 (2004.3)

相崎健一, 相沢 信¹, 濱田貴子², 岡田真一², 藤井寿一², 菅野 仁²: 赤芽球型ピルビン酸キナーゼ(r-pk)過剰発現によるR-PK欠損フレンド細胞のアポトーシス誘導修飾
第65回日本血液学会総会(2003.8)

¹ 日本大学医学部² 東京女子医科大学

相崎健一,菅野 純 :トキシコゲノミクスへの絶対量化手法の適用とその展望
日本学術振興会「ゲノムテクノロジー第 164 委員会」第 13 回研究会講演 (2003.11)

Kanno, H.* , Aisaki, A., Kanno, J., Hamada, T.* and Fujii H.* :
cDNA Microarray Analysis for Searching Candidate Genes Responsible for Apoptosis of Pyruvate Kinase Deficient Erythroid Cells

45th ASH Annual Meeting (2003.12)

* Tokyo Women's Medical University

Hirabayashi, Y., Yoshida, K.*1, Kodama, Y., Kanno, J., Kurokawa, Y., Yoshimura, I.*2, Inoue, T : **Methyl nitrosourea induces leukemogenesis with practical threshold in wild type mice whereas nonthreshold in p53 deficient mice.**

Society of Toxicology 43rd Annual Meeting & ToxExpo (2004.3)

*1 National Institute of Radiological Sciences

*2 Tokyo Univ. of Science

Hirabayashi, Y., Li, G.X., Yoon, B.I., Kawasaki, Y., Kodama, Y., Yodoi, J.* , Kanno, J. and Inoue, T: **Leukemia-Prevention in vivo-Model: Attenuation of Spontaneous and Benzene-Induced Thymic Lymphoma by Absorption of Reactive Oxygen Species (ROS) using Thioredoxin Over-Expression Mouse.**

6th Joint conference of the American Association for Cancer Research and the Japanese Cancer Association (2004.1)

* Kyoto Univ.

平林容子,李 光勳,尹 秉一,川崎 靖,淀井淳司*,菅野 純,井上 達 : **Thioredoxin/ADF による発がんの分子抑制には p53 の発現が必要である .**

第 26 回日本分子生物学会年会 (2003.12)

* 京都大学

Hirabayashi, Y., Li, G.X., Yoon, B.I., Kawasaki, Y., Kodama, Y., Kaneko, T., Yodoi, J.* , Kanno, J., Inoue, T: **Prevention of benzene-induced leukemogenesis by Trx/ADF requires of p53-expression.**

The 45th Annual Meeting of the American Society of Hematology (2003.12)

* Kyoto Univ.

Miyajima, A.*1, Minehata, K.-I.*1, Takeuchi, M.*1, Sekiguchi, T.*2, Hirabayashi, Y., Donovan, P.J.*3, Inoue, T., Hara, T.*4: **Role of oncostatin M for homeostasis of bone marrow hematopoiesis.**

The 45th Annual Meeting of the American Society of Hematology (2003.12)

*1 IMCB, The University of Tokyo

*2 Kyoto University

*3 Thomas Jefferson University

*4 The Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science

平林容子 : 生体異物応答と加齢研究 .

第 31 回老年者造血管疾患研究会 (2003.11)

平林容子,壺井 功,児玉幸夫,菅野 純,井上 達 : **コネクシン (Cx32) 不全マウス : コネクシン欠失造血前駆細胞に見られる低い骨髄再建能について .**

第 20 回日本疾患モデル学会 (2003.11)

Yoon, B.I., Li, G.X., Kitada, K.*1, Kawasaki, Y., Igarashi, K., Kodama, Y., Inoue, T.*1, Kobayashi, K.*1, Kanno, J., Kim, D.Y.*2, Inoue, T., Hirabayashi, Y: **Exploration of the hematotoxic mechanism of benzene based on the cDNA microarray analyses in the mouse bone marrow tissue.**

Toxicogenomics International Forum 2003 (2003.10)

*1 Kamakura Research Labs, Chugai Pharmaceutical, Co., Ltd.

*2 Seoul National University

Hirabayashi, Y: **Connexin (Cx) 32 knockout mice elucidate a role of Cx32** in the hemopoiesis: functions during the steady states, the recovery after chemical abrasion, and the leukemogenesis.**

The 3rd meeting on Pathology of Genetically Engineered Mice (2003.10)

李 光勳,平林容子,尹 秉一,川崎 靖,黒川雄二,淀井淳司*,菅野 純,井上 達 : **ワークショップ: Thioredoxin/ADF 過剰発現マウスにおける白血病頻度の低下とその発がん抑制分子機構**

第 62 回日本癌学会総会 (2003.9)

* 京都大学

平林容子,川崎 靖,淀井淳司*,李 光勳,尹 秉一,壺井功,菅野 純,井上 達 : **実験白血物の予防モデル: チオレドキシン過剰発現による ROS 消去を用いたベンゼン誘発白血物の抑制**

第 65 回日本血液学会総会 (2003.8)

* 京都大学

Hirabayashi, Y., Li, G.X., Yoon, B.I., Fujii-Kuriyama, Y.* , Kaneko, T., Kanno, J., Inoue, T: **AhR suppresses the hemopoiesis during the steady state but promotes acceleration of cell cycle as an early response: A study of AhR knockout mice.**

23rd International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (Dioxin 2003) (2003.8)

* TARA, Tsukuba Univ.

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Tsuboi, I., Huo, Y., Kodama, Y., Otto, T.*1, Kanno, J., Willecke, K.*1, Trosko, J.E.*2, Inoue, T: **Function of connexin 32 on leukemogenesis-revisited: Dual function of connexin 32, promotive of and protective against MNU-leukemogenesis.**

International Gap Junction Conference 2003 (2003.8)

*1 Bonn Univ.,

*2 Michigan State Univ.

平林容子 : **アリアルハイドロカーボン受容体 (AhR) と造血幹細胞のシグナルクロストーク**

第 4 回細胞病理談話会 (2003.8)

平林容子, 川崎 靖, 淀井淳司*, 李 光勳, 尹 秉一, 金子豊蔵, 黒川雄二, 長尾 拓, 菅野 純, 井上 達: 発がんの分子抑制: 酸化ストレス緩和モデルマウスによるベンゼン誘発白血病の抑制

第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

* 京都大学

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Kitada, K.*¹, Kawasaki, Y., Igarashi, K., Kodama, Y., Li, G.X., Kanno, J., Kim, D.Y.*², Inoue, T: **cdNA microarray analysis addressing the mechanisms of benzene-induced epigenetic and genotoxic changes.**

Gordon Research Conference "Toxicogenomics" (2003.6)

*¹ Kamakura Research Labs, Chugai Pharmaceutical, Co., Ltd.

*² Seoul National University

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Tsuboi, I., Huo, Y., Kodama, Y., Otto, T.*¹, Kanno, J., Willecke, K.*¹, Trosko, J.E.*², Inoue, T: An intercellular gap junctions, Connexin 32 (Cx32), and hemopoiesis: implication of MNU-induced leukemogenesis in the Cx32 knockout mice.

1st ISSCR annual meeting (2003.6)

*¹ Bonn Univ.,

*² Michigan State Univ.

Takagi A., Hirose A., Hirabayashi Y., Kaneko T., Ema M., and Kanno J. : **Assessment of the cleft palate induction by seven PCDD/F congeners in the mouse fetus**

The 23 rd International symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (2003.8)

Kitajima, S., Miyagawa-Tomita, S*¹, Takahashi, Y., Inoue, T., Kanno, J. and Saga, Y.*²: MesP1 and MesP2 are essential for the cardiogenesis in mice.

The 1st International Symposium on Developmental Biology and Tissue Engineering (2003.3)

*¹ 東京女子医大

*² 国立遺伝学研究所

北嶋 聡, 富田幸子*¹, 高橋 雄, 井上 達, 菅野 純, 相賀裕美子*²: 転写因子 MesP1 および MesP2 の心臓中胚葉における役割

第36回日本発生生物学会 (2003.6)

*¹ 東京女子医大

*² 国立遺伝学研究所

北嶋 聡, 富田幸子*¹, 菅野 純, 井上 達, 相賀裕美子*²: シンポジウム「心臓大動脈を形づくる細胞の起源とその細胞分化」: マウス心臓中胚葉形成に必須な転写因子 MesP1, MesP2

第26回日本分子生物学会 (2003.12)

*¹ 東京女子医大

*² 国立遺伝学研究所

石川亜紀, 北嶋 聡, 小久保博樹*¹, 相賀裕美子*¹: マウス体節形成過程において機能する新規遺伝子の探索およびその発現解析

第26回日本分子生物学会 (2003.12)

*¹ 国立遺伝学研究所

Takahashi, Y., Inoue, T., Kanno, J. and Saga, Y.*¹: **Genetic dissection of Notch signaling pathways in somite patterning**

The 1st International Symposium on Developmental Biology and Tissue Engineering (2003.3)

*¹ 国立遺伝学研究所

高橋 雄, 北嶋 聡, 井上 達, 菅野 純, 相賀裕美子*¹: 転写因子 Mesp1, Mesp2 は体節中胚葉の上皮化に細胞自律的に関与する

第36回日本発生生物学会 (2003.6)

*¹ 国立遺伝学研究所

高橋 雄, 別所康全*¹, 影山龍一郎*¹, 菅野 純, 相賀裕美子*²: 体節形成における分子時計の振動に対する Notch リガンド Dll1, Dll3 の役割

第26回日本分子生物学会 (2003.12)

*¹ 京大・ウイルス研・増殖制御

*² 国立遺伝学研究所

安彦行人, 原口 清輝*¹, 北嶋 聡, 菅野 純, 相賀裕美子*²: 体節形成に関わる転写因子 Mesp2 の発現制御機構の解析

第26回日本分子生物学会 (2003.12)

*¹ 滋賀医科大・微生物

*² 国立遺伝学研究所

浅野和信*, 立木里奈*, 小野 敦, 橋本せつ子*, 井上 達, 菅野 純: 表面プラズモン共鳴センサーを用いる内分泌攪乱化学物質スクリーニング法

第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

* ピアコア株式会社

Hashimoto, S.* Tsuiki, R.* Asano, K.* and Ono, A. : **Rapid in vitro screening assay for endocrine disruptors using SPR sensor**

第76回日本生化学会大会 (2003.10)

* Biacore K.K.

橋本せつ子*, 浅野和信*, 立木里奈*, 小野 敦, 井上 達, 菅野 純: 表面プラズモン共鳴センサーを用いた迅速内分泌かく乱物質スクリーニング法

環境ホルモン学会 第6回研究発表会 (2003.12)

* ピアコア株式会社

Ono, A., Kanno, J. : The analysis of dynamics of ER at ligand dependent gene transcription using bio-sensor

Keystone symposia: Nuclear Receptors, Steroid systems (2004.2)

大野泰雄: 最近の非臨床試験ガイドラインの動向_特に急性毒性試験と in vitro 代替法について

安全性評価研究会 2003年春のセミナー (2003.5)

大野泰雄: ヒト組織を用いた研究 (肝臓を中心に)

昭和大学特別講演 (2003.5)

大野泰雄：ヒト組織を利用した試験
医薬品機構講演 (2003.5)

大野泰雄：安全性試験の代替法としての **In vitro** 試験 - 特に
医薬品開発における応用
安全性評価研究会 (2003.8)

大野泰雄，近年の代替試験法の開発とその受け入れ状況
化学物質点検推進連絡協議会 (2003.9)

上川雄一郎^{*}，渋川朝子^{*}，内田幸介^{*}，佐々木欣郎^{*}，砂川正勝^{*}，
大野泰雄：手術摘出ヒト大腸平滑筋の薬理学的反応性を
指標とした凍結保存方法の検討。

第 45 回日本平滑筋学会総会 (2003.7)

^{*} 獨協医科大学

松本茂樹¹，大西修平¹，山田泰弘²，中村明生³，馬場隆彦⁴，
桐田史朗⁴，嶋田薫⁵，村瀬茂夫⁵，名淵義明⁶，中川俊人⁶，
朝日知⁷，館林智子⁸，二宮真一⁹，酒見和枝，大野泰雄：代謝
研究のためのヒト肝細胞のバリデーション (8) 非凍結ヒ
ト肝細胞を用いた CYP1A 酵素の誘導法の検討，

第 18 回薬物動態学会 (2003.10.8)

¹ 持田製薬

² 田辺製薬

³ 日本新薬

⁴ 塩野義

⁵ ファイザー

⁶ 中外製薬

⁷ 武田薬品

⁸ 明治製菓

⁹ 第一化学

糸川健一¹，岡崎 治¹，嶋田 薫²，高島忠之³，山田泰弘³，
森田繁道⁴，寺内嘉章⁵，中村明生⁶，安盛俊雄⁷，簾内桃子，
大野泰雄：代謝研究のためのヒト肝細胞のバリデーション
(9) CYP2D6 PM/EM 凍結ヒト肝細胞を用いたデキストロ
メトルファン^{*}の代謝評価

第 18 回薬物動態学会 (2003.10.8)

¹ 第一製薬，

² ファイザー，

³ 田辺，

⁴ アベンティス ファーマ，

⁵ 大日本，

⁶ 日本新薬，

⁷ 萬有

大野泰雄：加速器質量分析 (AMS) 法によるヒトでのマスバ
ランス試験実施にむけて，フォーラム 2002 のまとめ，第 18
回日本薬物動態学会 (2003.10)

大野泰雄：リスクアセスメントの現状と展望：レギュラト
リーサイエンスへの係わり，環境汚染物質の立場からーダイ
オキシン

日本環境変異原学会 (2003.11)

大野泰雄：動物実験代替法の国際情勢と我が国の取り組み

日本学会会議トキシコロジー研連講演会 (2003.12)

大野泰雄：健康増進時代における健康食品の今後の展望に
ついて，「健康食品」に求められる科学的根拠について
健康食品フォーラム (2004.2)

Ohno, Y.: **In vitro drug metabolism and interaction evalua-
tion: Drug administration prospects.**

2004 International Workshop on In Vitro Drug Metabolism and
Interaction Evaluation (2004.3)

大野泰雄：「動物実験代替法研究の重要性とその問題点」日
本薬理学会シンポジウム「薬理学における代替動物実験の
展開」

第 77 回日本薬理学会総会 (2004.3)

小泉修一，宮竹真由美^{*}，藤下加代子，井上和秀：アストロサ
イトからの自発的 ATP による細胞内シグナル調節
ATP 研究会 (2003.8)

^{*} 星薬科大学

多田 薫，小泉修一，井上和秀：P2Y₁₂ 受容体を介するミク
ログリアのケモタキシスとインテグリン 1 集積
ATP 研究会 (2003.8)

Koizumi, S.: **Glia-to-neuron communication by ATP-mediated
Ca²⁺-waves**

Ca²⁺ symposium (2003.9)

Koizumi, S., and Inoue, K.: **Regulation by astrocytic ATP of
synaptic transmission.**

Purinergic Meeting (2003.11)

Koizumi, S., and Inoue, K.: **Bi-directional regulation of neu-
ronal activities by extracellular ATP.** (シンポジウム)

日本神経化学会 (2003.9)

小泉修一：アストロサイトによるダイナミックなシナプス
伝達制御 - 細胞外 ATP の関与 - (奨励賞受賞シンポジウム)
日本神経化学会 (2003.9)

小泉修一，津田誠，井上和秀：Investigation of mechanical
allodynia - analysis by a DNA array and behavior - (シンポ
ジウム)

日本生化学会 (2003.10)

Koizumi, S., Miyatake, M.^{*}, Tsuda, M., and Inoue, K.: **Tonic
regulation of glial intracellular signaling by ATP derived from
astrocytes**

Society for Neuroscience 32nd Annual Meeting (2003.11)

^{*} 星薬科大学

小泉修一，藤下加代子，井上和秀：自発的 ATP 放出による，
アストロサイトのシグナル伝達制御 (シンポジウム)
グリア研究会 (2003.11)

小泉修一, 井上和秀: 自発的 ATP 放出によるアストロサイトのシグナル伝達制御
クロマフィン研究会 (2004.1)

Koizumi, S., Miyatake, M.*, Fujishita, K., Tsuda, M., Narita, M.*, Suzuki, T.*, and Inoue, K.: **Spontaneous "gliotransmission" by ATP causes switching-over of intracellular signaling-cascades in cultured hippocampal astrocytes.**

日本薬理学会 (2004.3)

* 星薬科大学

Nasu-Tada, K., Koizumi, S., Himaki, D., Kunifusa, E., Inoue, K.: **Two extracellular matrix molecules, fibronectin and laminin, are up-regulated following sciatic nerve injury and they increase P2X4 expression in microglia.**

日本薬理学会 (2004.3)

Nakajima, R.*, Koizumi, K., Inoue, K., Kudo, Y.*: **Regulation of synaptic transmission in hippocampus by ATP from astrocyte.**

日本薬理学会 (2004.3)

* 東京薬科大学

中澤憲一: P2X 受容体の構造と機能

第26回日本神経科学大会シンポジウム (2003.7)

中澤憲一, 生島裕恵, 大野泰雄: アフリカツメガエル卵母細胞発現系を利用したヒトおよびラット受容体タンパク質の研究

第17回日本動物実験代替法学会 (2003.11)

Sato, K., Matsuki, N.*, Nakazawa, K., Ohno, Y.: **Estrogens inhibit L-glutamate uptake activity of astrocytes via membrane estrogen receptor** 33rd Annual Meeting, Society for Neuroscience (2003.11)

* 東京大学薬学部

中澤憲一, 山越葉子, 生島裕恵, 土屋利江, 大野泰雄: P2X2 受容体タンパク質の調製および原子間力顕微鏡による観察

第77回日本薬理学会年会 (2004.3)

佐藤 薫, 松木則夫*, 中澤憲一, 大野泰雄: エストロゲンによるアストロサイトグルタミン酸トランスポーター阻害作用のメカニズム

第77回日本薬理学会年会 (2004.3)

* 東京大学薬学部

生島裕恵, 中澤憲一, 野澤(石井)玲子*, 竹内幸一*, 大野泰雄: P2X2 受容体の ATP 反応性に対する細胞内システイン残基の役割

第77回日本薬理学会年会 (2004.3)

* 明治薬科大学薬学部

赤石樹泰, 中澤憲一, 佐藤 薫, 齋藤洋*, 大野泰雄, 伊藤芳久*: 脂質過酸化由来物質 4-hydroxynonenal がラット歯状回顆粒細胞のホールセル Ca²⁺ 電流に及ぼす影

第77回日本薬理学会年会 (2004.3)

* 日本大学薬学部

簾内桃子, 酒見和枝, 窪田敬一^{*1}, 上川雄一郎^{*1}, 内田幸介^{*1}, 繁原英治^{*2}, 藤崎 浩^{*3}, 大野泰雄: 代謝研究のためのヒト肝細胞のバリレーション(10)手術摘出肝臓片からの遊離ヒト肝細胞調製の現状

第18回日本薬物動態学会 (2003.10)

^{*1} 獨協医科大学

^{*2} 三共株式会社 薬剤動態研究所

^{*3} 三菱ウェルファーマ 薬物動態研究所

小澤正吾: 日本人における疾病感受性遺伝子および薬物反応性遺伝子の多型

第18回日本薬物動態学会 (2003.10)

石田誠一, 重本-最上由香里, 篠崎陽一, 影近弘之*, 首藤純一, 小澤正吾, 澤田純一, 大野泰雄, 井上和秀: 網羅的遺伝子解析による all-trans Retinoic Acid と Am80 の差異の解析

日本レチノイド研究会第14回学術集会 (2003.11)

* 東京大学大学院薬学系研究科

宮島敦子, 簾内桃子, 酒見和枝, 大野泰雄: 尿素系農薬 Linuron のヒト培養肝細胞における薬物代謝酵素に及ぼす影響

日本薬学会第124年会 (2004.3)

金秀良, 中村隆広, 斎藤嘉朗, 佐井君江, 中島敏治^{*1}, 斎藤博久^{*1}, 白尾国昭^{*2}, 南博信^{*2}, 大津敦^{*2}, 吉田輝彦^{*2}, 西條長宏^{*2}, 小澤正吾, 澤田純一: 日本人における CES2 遺伝子の一塩基多型の同定

日本薬学会第124年会 (2004.3)

^{*1} 国立成育医療センター

^{*2} 国立がんセンター

八幡紋子, 金秀良, 斎藤嘉朗, 久保崇, 中島由起子, 香取典子, 大野泰雄, 松本宜明*, 小澤正吾, 澤田純一: チミジル酸合成酵素遺伝子の5'-非翻訳領域におけるくり返し配列多型

日本薬学会第124年会 (2004.3)

* 昭和薬科大学

本郷有克*, 梶河真理子*, 石田誠一, 小澤正吾, 大野泰雄, 澤田純一, 梅沢彰*, 石川陽一*: 高密度 3次元培養時におけるヒト肝ガン由来細胞 HepG2 の機能評価

第三回日本再生医療学会総会 (2004.3)

* エイブル株式会社

宇佐見誠, 大野泰雄: 培養ラット胚における補体成分 C3 の胚栄養因子活性と卵黄囊膜への結合に関する研究

第43回日本先天異常学会学術集会 (2003.7)

酒見和枝, 簾内桃子, 宮島敦子, 大野泰雄: ゴム老化防止剤 2-Mercaptomethylbenzimidazole の非凍結ヒト肝細胞における薬物代謝酵素に及ぼす影響

第18回日本薬物動態学会 (2003.10)

紅林秀雄, 大野泰雄: 除草剤 prometryn および ametryn の

ヒト肝ミクロソームにおける代謝
日本薬学会第124年会(2004.3)

広瀬雅雄, 今井俊夫: 臓器障害時における amitrole の DHPN
ラット甲状腺発がん修飾作用
第92回日本病理学会総会(2003.4)

西川秋佳, 広瀬雅雄: レポーター遺伝子導入マウスによる
MeIQx の変異原性・発がん性検索
第92回日本病理学会総会(2003.4)

渋谷 淳: マイクロダイセクション法によりパラフィン包埋組織切片から採取された微量組織での遺伝子解析について - メタカーン固定法の利用 -
実験病理組織技術研究会・第10回記念総会(2003.6)

広瀬雅雄: 発がん性の問題点: 実験的立場から
日本食品化学学会第9回総会・学術大会(2003.6)

広瀬雅雄, 小野瀬淳一, 蓮村麻衣, 今井俊夫: 腫瘍性病変を指標としたラット中期発がん試験法の開発
第10回日本がん予防研究会(2003.6)

西川秋佳, 小出彰宏*, 梅村隆志, 広瀬雅雄, 森 幸雄*: タバコ煙による CYP 分子種の誘導と変異原物質の活性化
第10回日本がん予防研究会(2003.6)
*岐阜薬科大学

北村泰樹, 山岸 恵, 岡崎和志, 神吉けい太, 梅村隆志, 今沢孝喜, 西川秋佳, 広瀬雅雄: PhIP 誘発ラット乳腺発がんに対する tracheloside の修飾効果
第10回日本がん予防研究会(2003.6)

Hirose, M.: **Japan's Reaction to the Acrylamide in Foods Issue and Key Research Effort on Prevention of Acrylamide-induced Neuro and Reproductive Toxicities in Rats.**
The 1st International Symposium on Current Acrylamide Issue in Food. (2003.8)

Hirose, M., Imai T., Mitsumori, K., Kasai, H. and Wakabayashi, K.: **Carcinogenicity of Kojic acid in Rodents.**
International Symposium of Mycotoxicology in Kagawa 2003. (2003.11)

渋谷 淳, 井上弘子, 高木広憲, 加藤奈津美, 李 京烈, 有村卓朗, 畝山智香子, 瀧上 周, 広瀬雅雄: 非遺伝子傷害性肝発がん物質を長期間投与したラット肝臓での発現変動遺伝子のプロファイリング
文部科学省特定領域研究「発がんと防御」蓼科「個体レベル」若手ワークショップ(2004.1)

広瀬雅雄: 食品中化学物質の安全性評価をめぐる課題
厚生労働科学シンポジウム(2004.1.2)

Masao Hirose: Prevention of Acrylamide Induced Toxicity in Rats
Joint International Meeting of the JSTP/IFSTP (IATP)(2004.2)

Nishikawa, A., Hirose, M.: **Symposium S1-1-2 Analysis of reporter genes for the molecular mechanisms underlying chemical carcinogenesis**
Joint International Meeting of the 20th JSTP and the 5th IFSTP (2004.2)

Kanki, K., Nishikawa, A., Masumura, K., Umemura, T., Imazawa, T., Kitamura, Y., Nohmi, T., Hirose, M.: **Specific in vivo mutational spectra of genotoxic and non-genotoxic hepatocarcinogens in gpt delta transgenic rats**
Joint International Meeting of the 20th JSTP and the 5th IFSTP (2004.2)

Kitamura, Y., Okazaki, K., Nishikawa, A., Kanki, K., Umemura, T., Imazawa, T., Hirose, M.: **Enhancing effects of combined treatment with IQ and sodium nitrite on colon and liver carcinogenesis in rats**
Joint International Meeting of the 20th JSTP and the 5th IFSTP (2004.2)

Umemura, T., Kodama, Y., Kanki, K., Kitamura, Y., Imazawa, T., Nishikawa, A., Hirose, M.: **The mouse rasH2/BHT model as an in vivo rapid assay for lung carcinogens**
Joint International Meeting of the 20th JSTP and the 5th IFSTP (2004.2)

Shibutani, M., Lee, K.-Y., Takagi, H., Kato, N., Takigami, S., Hirose, M.: **Methacarn, a versatile fixation tool for quantitative mRNA expression analysis in microdissected paraffin-embedded tissues using real-time RT-PCR and microarray systems.**
IFSTP-JSTP Joint Meeting(2004.2)

Lee, K.-Y., Shibutani, M., Takagi, H., Kato, N., Takigami, S., Hirose, M.: **Region-specific global gene expression analysis in the microdissected hypothalamic medial preoptic area of rat neonates exposed perinatally to di(2-ethylhexyl)phthalate.**
IFSTP-JSTP Joint Meeting(2004.2)

Imai, T., Hasumura, M., Onose, J., Ueda, M., Takizawa, T., Cho, Y.M., Hirose, M.: **Constitutive expression of cox-2 in thyroid follicular epithelial cells and its significant reduction during DHPN-induced carcinogenesis in rats**
Joint International Meeting of the 20th JSTP and the 5th IFSTP (2004.2)

Cho, Y.M., Onose, J., Imai, T., Hasumura, M., Ueda, M., Hirose, M.: **A new medium-term bioassay system for the detection of colon carcinogenesis modifiers**
Joint International Meeting of the 20th JSTP and the 5th IFSTP (2004.2)

広瀬雅雄: 組換え DNA 食品遺伝子産物の慢性経口毒性評価モデルの確立
創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業(第II期)研究成果発表会(2004.3)

広瀬雅雄：発がん性化学物質のリスク評価上の問題点 - 発がん性の立場から -

第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

梅村隆志, 神吉けい太, 北村泰樹, 今沢孝喜, 長谷川隆一, 西村哲治, 西川秋佳, 廣瀬雅雄: 臭素酸カリウムのラット腎発がん過程に対する酸化ストレスの関与

第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

渋谷 淳, 井上弘子, 高木広憲, 加藤奈津美, 李 京烈, 有村卓朗, 畝山智香子, 瀧上 周, 広瀬雅雄: 非遺伝子傷害性肝発がん物質を長期間投与したラット肝臓での発現変動遺伝子のプロファイリング

第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

瀧澤 保, 今井俊夫, 上田 誠, 小野瀬淳一, 蓮村麻衣, 広瀬雅雄: Amitrole によるラット甲状腺発がん促進作用に対する臓器障害の影響

第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

小野瀬淳一, 今井俊夫, 蓮村麻衣, 上田 誠, 瀧澤 保, 広瀬雅雄: 消化管障害モデルラットを用いた Bt 蛋白の経口投与毒性試験

第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

梅村隆志, 北村泰樹, 神吉けい太, 今沢孝喜, 西川秋佳, 広瀬雅雄: 臭素酸カリウム (KBrO₃) ラット腎発がん機構の解析

第18回発癌病理研究会 (2003.8)

北村泰樹, 岡崎和志, 西川秋佳, 神吉けい太, 梅村隆志, 今沢孝喜, 広瀬雅雄: IQ 及び亜硝酸ナトリウム併用投与によるラット大腸・肝発がんの増強作用

第62回日本癌学会総会 (2003.9)

今沢孝喜, 西川秋佳, 梅村隆志, 北村泰樹, 神吉けい太, 広瀬雅雄: D-xylose による F344 ラット自然発生腫瘍の抑制

第62回日本癌学会総会 (2003.9)

李 仁善*, 金 賢貞*, 朴 貞現*, 李 智媛*, 俞 美妃*, 西川秋佳: 韓国産虎杖根による胃癌細胞における遺伝毒性の誘導

第62回日本癌学会総会 (2003.9)

* 韓国啓明大学

西川秋佳, 増村健一, 神吉けい太, 梅村隆志, 広瀬雅雄, 能美健彦: 自然およびDMN誘発の突然変異に及ぼす加齢の影響

第62回日本癌学会総会 (2003.9)

梅村隆志, 児玉幸夫, 神吉けい太, 北村泰樹, 今沢孝喜, 西川秋佳, 広瀬雅雄, 黒川雄二*: 遺伝毒性肺発がん物質早期検出系 (rasH2/BHT モデル) の確立 - 既知肺発がん物質を用いた検討

第62回日本癌学会総会 (2003.9)

* 佐々木研究所

神吉けい太, 西川秋佳, 増村健一, 梅村隆志, 今沢孝喜, 北村泰樹, 能美健彦, 広瀬雅雄: gpt delta ラットにおける肝発がん物質の in vivo 変異原性の比較

第62回日本癌学会総会 (2003.9)

小出彰宏*, 森 幸雄*, 古川文夫, 広瀬雅雄, 西川秋佳: シガレット煙 (CS) による代謝活性化の促進作用

第62回日本癌学会総会 (2003.9)

* 岐阜薬科大学

今井俊夫, 蓮村麻衣, 小野瀬淳一, 上田 誠, 瀧澤 保, 曹 永晩, 広瀬雅雄: DHPN 誘発ラット甲状腺発がん過程における COX-2 の発現低下

第62回日本癌学会総会 (2003.9)

曹 永晩, 今井俊夫, 蓮村麻衣, 小野瀬淳一, 上田 誠, 広瀬雅雄: Ethinyl estradiol の乳幼児期投与によるラット甲状腺および乳腺発がん修飾作用

第62回日本癌学会総会 (2003.9)

蓮村麻衣, 上田 誠, 小野瀬淳一, 曹 永晩, 今井俊夫, 広瀬雅雄: Arctiin の DMBA ラット乳腺発がんに対する修飾作用

第62回日本癌学会総会 (2003.9)

小野瀬淳一, 蓮村麻衣, 曹 永晩, 瀧澤 保, 今井俊夫, 広瀬雅雄: 消化管障害時における Amitrole の DHPN ラット甲状腺発がん修飾作用

第62回日本癌学会総会 (2003.9)

Kim, H-J.^{*1}, Park, J-H.^{*1}, Chung, D-H.^{*2}, Nishikawa, A., Lee, I-S.^{*1}: **Development of fluorescence polarization immunoassay based on monoclonal antibodies for the detection of ochratoxin A in medicinal herb**

The 3rd International Conference on Food Factors (2003. 12)

^{*1} 韓国啓明大学

^{*2} 韓国慶尚大学

Lee, S.*, Nishikawa, A., Im, H-G.*, Lee, I-S.*: **Induction of the phase 2 anticarcinogenic maker enzymes in murine hepatoma cells by wild vegetables produced in Ullung Island, Korea**

The 3rd International Conference on Food Factors (2003. 12)

* 韓国啓明大学

Yu, M-H.*, Lee, J-W.*, Nishikawa, A., Lee, I-S.*: **Apoptosis induction by immature fruits of Prunus salicina, Beauty, in human breast cancer MDA-MB-231 cells**

The 3rd International Conference on Food Factors (2003. 12)

* 韓国啓明大学

Nishikawa, A.: **Symposium 9. Risk assessment of food additives. JECFA evaluation of food additives**

The 3rd International Congress of Asian Society of Toxicology (2004.2)

西川秋佳: 特別講演・食品中内分泌攪乱因子の発がんへの影響と研究の動向

金沢医科大学ハイテクリサーチセンター公開シンポジウム・生殖機能に及ぼすダイオキシン等の外因性内分泌攪乱因子の影響 (2004.3)

Nishikawa, A., Kanki, K., Umemura, T., Imazawa, T., Kitamura, Y., Masumura, K., Nohmi, T., Hirose, M.: **In vivo mutational spectrum of the hepatocarcinogens IQ, NPYR and DEHP**
The 95th Annual Meeting of American Association for Cancer Research (2004.3)

Shibutani, M., Lee, K.-Y., Takagi, H., Kato, N., Takigami, S., Hirose, M.: **Region-specific global gene expression analysis in the microdissected hypothalamic medial preoptic area of rat neonates injected with estradiol benzoate or flutamide.**
43th Annual Meeting of Society of Toxicology (2004.3)

Lee, K.-Y., Shibutani, M., Takagi, H., Kato, N., Takigami, S., Hirose, M.: **Dose-dependent global gene expression analysis in the microdissected hypothalamic medial preoptic area of rat neonates exposed perinatally to ethinylestradiol.**
43th Annual Meeting of Society of Toxicology (2004.3)

Imai, T., Hasumura, M., Onose, J., Ueda, M., Takizawa, T., Cho, Y.M., Hirose, M.: **Reduction of COX-2 expression in thyroid follicular epithelial cells during DHPN-induced carcinogenesis in rats**
43rd Annual Meeting of Society of Toxicology (2004.3)

林 真: 発がん性化学物質のリスク評価上の問題点 - 遺伝毒性試験の立場から
第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

Hayashi, M.: **Advantages and limitations of micro-nucleus assay-validation studies on *in vivo* micro-nucleus assay using other than haemopoietic cells-**
6th International Symposium on Chromosomal Aberrations (2003.9)

Hayashi, M.: ***In vivo* micronucleus assay- historical review and current improvement -**
Korean Society of Toxicology (2003.10)

Suzuki, H.^{*1}, Ikeda, N.^{*2}, Terashima, Y.^{*3}, Shimada, Y.^{*4}, Saito, Y.^{*5}, Tanaka, J.^{*6}, Hayashi, M.: **Hepatocyte micronucleus assay in young rats: Validation with rodent hepatocarcinogens (2)**
日本環境変異原学会第32回大会 (2003.11)

^{*1} イナリサーチ (株)

^{*2} 花王株式会社

^{*3} キッセイ薬品工業株式会社

^{*4} 第一製薬株式会社

^{*5} 三菱化学安全科学研究所

^{*6} 食品農医薬品安全性評価センター

Ueda, T.^{*1}, Takase, K.^{*1}, Takai, A.^{*2}, Hayashi, M.: **Preliminary study of micronucleus test using zebra fish**
日本環境変異原学会第32回大会 (2003.11)

^{*1} 宇都宮大学

^{*2} 大阪信愛女学院短期大学

林 真: 代替法開発の現状と今後の展望 - 小核試験
第17回日本動物実験代替法学会 (2003.11)

Hayashi, M.: ***In vitro* and *in vivo* mutagenicity and cytotoxicity tests-Newly development of *in vivo* micronucleus assay**
ASIATOX III (2004.2)

Hayashi, M.: **Strategy for safety assessment of food and related chemicals based on genotoxicity assay data**
International Symposium on "Risk Assessment Strategy in Genotoxicity of Food and Related Substances" (2004.2)

Hayashi, M.: **Regulatory perspective on data gaps in Japan**
HESI Workshop on DNA Adducts: Biological Consequences and Application to Risk Assessment (2004.4)

Honma, M., Izumi, M.^{*}, Sakuraba, M., Tadokoro, S., Sakamoto, H., Wang, W., Yatagai, F.^{*}, and Hayashi, M.: **Deletion, rearrangement, and gene conversion; the genetic consequences of chromosomal double-strand breaks in human cells.**
European Environmental Mutagen Society 33rd Annual Meeting (2003.8)

^{*} 理化学研究所

Moore, M.M.^{*} and Honma, M.: **Measures of cytotoxicity in the Mouse Lymphoma Assay (MLA): Implications for data comparison with *in vitro* cytogenetic assays**
European Environmental Mutagen Society 33rd Annual Meeting (2003.8)

^{*} NCTR, U.S. FDA

Honma, M.: **DNA double strand break repair and chromosomal instability in mammalian cells**
46th Annual Meeting of Japan Radiation Research Society (2003.10)

本間正充, 泉 雅子^{*}, 桜庭真弓, 田所 聡, 坂本浩子, 王文晟, 谷田貝文夫^{*}, 林 真: **Targeted Mutagenesisによるヒトゲノム中のDNA2本鎖切断修復の解析**
日本環境変異原学会第32回大会 (2003.11)

^{*} 理化学研究所

坂本浩子, 本間正充, 羽倉昌志^{*}: ヒト細胞を基礎とした新しい*in vitro* 遺伝毒性評価系の構築: ヒトS9の適応 (JEMS/MMS 第2回ヒト細胞共同研究)
日本環境変異原学会第32回大会 (2003.11)

^{*} エーザイ (株)

Honma, M.: **The fate of DNA double strand break (DSBs) in human cells**
11th Annual Meeting of Chinese Environmental Mutagen Society (2003.11)

本間正充：ほ乳類細胞における DNA2 本鎖切断と、遺伝的不安定性
第 26 回日本分子生物学会年会 (2003.12)

本間正充：ヒト細胞における染色体 DNA2 本鎖切断の運命
横浜市立大学木原生物学研究所セミナー「核機能とクロマチンダイナミクス」(2004.3)

能美健彦：Yファミリー DNAポリメラーゼの作る分子多様性
第 5 回日本進化学会福岡大会 (2003.8)

Masumura K., Hoshino M., Yatagai F.^{*1}, Ochiai M.^{*2}, Ueda O.^{*3}, Suzuki H.^{*3,4}, Nakagama H.^{*2}, Nohmi T.: **Non-homologous end-joining in X-ray-irradiated *scid/gpt delta* transgenic mouse**
Gordon Research Conferences: Genetic toxicology (2003.8)

^{*1} 理化学研究所

^{*2} 国立がんセンター研究所

^{*3} 中外製薬

^{*4} 帯広畜産大学

Yamada, M., Kim, S.-R., Kokubo, K.^{*1}, Matsui, K., Yamada, N.^{*2}, Kanke, Y.^{*1}, Fukuoka, M.^{*2} and Nohmi, T.: **Light-dependent generation of reactive oxygen species from benzo[a]pyrene is mediated via its DNA adduct(s)**

European Environmental Mutagen Society, 33rd Annual Meeting (2003.8)

^{*1} 大妻女子大・院

^{*2} 昭和薬科大学

柴田淳史^{*1,2,3}, 鎌田宣夫^{*4}, 増村健一, 能美健彦, 小林静子^{*2}, 寺岡弘文^{*3}, 中釜 斉^{*1}, 杉村 隆^{*1}, 鈴木宏志^{*4,5}, 益谷美都子^{*1}: **Parp-1 欠損マウスにおける *in vivo* 突然変異解析**
日本癌学会 62 回総会 (2003.9)

^{*1} 国立がんセンター研究所

^{*2} 共立薬科大学

^{*3} 東京医科歯科大学

^{*4} 中外製薬

^{*5} 帯広畜産大学

麻見安雄, 村上正弘^{*1}, 早田 勇^{*1}, Pisani F.M.^{*1}, 能美健彦: 原子力間顕微鏡を用いた DNA ポリメラーゼによる損傷塩基認識機構の解析

日本放射線影響学会第 46 回大会 (2003.10)

^{*1} 放射線医学総合研究所

^{*2} イタリア CNR・蛋白質生化学研究所

橋本顯子^{*}, 天沼喜美子^{*}, 田村憲治^{*}, 増村健一, 能美健彦, 青木康展^{*}: ディーゼル曝露 *gpt delta* トランスジェニックマウスの肺に生じた突然変異スペクトルの解析

フォーラム 2003: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2003.10)

^{*} 国立環境研究所

Nohmi, T.: **Y-family DNA polymerases and their roles in oxidative mutagenesis**

Istituto Superiore di Sanita, Italy (2003.10)

Kim, S.-R., Matsui, K., Yamada, M., Kohno, T.^{*1}, Kasai, K.^{*2}, Yokota, J.^{*1} and Nohmi, T.: **Suppression of chemically-induced oxidative mutagenesis by three alleles of human *OGG1* gene encoding 8-hydroxyguanine DNA glycosylase**

8th International Conference on Mechanisms of Antimutagenesis and Anticarcinogenesis (2003.10)

^{*1} 国立がんセンター研究所

^{*2} 産業医科大学・産業生態科学研究所

Nohmi, T.: **Oxidative mutagenesis and Y-family DNA polymerases**

Istituto di Biochimica delle Proteine, CNR, Italy (2003.10)

落合雅子^{*1}, 瀬尾友子^{*1}, 上田乙也^{*2}, 鈴木宏志^{*2}, 増村健一, 能美健彦, 杉村 隆^{*1}, 中釜 斉^{*1}: 自然発生及び azoxymethane 誘発の欠失型突然変異に *scid* 変異が及ぼす影響

日本環境変異原学会第 32 回大会 (2003.11)

^{*1} 国立がんセンター研究所

^{*2} 中外製薬

橋本顯子^{*1}, 天沼喜美子^{*1}, 日吉孝子^{*1,2}, 高野裕久^{*1}, 増村健一, 能美健彦, 青木康展^{*1}: **Benzo[a]pyrene および 1,6-dinitropyrene 投与 *gpt delta* トランスジェニックマウスの肺に生じた突然変異スペクトルの解析**

日本環境変異原学会第 32 回大会 (2003.11)

^{*1} 国立環境研究所

^{*2} 筑波大学

竹入章^{*}, 三島雅之^{*}, 田中健司^{*}, 原田麻子^{*}, 新倉博文^{*}, 麻生良典^{*}, 増村健一, 能美健彦: *gpt delta* L1 細胞において mitomycin C により誘発された変異の解析

日本環境変異原学会第 32 回大会 (2003.11)

^{*} 中外製薬

増村健一, 松井恵子, 山田雅巳, 能美健彦: アルキル化 DNA 損傷修復欠損サルモネラ株を用いたニトロソ化合物の突然変異誘発機構の解析

日本環境変異原学会第 32 回大会 (2003.11)

山田雅巳, 松井恵子, 金 秀良, 小久保清子^{*1}, 菅家祐輔^{*1}, 山田典代^{*2}, 福岡正道^{*2}, 能美健彦: **Benzo[a]pyrene の DNA 付加体が可視光により活性化されて活性酸素を生じる機構について**

日本環境変異原学会第 32 回大会 (2003.11)

^{*1} 大妻女子大・院

^{*2} 昭和薬科大学

小久保清子^{*}, 山田雅巳, 松井恵子, 菅家祐輔^{*}, 能美健彦: Ames 試験菌株における DNA ポリメラーゼ破壊株の各種変異原に対する感受性

日本環境変異原学会第 32 回大会 (2003.11)

^{*} 大妻女子大・院

Nakae D.^{*1}, Takahashi M.^{*1}, Masumura K., Umemura T.^{*1}, Umetsu F.^{*1}, Yoshida M.^{*1}, Igarashi M.^{*1}, Watanabe N.^{*1}, Maekawa A.^{*2}, Nishikawa A.^{*2}, Hirose M.^{*2}, Nohmi T.: **Profile of somatic mu-**

tation induced *in vivo* in *gpt* delta transgenic rat fed a choline-deficient, L-amino acid-defined diet

International Joint Meeting on Food Factors and Free Radicals (2003.12)

¹ (財) 佐々木研究所

² 病理部

増村健一, 宇多洋美¹, 西川秋佳², 岡崎和志², 梅村隆志², 広瀬雅雄², 能美健彦: 酸化的 DNA 損傷によりラット個体に誘発される突然変異スペクトルの解析
第 26 回日本分子生物学会年会 (2003.12)

¹ 昭和薬科大学

² 病理部

麻見安雄¹, 村上正弘², 早田 勇², Pisani Francesca³, 能美健彦: 原子間力顕微鏡を用いた DNA ポリメラーゼによる損傷塩基認識機構の解析
第 26 回日本分子生物学会年会 (2003.12)

¹ 現広島大学・院

² 放射線医学総合研究所

³ イタリア CNR・蛋白質生化学研究所

山田雅巳, 金秀良, 松井恵子, 能美健彦: Y ファミリー DNA ポリメラーゼが乗り越える損傷の違いについて
第 26 回日本分子生物学会年会 (2003.12)

清水雅富¹, ピーター・グルーズ, 紙谷浩之², 益谷央豪^{3,4}, 徐 岩⁵, 杉山 弘⁵, 原島秀吉², 花岡文雄^{3,4}, 能美健彦: ヒト Y ファミリー DNA ポリメラーゼによる酸化的損傷ヌクレオチドの取り込み
第 26 回日本分子生物学会年会 (2003.12)

¹ 現青葉学園短期大学・食物

² 北海道大学・院・薬

³ 大阪大学・生命機能

⁴ CREST

⁵ 京都大学・理, 東京医歯大

増村健一, 戸塚ゆ加里^{*}, 若林敬二^{*}, 能美健彦: トランスジェニックマウス *gpt* delta を用いた aminophenylnorharman の *in vivo* 変異原性の検索
「個体レベル」若手ワークショップ (2004.1)

^{*} 国立がんセンター研究所

Nohmi, T.: *gpt* delta transgenic mice and rats: a novel approach to dissect species specific mutagenesis and carcinogenesis
Health Canada (2004.2)

Nohmi, T.: Y-family DNA polymerases: their roles in mutagenesis
University of Nebraska (2004.2)

Yamada, M., Shimizu, M., Gruz, P., Matsui I, K., Nunoshiba, T.¹, Kamiya, H.², Harashima, H.² and Nohmi, T.: SOS-inducible DNA polymerases and their roles in genome instability
Keystone Symposia, Bacterial Chromosome (2004.2)

¹ 東北大学・院・理

² 北海道大学・院・薬

Yamada, M.: Y-family of DNA polymerases for translesion synthesis and erroneous incorporation of oxidative nucleotides - Sso DNA pol Y1 -

Istituto di Biochimica delle Proteine, CNR, Italy (2004.2)

Yamada, M.: Y-family of DNA polymerases for translesion synthesis and erroneous incorporation of oxidative nucleotides - Sso DNA pol Y1-

Darmstadt University of Technology, Germany (2004.2)

小山秀機^{*}, 増井 徹: テクニカルセミナー: siRNA を用いた研究

日本組織培養学会第 77 回大会 (2003.5)

^{*} 横浜市立大学, 木原生物学研究所 .

増井 徹: わが国におけるヒト組織の利用に関する技術的・社会的課題

動物実験代替法シンポジウム: 動物実験代替法・削減とヒト組織の利用 (2003.6)

田辺秀之: 染色体テリトリーの核内配置からみた構造ゲノミクスとしてのゲノム進化

第 5 回日本進化学会福岡大会 (2003.8)

Tanabe, H., Hayashi, M., Mizusawa, H.: Application of pooled chromosome paint probes with specific combinations for detecting the abnormality on the interphase radial chromosome positioning

The 6th International Symposium on Chromosomal Aberrations (2003.9)

吉田恵一^{1,2}, 田辺秀之, 黒田雅彦^{1,2}, 石田 剛¹, 斎藤 彰³, 喜友名朝春³, 佐藤 均⁴, 水沢 博, 向井 清¹: 粘液型脂肪肉腫腫瘍発生における染色体テリトリーの関与
第 62 回日本癌学会総会 (2003.9)

¹ 東京医科大学

² 科学技術振興事業団 CREST

³ 日本電気株式会社

⁴ 東京大学・医科学研究所

増井 徹, 高田容子, 田辺秀之, 林 真, 水沢 博: 英国バイオバンクと日本の細胞バンクにおける人資料収集
第 62 回日本癌学会総会 (2003.9)

増井 徹: ゲノム情報の利用と社会 - アイスランド, 英国, そして日本 -

科学・技術と社会の会 2003 ワークショップ (2003.11)

田辺秀之^{*}, 北條麻紀, 林 真, 水沢 博: 染色体テリトリーの放射状核内配置: 遺伝子密度と染色体サイズによる核中心部 I 領域と核周辺部 P 領域の識別とその応用

第 26 回日本分子生物学会年会 (2003.12)

^{*} 総合研究大学院大学・先導科学研究科

吉田恵一^{1,2}, 田辺秀之³, 喜友名朝春⁴, 斎藤 彰⁴, 水沢

博, 黒田雅彦^{*1,2}, 向井 清^{*1}: 粘液型脂肪肉腫腫瘍発生における染色体テリトリーの関与

第26回日本分子生物学会年会 (2003.12)

^{*1} 東京医科大学

^{*2} 科学技術振興事業団 CREST

^{*3} 総合研究大学院大学・先導科学研究科

^{*4} 日本電気株式会社

Masui, T.: **Genome Research and humanity** ヒトゲノム研究と人)

国際シンポジウム, Gene, Body, Female and Politics Gender (遺伝子, 身体, 女と政治) (2004.1)

Masui, T.: **Use of human for biomedical research in Japan** (日本における「人」を用いた医学生物学研究)

US-Japan Cancer Meeting Large Cohort for Molecular Epidemiology (日米がん会議, 分子疫学の大規模コホート研究) (2004.2)

水澤 博, 高田容子, 榎松美治^{*}, 北條麻紀, 安田留菜, 増井徹, 田辺秀之: 培養細胞で発生しているクロスカルチャーコンタミネーションに関する JCRB 細胞バンクにおける国内調査

日本組織培養学会第77回大会 (2004.5)

^{*} ヒューマンサイエンス振興財団

Mizusawa, H., Tanabe, H., Takada, Y., Kurematsu, M.^{*}, Hojoh, M., Yasuda, R., and Masui, T.: **Cross culture contamination of culture cell lines in Japan: JCRB case report and the use of DNA profiling for the sample control frame**

World Congress on In Vitro Biology (Symposium) Mammalian Cell contamination (2004.5)

^{*} Japan Health Sciences Foundation

絵野沢伸^{*}, 増井 徹: ヒト組織利用と再生医療

第11回HAB研究機構学術年会 (2004.5)

^{*} 国立成育医療センター研究所

江馬眞, 原園景, 広瀬明彦, 鎌田栄一: ジブチルスズによるラットにおける着床阻害に対するプロゲステロンの効果

第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

広瀬明彦, 江馬 眞, 鎌田栄一, 小泉睦子, 長谷川隆一: ビスフェノールAによる内分泌かく乱作用のリスクアセスメント

第30回日本トキシコロジー学会学術年会 (2003.7)

江馬 眞, 宮脇英美子, 広瀬明彦, 鎌田栄一: モノブチルフラレートによるラット雄胎児における肛門生殖突起間距離の短縮及び精巣下降不全

第43回日本先天異常学会学術集会 (2003.7)

Sekizawa, J., Miyairi, S. and Ema, M.: **Possible modification of dioxin risk in the presence of endogenous ligands for arylhydrocarbon receptor.**

23rd International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (DIOXIN 2003) (2003.8)

Ema, M., Harazono, A., Fujii, S. and Kawashima, K.: **Developmental toxicity of -thujaplicin (TP) in rats.**

Society of Toxicology, 43th Annual Meeting (2004.3)

谷本 剛: 日本薬局方第15改正に向けての動向

第40回全国薬事指導協議会総会 (2003.10)

斉藤博幸, 谷本 剛, S. Lund-Katz, S.^{*}, Phillips, M.C.^{*}: 血中脂質転送タンパク質アポA-Iのドメイン構造と脂質膜結合

第25回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (2003.11)

^{*} The Children's Hospital of Philadelphia, USA

大石なみき^{*}, 森久保聡一^{*}, 高村佳弘^{*}, 久保江理^{*}, 都筑昌哉^{*}, 谷本 剛, 赤木好男^{*}: ヒト糖尿病白内障と赤血球中 aldose reductase (AR) との関係

第10回日本糖尿病眼学会総会 (2004.3)

^{*} 福井医科大学

Oishi, N.^{*}, Morikubo, S.^{*}, Kubo, E.^{*}, Takamura, Y.^{*}, Tukushi, M.^{*}, Tanimoto, T., Akagi, Y.^{*}: **The Correlation Between Erythrocyte Aldose Reductase Level And Human Diabetic Cataract**

ARVO 2004 Annual Meeting (2004.4)

^{*} 福井医科大学

Tanimoto, T.: **What's New. The Japanese Pharmacopoeia**

PDA 2004 Pharmaceutical & Biopharmaceutical Manufacturing Science & Technology Congress (2004.5)

Yoshii, K., Tsumura, Y.^{*}, Ishimitsu, S., Tonogai, Y.: **Simultaneous Determination of Emamectin, Its metabolites, Milbemectin, Ivermectin and Abamectin in Crops by LC/MS**

3rd Pan Pacific Conference on Pesticide Science (2003.6)

^{*} 近畿厚生局麻薬取締部

古川みづき, 辻 澄子, 中野真希, 外海泰秀: 薄層クロマトグラフィー用色素標準品フラビアン酸について

第40回全国衛生化学協議会年会 (2003.11)

Urushidani T., Kanno J., Miyagishima T., and Nagao T.: Toxicogenomics project in Japan - Objective and proposal

43rd Annual Meeting of Society of Toxicology (2004.3)

堤 康央: プロテオーム創薬に叶う DDS 基盤技術の開発

日本薬学会第124年会 (2004.3)

堤 康央, 中川晋作^{*1}, 真弓忠範^{*1}: 抗体療法の最適化を目指した創薬基盤テクノロジーの開発

日本薬学会第124年会 (2004.3)

^{*1} 大阪大学薬学研究科

^{*2} 神戸学院大学薬学研究科

向 洋平^{*1}, 吉岡靖雄, 柴田寛子^{*1}, 阿部康弘^{*1}, 岡本貴行^{*1}, 清水智絵^{*1}, 川村真紀^{*1}, 鎌田春彦^{*2}, 堤 康央, 中川晋作^{*2}, 真弓忠範^{*3}: 蛋白療法の最適化に向けた腎ターゲットングキャリアの開発

¹ 大阪大学薬学研究科

² 三重大学医学部

³ 神戸学院大学薬学研究科

川村真紀¹, 岡本貴行¹, 吉岡靖雄, 柴田寛子¹, 清水智絵¹, 向 洋平¹, 阿部康弘¹, 堤 康央, 中川晋作¹, 真弓忠範²: 医薬価値に優れた新規機能性ペプチドの網羅的探索システムの構築

日本薬学会第124年会(2004.3)

¹ 大阪大学薬学研究科

² 神戸学院大学薬学研究科

柴田寛子¹, 吉岡靖雄, 向 洋平¹, 阿部康弘¹, 岡本貴行¹, 清水智絵¹, 川村真紀¹, 鎌田春彦², 堤 康央, 中川晋作¹, 真弓忠範³: 新規腎ターゲットングキャリアーの腎疾患治療への応用

日本薬学会第124年会(2004.3)

¹ 大阪大学薬学研究科

² 三重大学医学部

³ 神戸学院大学薬学研究科

岡本貴行¹, 川村真紀¹, 吉岡靖雄, 柴田寛子¹, 清水智絵¹, 向 洋平¹, 阿部康弘¹, 堤 康央, 中川晋作¹, 真弓忠範²: 細胞内移行ペプチドを利用した細胞内薬物送達に関する基礎的検討

日本薬学会第124年会(2004.3)

¹ 大阪大学薬学研究科

² 神戸学院大学薬学研究科

堤 康央: 医薬価値に優れた機能性人工蛋白質の創製とDDSへの展開

創剤フォーラム第9回若手研究会(2003.11)

吉岡靖雄, 堤 康央, 中川晋作¹, 真弓忠範²: 医薬価値に優れた機能性変異蛋白質の網羅的創製とそのDDSへの応用

第53回日本薬学会近畿支部総会・大会(2003.11)

¹ 大阪大学薬学研究科

² 神戸学院大学薬学研究科

堤 康央, 真弓忠範¹: Creation of lysine-deficient proteins with full bioactivities results in a novel PEGylation system

第76回日本生化学会大会(2003.10)

¹ 神戸学院大学薬学研究科

堤 康央, 真弓忠範¹: 薬物の時空間的な体内挙動を制御できる高分子バイオコンジュゲーション法

第5回地域交流フォーラム(2003.9)

¹ 神戸学院大学薬学研究科

吉岡靖雄, 堤 康央, 中川晋作¹, 真弓忠範²: 医薬価値に優れた機能性人工蛋白質を迅速創製可能な創薬戦略の確立に向けて

第62回日本癌学会総会(2003.9)

¹ 大阪大学薬学研究科

² 神戸学院大学薬学研究科

向 洋平¹, 吉岡靖雄, 岡本貴行¹, 吉川友章¹, 柴田寛子¹, 清水智絵¹, 川村真紀¹, 堤 康央, 中川晋作¹, 真弓忠範²: 癌ミサイル療法の最適化に向けたImmunotoxinの部位特異的バイオコンジュゲーションに関する検討

第19回日本DDS学会(2003.6)

¹ 大阪大学薬学研究科

² 神戸学院大学薬学研究科

川村真紀¹, 岡本貴行¹, 吉岡靖雄, 向 洋平¹, 清水智絵¹, 柴田寛子¹, 堤 康央, 中川晋作¹, 真弓忠範²: 抗TNF療法の最適化に向けた1本鎖抗体の部位特異的バイオコンジュゲーションに関する基礎的検討

第19回日本DDS学会(2003.6)

¹ 大阪大学薬学研究科

² 神戸学院大学薬学研究科

吉岡靖雄, 堤 康央, 山本陽子¹, 小林恭子², 柴田寛子², 岡本貴行², 吉川友章², 清水はな², 清水智絵², 向 洋平², 川村真紀², 中川晋作², 真弓忠範³: 目的とする生理活性を完全に保持した機能性変異蛋白質の迅速構築とそのDDSへの応用

日本薬剤学会第18年会(2003.4)

¹ 聖マリアンナ医科大学

² 大阪大学薬学研究科

³ 神戸学院大学薬学研究科

杉田敏樹¹, 高建青¹, Alexandre Learth Soares¹, 衛藤佑介¹, 倉知慎之輔¹, 中山隆志², 水口裕之, 早川堯夫, 義江修², 堤 康央¹, 真弓忠範³, 中川晋作¹: Cell Delivery Systemによる癌遺伝子治療の最適化

遺伝子・デリバリー研究会 第4回シンポジウム(2004.5)

¹ 大阪大学大学院薬学研究科

² 近畿大学大学院医学研究科

³ 神戸学院大学薬学部

衛藤佑介¹, 倉知慎之輔¹, 高建青¹, 堤 康央¹, 水口裕之, 前田光子², 川崎鉦一², 早川堯夫, 真弓忠範^{1,2}, 中川晋作¹: 体内動態制御を目指したバイオコンジュゲート化アデノウイルスベクターの創製

遺伝子・デリバリー研究会 第4回シンポジウム(2004.5)

¹ 大阪大学大学院薬学研究科

² 神戸学院大学薬学部

櫻井文教: 新規アデノウイルスベクターを用いた遺伝子導入

遺伝子・デリバリー研究会 第4回シンポジウム(2004.5)

小泉直也, 水口裕之, 櫻井文教, 近藤昌夫, 山口照英, 渡辺善照², 早川堯夫: CAR, インテグリン, ヘパラン硫酸との結合性を除去したアデノウイルスベクターの体内動態

日本薬学会124年会(2004.3)

¹ 昭和薬科大学

櫻井文教, 水口裕之, 川端健二, 佐々木朋美, 福島敬, 山口照英, 早川堯夫: 35型アデノウイルスベクターによる遺伝子導入におけるCD46の関与

日本薬学会124年会(2004.3)

細野哲司, 水口裕之, 福島敬, 佐々木朋美, 石井(渡部)明子, 形山和史^{*}, 中川晋作^{*}, 山口照英, 真弓忠範^{*}, 早川堯夫: siRNA 発現アデノウイルスベクターによる RNAi 効果に関する検討

日本薬学会 124 年会 (2004.3)

^{*} 大阪大学大学院薬学研究科

平田圭一^{*}, 宇都口直樹^{*}, 松山淳史^{*}, 水口裕之, 早川堯夫, 丸山一雄^{*}: トランスフェリン修飾リポソームを用いたアデノウイルスベクターの感染能制御に関する基礎検討

日本薬学会 124 年会 (2004.3)

^{*} 帝京大学薬学部

岡田裕香^{*1}, 岡田直貴^{*2}, 水口裕之, 鈴木加恵^{*1}, 田中早紀^{*1}, 高橋幸一^{*}, 早川堯夫, 真弓忠範^{*3}, 水野巨恭^{*1}: 腫瘍特異的プロモーターを搭載した RGD ファイバーミュータントアデノウイルスベクターのメラノーマ自殺遺伝子治療における有用性

日本薬学会 124 年会 (2004.3)

^{*1} 武庫川女子大学薬学部

^{*2} 京都薬科大学

^{*3} 大阪大学大学院薬学研究科

井上恵美子^{*1}, 岡田直貴^{*1}, 飯山さやか^{*1}, 松井あや^{*1}, 岡田裕香^{*2}, 水口裕之, 早川堯夫, 中川晋作^{*3}, 真弓忠範^{*3}, 藤田卓也^{*1}, 山本昌^{*1}: 抗原遺伝子と IL-12 遺伝子を共導入した樹状細胞の T 細胞感作・活性化能

日本薬学会 124 年会 (2004.3)

^{*1} 京都薬科大学

^{*2} 武庫川女子大学薬学部

^{*3} 大阪大学大学院薬学研究科

森直樹^{*1}, 岡田直貴^{*1}, 是友良介^{*1}, 岡田裕香^{*2}, 中山隆志^{*3}, 義江修^{*3}, 水口裕之, 早川堯夫, 中川晋作^{*4}, 真弓忠範^{*4}, 藤田卓也^{*1}, 山本昌^{*1}: リンパ組織移行性を増強した樹状細胞ワクチンの創製

日本薬学会 124 年会 (2004.3)

^{*1} 京都薬科大学

^{*2} 武庫川女子大学薬学部

^{*3} 近畿大学医学部

^{*4} 大阪大学大学院薬学研究科

佐々木明徳^{*1}, 岡田直貴^{*1}, 丹羽正和^{*1}, 岡田裕香^{*2}, 中山隆志^{*3}, 義江修^{*3}, 畑中豊^{*4}, 谷洋一^{*4}, 水口裕之, 早川堯夫, 中川晋作^{*5}, 真弓忠範^{*5}, 藤田卓也^{*1}, 山本昌^{*1}: ケモカイン発現ベクターの腫瘍内投与を併用した樹状細胞ワクチンの抗腫瘍効果

日本薬学会 124 年会 (2004.3)

^{*1} 京都薬科大学

^{*2} 武庫川女子大学薬学部

^{*3} 近畿大学医学部

^{*4} ダコ・サイトメーション

^{*5} 大阪大学大学院薬学研究科

大橋興三^{*1}, 形山和史^{*1}, 和田孝一郎^{*2}, 三好浩之^{*2}, 水口裕之,

立花雅史^{*1}, 古木理恵^{*1}, 中島淳^{*6}, 門脇 孝^{*6}, 堤康央^{*1}, 中川晋作^{*1}, 早川堯夫, 真弓忠範^{*1}: shRNA 発現レンチウイルスベクターを用いた PPAR- ノックダウン法の確立

日本薬学会 124 年会 (2004.3)

^{*1} 大阪大学大学院薬学研究科

^{*2} 大阪大学大学院歯学研究科

^{*3} 理化学研究所 BRC

^{*4} 横浜市立大学医学部

^{*5} 東京大学大学院医学研究科

形山和史^{*1}, 三好浩之^{*2}, 水口裕之, 立花雅史^{*1}, 大橋興三^{*1}, 古木理恵^{*1}, 川端健二, 堤康央^{*1}, 中川晋作^{*1}, 早川堯夫, 真弓忠範^{*1}: shRNA 発現レンチウイルスベクターの作製と機能評価

日本薬学会 124 年会 (2004.3)

^{*1} 大阪大学大学院薬学研究科

^{*2} 理化学研究所 BRC

衛藤佑介^{*}, 倉知慎之輔^{*}, 高建青^{*}, 形山和史^{*}, 堤康央^{*}, 水口裕之, 早川堯夫, 中川晋作^{*}, 真弓忠範^{*}: ポリエチレングリコール修飾アデノウイルスベクターの体内動態に関する検討

日本薬学会 124 年会 (2004.3)

^{*} 大阪大学大学院薬学研究科

滝正樹^{*1}, 藤原俊義^{*1}, 川嶋健^{*1}, 藤原俊哉^{*1}, 岸本浩行^{*1}, 香川俊輔^{*1}, 西崎正彦^{*1}, 深澤拓也^{*1}, 水口裕之, 京哲^{*2}, 田中紀章^{*1}: RGD ファイバー変異を挿入した腫瘍特異的増殖可能アデノウイルス (TRAD) の抗腫瘍効果の増強

第 8 回遺伝子医療研究会 (2004.3)

^{*1} 岡山大学医学部

^{*2} 金沢大学医学部

櫻井文教, 水口裕之, 川端健二, 佐々木朋美, 福島敬, 山口照英, 早川堯夫: 35 型アデノウイルスベクターによる遺伝子導入における CD46 の関与

第 8 回遺伝子医療研究会 (2004.3)

水口裕之: 次世代アデノウイルスベクターの開発一遺伝子機能解析から遺伝子治療に向けた基盤技術開発一 文部科学省ハイテクリサーチセンター整備事業 高齢化社会における加齢性疾患の予防・治療薬の開発研究第 8 回研究成果発表会プログラム (2004.2)

水口裕之, 早川堯夫: 遺伝子機能解析のための改良型アデノウイルスベクター一標的細胞特異性・発現制御から RNAi まで一

第 26 回日本分子生物学会 (2003.12)

岡田裕香^{*1}, 鈴木加恵^{*1}, 田中早紀^{*1}, 高橋幸一^{*1}, 水野巨恭^{*1}, 岡田直貴^{*2}, 水口裕之, 早川堯夫, 真弓忠範^{*3}: 改良型アデノウイルスベクターを用いたメラノーマ遺伝子治療の最適化

第 53 回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2003.11)

^{*1} 武庫川女子大学薬学部

^{*2} 京都薬科大学

^{*3} 大阪大学大学院薬学研究科

水口裕之, 櫻井文教, 山口照英, 早川堯夫: 35 型アデノウイルスを基本骨格としたベクターの開発とその遺伝子導入特性
第 51 回日本ウイルス学会学術集会・総会 (2003.10)

Hiroyuki Mizuguchi, Zhi-Li Xu, Fuminori Sakurai, Teruhide Yamaguchi, Tadanori Mayumi*, Takao Hayakawa: **Development of capsid-modified single adenovirus vectors displaying tight tetracycline-inducible gene expression and broader tropism**
第 76 回日本生化学会大会 (2003.10)

* 大阪大学大学院薬学研究科

萩山裕之, 上阪等, 水口裕之, 早川堯夫, 宮坂信之: アデノウイルスベクター発現カセット改変による滑膜線維芽細胞における導入遺伝子の発現効率の向上
第 31 回日本臨床免疫学会総会 (2003.10)

* 東京医科歯科大学大学院医学研究科

水口裕之, 櫻井文教, 渡辺善照, 早川堯夫: 感染能を欠損させたアデノウイルスベクターの開発 - ターゲティングベクターの開発に向けて -

第 62 回日本癌学会総会 (2003.9)

* 昭和薬科大学

滝正樹¹, 藤原俊義¹, 川嶋健¹, 岸本浩行¹, 藤原俊哉¹, 水口裕之, 京哲², 香川俊輔¹, 西崎正彦¹, 田中紀章¹: **RGD** ファイバー変異を挿入した腫瘍特異的増殖可能アデノウイルス (**TRAD**) の抗腫瘍効果の増強

第 62 回日本癌学会総会 (2003.9)

¹ 岡山大学医学部

² 金沢大学医学部

Zhi-Li Xu, Hiroyuki Mizuguchi, Fuminori Sakurai, Teruhide Yamaguchi, Tadanori Mayumi*, Takao Hayakawa: **Improved tetracycline-inducible regulation system by a single self-containing adenovirus vector**

第 9 回日本遺伝子治療学会 (2003.7)

* 大阪大学大学院薬学研究科

Fuminori Sakurai, Hiroyuki Mizuguchi, Teruhide Yamaguchi, Takao Hayakawa: **Characterization of In vivo Gene Transfer Property of an Adenovirus Serotype 35 Vector**

第 9 回日本遺伝子治療学会 (2003.7)

Naoya Koizumi, Hiroyuki Mizuguchi, Fuminori Sakurai, Teruhide Yamaguchi, Yoshiteru Watanabe*, Takao Hayakawa: **Reduced natural adenovirus (Ad) transduction to mouse liver by Ad vectors containing CAR-binding ablated Ad type 5 fiber knob, Ad type 35 fiber shaft, and Ad type 5 penton base with the deletion of RGD motif**

第 9 回日本遺伝子治療学会 (2003.7)

* 昭和薬科大学

Jian-Qing Gao¹, Yasuhiro Tsuda¹, Kazufumi Katayama¹, Takashi Nakayama², Yutaka Hatanaka³, Yoichi Tani³, Hiroyuki Mizuguchi, Takao Hayakawa, Osamu Yoshie², Yasuo

Tsutsumi¹, Tadanori Mayumi¹, Shinsaku Nakagawa¹: **Anti-tumor effect by a CC chemokine, CCL27, introduces into tumor cells through a recombinant adenovirus vector.**

第 9 回日本遺伝子治療学会 (2003.7)

¹ 大阪大学大学院薬学研究科

² 近畿大学医学部

³ ダコ・サイトメーション

Kazufumi Katayama¹, Koichiro Wada², Atsushi Nakajima³, Sachiko Yoshida³, Hiroyuki Mizuguchi, Takao Hayakawa, Masashi Tachibana¹, Shinsaku Nakagawa¹, Takashi Kadowaki⁴, Yoshinori Kamisaki², Richard S. Blumberg⁵, Tadanori Mayumi¹: **A novel direction for gene therapy of inflammatory bowel disease (IBD).**

30th Annual Meeting and Exposition, Controlled Release Society (2003.7)

¹ 大阪大学大学院薬学研究科

² 大阪大学大学院歯学研究科

³ 横浜市立大学医学部

⁴ 東京大学大学院医学研究科

⁵ ハーバード大学医学部

佐々木明德¹, 岡田直貴¹, 大久保米起¹, 岡田裕香², 中山隆志³, 義江修³, 水口裕之, 早川堯夫, 中川晋作⁴, 真弓忠範⁴, 藤田卓也¹, 山本昌¹: 樹状細胞免疫療法の有効性改善を目指したケモカイン発現ベクターの併用

第 19 回日本 DDS 学会 (2003.6)

¹ 京都薬科大学

² 武庫川女子大学薬学部

³ 近畿大学医学部

⁴ 大阪大学大学院薬学研究科

飯山さやか¹, 岡田直貴¹, 舩永安繁¹, 西田雅也¹, 岡田裕香², 水口裕之, 早川堯夫, 中川晋作³, 真弓忠範³, 藤田卓也¹, 山本昌¹: **IL-12** 遺伝子を導入した樹状細胞の表現型と腫瘍免疫誘導能の解析

第 19 回日本 DDS 学会 (2003.6)

¹ 京都薬科大学

² 武庫川女子大学薬学部

³ 大阪大学大学院薬学研究科

細野哲司, 水口裕之, 石井(渡部)明子, 山口照英, 早川堯夫: **siRNA** 発現アデノウイルスベクターによる **RNAi** 効果に関する検討

第 19 回日本 DDS 学会 (2003.6)

櫻井文教, 水口裕之, 山口照英, 早川堯夫: 35 型アデノウイルスベクターの **in vivo** 遺伝子発現及び体内動態に関する検討

第 19 回日本 DDS 学会 (2003.6)

古木理恵, 形山和史, 立花雅史, 大橋興三, 堤康央, 中川晋作, 水口裕之, 早川堯夫, 真弓忠範: 改良型アデノウイルスベクターを用いた胎盤への遺伝子導入

第 19 回日本 DDS 学会 (2003.6)

* 大阪大学大学院薬学研究科

衛藤佑介^{*}, 関口文子^{*}, 高建青^{*}, 形山和史^{*}, 堤康史^{*}, 櫻井文教^{*}, 水口裕之^{*}, 早川堯夫^{*}, 真弓忠範^{*}, 中川晋作^{*}: 遺伝子治療の最適化を目指したポリエチレングリコール修飾アデノウイルスベクターの血中滞留性に関する検討
第19回日本DDS学会 (2003.6)

^{*} 大阪大学大学院薬学研究科

Hiroyuki Mizuguchi, Fuminori Sakurai, Teruhide Yamaguchi, Takao Hayakawa: **Characterization of In Vivo Gene Transfer Property of an Adenovirus Serotype 35 Vector.**
American Society of Gene Therapy, 6th Annal Meeting (2003.6)

Fuminori Sakurai, Hiroyuki Mizuguchi, Takao Hayakawa: **Efficient Gene Transfer into Human CD 34+ Cells and Cultured Blood Cell Lines by an Adenovirus Serotype 35 Vector.**
American Society of Gene Therapy, 6th Annal Meeting, (2003. 6)

山下 浩¹, 大久保綾子¹, 坂東英雄¹, 柴田敏郎, 畠山好雄²: ニシキギ科植物コマユミの成分研究(3)
日本生薬学会第50回年会 (2003.9)

¹ 北海道薬科大学

² ゆにガーデン

熊谷健夫, 柴田敏郎, 吉松嘉代: ケシの直接抽出法に関する研究(2) 外国導入系統のアヘンアルカロイド収量について
日本生薬学会第50回年会 (2003.9)

柴田敏郎: 生薬の国産栽培の重要性と現状及び課題 - 野生薬用植物資源の枯渇という視点から
第24回和漢薬研究所特別セミナー (2003.10)

南 基泰¹, 李 鍵炯¹, 安 哉龍¹, 永井和夫¹, 禹 濟泰¹, 近藤誠三², 柴田敏郎: *Artemisia* 属植物の抗菌及び抗酸化活性の地理的変異について
日本薬学会124年会 (2004.3)

¹ 中部大学応用生物

² 小太郎漢方製薬(株)

内田太一¹, 清原寛章², 松本 司², 布目慎勇², 柴田敏郎, 山田陽城²: オウギ地上部由来多糖成分の有用天然資源としての検討
日本薬学会124年会 (2004.3)

¹ 北里大院感染制御

² 北里大東洋医学総合研究所

柴田敏郎, 中西大樹: セリ科植物分果の形態と分果中にみられる油管の分布について(第1報)
日本生薬学会北海道支部第27回例会 (2004.5)

熊谷健夫, 柴田敏郎, 姉帯正樹: ヨロイグサの栽培に関する研究(1) 1年生栽培における栽植密度が生育, 収量及び成分含量に及ぼす影響
日本生薬学会北海道支部第27回例会 (2004.5)

^{*} 北海道立衛生研究所

Kiuchi, F.: **Natural Products Effective for Parasitic Disease**

Caused by Protozoa: Some Results in American Trypanosomiasis

Pak-Japan Workshop on Leishmaniasis - Present Status and Its Control (2004.1)

内山奈保子¹, 木内文之, 伊藤美千穂¹, 本多義昭¹, Kubata, B. K.², Kabututu, K.³, 裏出良博³, 大久保 敬⁴, 福住俊一⁴, 嶋田淳子⁵, 坪内暁子⁵, 青木 孝⁵, Kodzhimatov, O. K.⁶, Ashurmetov, O.⁶: キノン型ジテルペンの抗トリパノソーマ作用機構
第45回天然有機化合物討論会 (2003.10)

¹ 京都大学大学院薬学研究科

² US Army Medical Research Unit-Kenya

³ 大阪バイオ研

⁴ 大阪大学大学院工学研究科

⁵ 順天堂大学医学部

⁶ Scientific Production Center, Uzbek Academy of Science

白木与弘^{*}, 矢倉 徹^{*}, 伊藤美千穂^{*}, 本多義昭^{*}, 木内文之: 沈香香氣成分の吸入投与による鎮静作用に関する研究
第53回日本薬学近畿支部大会 (2003.11)

^{*} 京都大学大学院薬学研究科

本宮知子¹, 伊藤美千穂¹, 木内文之, 本多義昭¹, 徳田春邦², 西野輔翼¹, 飯田 彰¹: *Helichrysum maracandicum* の抗がん活性成分の探索
日本薬学会第124年会 (2004.3)

¹ 京都大学大学院薬学研究科

² 京都府立医大

矢倉 徹^{*}, 柴山奈央美^{*}, 伊藤美千穂^{*}, 本多義昭^{*}, 木内文之: シナジンコウ樹の傷害実験によるクロモン誘導体の生成
日本薬学会第124年会 (2004.3)

^{*} 京都大学大学院薬学研究科

世取山守^{*}, 石原島栄二^{*}, 加藤洋子^{*}, 長門颯子^{*}, 関田節子: 長期保管における大麻油中のカンナビジオール含有量について
日本薬学会第124年会 (2004.3)

^{*} 栃木県保健環境センター

小島尚^{*}, 宮澤真紀^{*}, 土井佳代^{*}, 関田節子: いわゆるケミカルドラッグ(ピペラジン化合物)のマウス行動に及ぼす作用について
日本薬学会第124年会 (2004.3)

^{*} 神奈川県衛生研究所

淵野裕之, 高橋真理衣, 関田節子, 佐竹元吉¹, 我妻 豊²: 抗リーシュマニア活性を有する薬用植物の探索(その6) ミャンマー産生薬の活性成分について
日本生薬学会第50回年会 (2003.9)

¹ お茶の水女子大学生活環境センター

² MSMP プロジェクト

高橋真理衣, 淵野裕之, 菱田敦之, 関田節子: ショウマ基原植物の成分比較について

日本生薬学会第 50 回年会 (2003.9)

中根孝久, 淵野裕之, 高橋真理衣, 飯田 修, 柴田敏郎, 香月茂樹, 関田節子, 佐竹元吉^{*}: マオウ科 *Ephedraceae* 植物のエフェドリン含量 IV - 国内栽培試験種及び国外野生種 -

日本生薬学会第 50 回年会 (2003.9)

^{*} お茶の水女子大学生生活環境センター

黒柳正典^{*}, 加藤貴史^{*}, 叶 英樹^{*}, 淵野裕之, 川原信夫: 4,5-Epoxy-1(10)-germacrene 型セスキテルペンの渡環反応

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*} 広島県立大学生物資源学部

淵野裕之, 高橋真理衣, 川原信夫, 木内文之, 関田節子, 近藤誠三^{*1}, 須藤雅夫^{*1}, 政井久美^{*1}, 有本恵子^{*2}, 岡田 稔^{*3}, 寺林 進^{*3}, 滝 昌則^{*3}, 藤田政雄^{*3}, 川崎武志^{*3}, 佐竹元吉^{*4}: ブシ (加工ブシ) の局方収載モノグラフへの検討

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*1} 日本漢方生薬製剤協会

^{*2} 日本生薬連合会

^{*3} 東京生薬協会

^{*4} お茶の水女子大学生生活環境センター

中根孝久^{*}, 山口真寿美^{*}, 高橋真理衣, 淵野裕之, 関田節子, 佐竹元吉^{*}: 抗リーシュマニア活性を有する薬用植物の探索 (その 7) ミャンマー産重楼 *Paris mairei* の活性成分について

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*} お茶の水女子大学生生活環境センター

高橋真理衣, 淵野裕之, 佐竹元吉^{*1}, 我妻 豊^{*2}, 関田節子: 抗リーシュマニア活性を有する薬用植物の探索 (その 8) ミャンマー産 *Millettia pendula* の材の活性成分について

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*1} お茶の水女子大学生生活環境センター

^{*2} MSMP プロジェクト

菱田敦之, 佐藤正幸^{*1}, 姉帯正樹^{*1}, 鈴木幸子^{*2}, 安田一郎^{*2}, 飯田 修, 関田節子, 柴田敏郎, 細川敬三^{*3}: 葉緑体遺伝子 *rpl16* 及び *rpl16-rpl14* spacer 領域の塩基配列解析に基づく *Asiasarum* 属植物の識別

日本生薬学会第 50 回年会 (2003.9)

^{*1} 北海道立衛生研究所

^{*2} 東京都健康安全研究センター

^{*3} 兵庫大学健康科学部

森田ゆかり^{*}, 細川敬三^{*}, 森 一雄^{*}, 飯田 修, 香月茂樹, 菱田敦之: ウコン (*Curcuma*) 属植物の鑑別・同定法の開発研究 (1) 精油成分をマーカーとした 4 種のウコン属植物の識別法

第 18 回日本香辛料研究会 (2003.11)

^{*} 兵庫大学健康科学部

菱田敦之: DNA 塩基配列と SNPs による生薬基原植物の鑑別創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業成果発表会 (2004.3)

菱田敦之, 細川敬三^{*}, 飯田 修, 香月茂樹, 柴田敏郎, 関田節子: DNA 塩基配列と SNPs による生薬基原植物の鑑別

日本薬学会第 124 回年会 (2004.3)

^{*} 兵庫大学健康科学部

吉松嘉代, 土反伸和^{*1}, 佐藤文彦^{*2}, 矢崎一史^{*1}: 物質輸送エンジニアリングによる新規有用植物の育種 1. 遺伝子組換えオウレンの作出

第 21 回日本植物細胞分子生物学会香川大会・シンポジウム (2003.8)

^{*1} 京都大学木質科学研究所

^{*2} 京都大学大学院生命科学研究所

土反伸和^{*1}, 吉松嘉代, 佐藤文彦^{*2}, 矢崎一史^{*1}: オウレン形質転換体を用いた *CjMDR1* の機能解析

日本植物生理学会 2004 年度年会, 東京 (2004.3)

^{*1} 京都大学木質科学研究所

^{*2} 京都大学大学院生命科学研究所

吉松嘉代, 柴田敏郎, 木内文之, 飯田 修, 関田節子, 牧野由紀子^{*}: ケシ属植物の形態とアルカロイド

日本薬学会第 124 年会 (2004.3)

^{*} 関東信越厚生局麻薬取締部

香月茂樹: 種子島の多様な野生植物

日本植物園協会第 38 回大会 (2003.5)

香月茂樹: 日本の暖地に育つ薬用植物 種子島を例として

第 2 回薬用植物を知ろう in 熊本 (2003.10)

香月茂樹: 日本文化の発展とブナ科植物

第 6 回ブナ林からの恵みシンポジウム (2004.5)

香月茂樹: 種子島で栽培可能な薬用植物

日本植物園協会第 39 回大会 (2004.5)